

令和8年度 美里分教室(美里高校分教室) 1年(II課程 A類型) 国語科 年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	1学年 人数等 16名	国語科	【教科書】 ひとりだちするための国語 【副教材】 新編 言語文化(第一学習社)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。(高1段階) (思判表力) 筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。(高1段階) (学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	5	(知及技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うことができる。(高1段階ア(ウ)) (思判表力) 相手や目的を意識して、書くことを決め、伝えたいことを明確にすることができる。(高1段階Bア) (学・人) 言葉が持つ良さに気づき、国語で思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高1段階)	(知・技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使っている。 (思・判・表) 相手や目的を意識して、書くことを決め、伝えたいことを明確にしている。 (主学) 言葉が持つ良さに気づき、国語で思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「自己紹介をしよう」 ・自己紹介シートを作ろう	・文章やイラストを用いて、詠み手に伝わるように自己紹介シートを作成する。(知及び技に関する内容) ・自分の好きなことや得意なこと、長所・短所などの情報を形式に当てはめながら整理する。(思判表力に関する内容) ・友達の自己紹介シートを見て、気づいたことや感じたことを、感想として発表する。(学・人に関する内容)
	8	(知及技) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(高1段階ウ(ウ)) (思判表力) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(高1段階Cオ) (学・人) 言葉の良さを認識し、幅広く読書に親しもうとすることができる。(高1段階)	(知・技) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。 (思・判・表) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持っている。 (主学) 言葉の良さを認識し、幅広く読書に親しもうとしている。	単元名「読書に親しもう」 ・図書館オリエンテーション ・読書活動	・図書館オリエンテーションを通して、図書館の利用方法を確認する。(知及び技に関する内容) ・図書館の利用を通して、様々な分野や種類の書物が存在にすることに気づき、読みたい本を選ぶことができる。(思判表力に関する内容) ・図書館に有る様々な本を実際に手に取ることで、読書に対する意欲を高め興味・関心の幅を広げる。(学・人に関する内容)
	12	(知及技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報の関係について理解できる。高1段階イ(ア) (思判表力) 段落相互の関係に着目しながら、考えをそれを支える自由や事例との関係などについて叙述を基にとらえることができる。高1段階(イ) (学・人) 言葉がもつよさに気づくとともに、国語を大切にして思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高1段階)	(知・技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報の関係について理解している。高1段階イ(ア) (思・判・表)) 段落相互の関係に着目しながら、考えをそれを支える自由や事例との関係などについて叙述を基にとらえることとらえている。高1段階(イ) (主学) 言葉がもつよさに気づくとともに、国語を大切にして思いや考えを伝え合おうとすしている。(高1段階)	単元名「新聞を読もう」 ・新聞記事を読もう ・レッツ・チャレンジ NIE	・新聞を読んで見出し語やリード文を見つける。(知及び技に関する内容) ・新聞を読んで、記事の内容について感想をまとめる。(思判表力に関する内容) ・感想を伝え合うことで、一人一人感じ方に違いがあることに気づく。(学・人に関する内容)
	8	(知及技) 丁寧な言葉の書き方を理解することができる。(高1段階) (思判表力) 相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にすることができる。(高1段階B(ア)) (学・人) 手紙で相手に感謝の気持ちを伝える良さに気づくことができる。(高1段階)	(知・技) お礼状の意義や書き方を理解して書くことができる。 (思・判・表) 相手や目的を意識した表現になっているかを確認、文を整えて書くことができる。 (主学) お礼状作成を通して、言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「敬語を使おう」 ・敬語と口語の違いを知ろう ・お礼状の作成	・手紙の正しい書き方に基づいて、挨拶語や結びの言葉、感謝を伝える文章をバランスよく書く。(知及び技に関する内容) ・校内実習で学んだことや、手紙を受けとる相手への感謝の気持ちを文章にまとめる。(思判表力に関する内容) ・お礼状の定型を用いて文章を作成することで、自分の課題や今後の目標を明らかにしたり、感謝の気持ちを伝えることができる。(学・人に関する内容)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
2 学期	12	(知及技)生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことができる。(高1段階ウ(イ)) (思判表力)相手や目的に応じた話し方で話すことができる。(中1段階Aエ) (学・人)生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとすることができる。(高1段階)	(知及技)生活の中で身近に使われている言葉を知り、使用している。(高1段階ウ(イ)) (思判表力)相手や目的に応じた話し方で話している。(中1段階Aエ) (主学)生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとしている。(高1段階)	「表現力を高めよう」 ・方言に親しもう ・敬語を使おう	・丁寧語の使い方や身近な方言(挨拶や家族の呼称)や、地域のことわざ(黄金言葉)の意味を調べる。(知及び技に関する内容) ・文例を参考に、丁寧語を使用して相手への謝意を表現するお礼状を書く家族の呼称や挨拶の関する方言を使って会話をする。(思判表力に関する内容) ・身近な方言や丁寧語を使って会話をしたり、文章を作成することにより、敬語や方言に親しむことができる。(学・人に関する内容)
	22	(知及技)考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解することができる。(高2段階イ(ア)) (思判表力)登場人物の行動や心情などについて叙述を基に捉えることができる。(高1段階Cア) (学・人)読書に親しみ、様々な文学や詩にふれあい、楽しもうとすることができる。(高1段階)	(知・技)考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解している。(中2段階イ(ア)) (思・判・表)登場人物の行動や心情などについて叙述を基に捉えている。(高1段階Cア) (主学)読書に親しみ、様々な文学や詩にふれあい、楽しもうとしている。(高1段階)	単元名「物語を読もう」 ・よだかの星 ・二十億光年の孤独	・本文を読み、場面の変化や登場人物の行動や様子を読み取る。(知及び技に関すること) ・登場人物の性格や考え方について考えたり、登場人物と自分自身を比べて、共通点や相違点を考える。(思判表力に関すること) ・自分自身と作中の人物の比較を通して、多様な価値観に触れ、読書の楽しさ・奥深さを感じる。(学・人に関する内容)
	8	(知及技)丁寧な言葉の書き方を理解することができる。(高1段階) (思判表力)相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にすることができる。(高1段階B(ア)) (学・人)手紙で相手に感謝の気持ちを伝える良さに気づくことができる。(高1段階)	(知・技)お礼状の意義や書き方を理解して書くことができています。 (思・判・表)相手や目的を意識した表現になっているかを確認、文を整えて書くことができています。 (主学)お礼状作成を通して、言葉が持つ良さを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「敬語を使おう」 ・口語を敬語に言い換えよう ・お礼状の作成	・手紙の正しい書き方に基づいて、挨拶語や結びの言葉、感謝を伝える文章をバランスよく書く。(知及び技に関する内容) ・校内実習で学んだことや、手紙を受けとる相手への感謝の気持ちを文章にまとめる。(思判表力に関する内容) ・お礼状の定型を用いて文章を作成することで、自分の課題や今後の目標を明らかにし、感謝の気持ちを伝える。(学・人に関する内容)
3 学期	5	(知及技)姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。(高2段階ウ(リ)㊦) (思判表力)書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現することができる。(高2段階Bウ) (学・人)正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しもうとすることができる。(高1段階)	(知・技)姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書いている。 (思・判・表)書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現している。 (主学)正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しもうとしている。	単元名「日本文化に親しもう」 ・正月あそび ・書き初めをしよう	・文字の組み立てや、書道道具や筆の扱い方を理解する。(知及び技に関する内容) ・毛筆を用いて、書体を意識しながら書写を行う。(思判表力に関する内容) ・カルタや福笑い、双六などの正月遊びや書き初めを通して、初春の儀式や行事に親しむ。(学・人に関する内容)
	15	(知及技)考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解することができる。(高1段階イ(ア)) (思判表力)語と語や文と文との関係を基に、必要な情報を抽出し、内容の大体を捉えることができる。(高1段階Cイ) (学・人)言葉が持つ良さを認識し、国語を大切に思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高1段階)	(知・技)考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解している。 (思・判・表)語と語や文と文との関係を基に、出来事の順序や気持ちの変化など内容の大体を捉えている。 (主学)言葉が持つ良さを認識し、国語を大切に思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「情報を読み取ろう」 ・手紙・案内文	・文章を読み、各段落の中心となる語や文を捉える。(知及び技に関する内容) ・文中から得た情報を、分析したり推論しながら、問に対する答えを導き、語句や文章で表現する。(思判表力に関する内容) ・身近な案内文や手紙の中から、必要な情報を取り出し、言葉が持つ伝える力を確認する。(学・人に関する内容)
	10	(知及技)漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して、文や文章の中で使うことができる。(高1段階ウ) (思・判表力)書く内容の中心を決め、自分の考えと理由などとの関係を明確にして、文章の構成を考えることができる。(高2段階Bイ) (学・人)自分の考えや思いを素直に表現しようとするすることができる。(高1段階)	(知・技)漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して、文や文章の中で使用している。 (思・判・表)書く内容の中心を決め、自分の考えと理由などとの関係を明確にして、文章の構成を考えている。 (主学)自分の考えや思いを素直に表現しようとしている。	単元名「丁寧語を使おう」 ・丁寧語の特徴を知ろう ・お礼状の作成	・一年を振り返り、親しい友人やお世話になった先生にあてて、文例を参考にお礼の手紙を書く。(知及び技に関する内容) ・関わりの中で最も楽しかった出来事や思い出、感謝の気持ちを項目毎にメモでまとめ、お礼の手紙を作成する。(思判表力に関する内容) ・自分の思いや考えを、素直に文章で表現する。(学・人に関する内容)
留意点 引継ぎ等		【通年】 ・校外学習(校外活動)：(学・人)社会で生活する人々とのやり取りを通して、自分の気持ちを言葉にすることの重要性や、言葉の受け取り方が人によってさまざまであることに気づき、言葉を通した他者との交流に喜びを見出すことができる。 ・全ての単元において、テストや提出物、発表、課題への取り組み状況、自己評価を評価資料とする。			

令和8年度 高等部(美里高校分教室) 2年 (Ⅱ課程 A類型) 国語科 年間指導計画					
単位数／配当時数		生徒		担当者	教科書／副教材
3/105		2学年 人数等 15名		国語科	くらしに役立つ 国語
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。(高2段階) (思判表力) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。(高2段階) (学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	5	(知及技) 相手を見て話したり、聞いたりするとともに、他者の話を簡単にまとめることができる。【高1段階ア(イ)】 (思判表力) 相手や目的を意識して、書くことを決め、伝えたいことを明確にすることができる。【高1段階Bア】 (学・人) 言葉が持つ良さに気づき、国語で思いや考えを伝え合おうとすることができる。【高2段階】	(知・技) 相手を見て話したり、聞くことができ、他者の話をまとめている。 (思・判・表) 自分についての情報を書き出し、言葉にしている。 (主学) 言葉が持つ良さに気づき、国語で思いや考えを伝え合おうとしてる。	単元名「自己紹介をしよう」 ・自己紹介シートを作ろう	・文章やイラストを用いて、詠み手に伝わるように自己紹介シートを作成する。(知及び技に関する内容) ・自分の好きなことや得意なこと、長所・短所などの情報を形式に当てはめながら整理する。(思判表力に関する内容) ・友達の自己紹介シートを見て、気づいたことや感じたことを、感想として発表する。(学・人に関する内容)
	8	(知及技) 幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。【高1段階ウ(ウ)】 (思判表力) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。【高2段階C(オ)】 (学・人) 幅広く読書に親しもうとすることができる。【高1段階】	(知・技) 幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。 (思・判・表) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを持っている。 (主学) 幅広く読書に親しもうとしている。	単元名「読書に親しもう」 ・読書活動	・公共施設として図書館を正しく利用することができる。(知及び技に関する内容) ・図書館の利用を通して、様々な分野や種類の書物が存在にすることに気づき、読みたい本を選ぶことができる。(思判表力に関する内容) ・図書館に有る様々な本を実際に手に取ること で、読書に対する意欲を高め興味・関心の幅を広げる。(学・人に関する内容)
	9	(知及技) 日常よく使われる丁寧語を理解し使うことができる。【高1段階ア(力)】 (思判表力) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。【高1段階A工】 (学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、正しい丁寧語を用いて伝え合うことができる。【高1段階】	(知・技) 日常でよく使われる丁寧語を理解し使うことができている。 (思・判・表) 正しい丁寧語を用いて、相手に伝わるように言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫して話そうとしている。 (主学) 言葉がもつよさを認識するとともに、正しい丁寧語を用いて伝えようとしている。	単元名「敬語をつかおうⅠ」 ・丁寧語をつかおう ・敬語の種類を見分けてみよう	・丁寧語を理解し、それを活用して電話でのやりとりができる。(知及び技に関する内容) ・文例を参考に、丁寧語を使用して相手へ言葉で伝えることができる。(思判表力に関する内容) ・丁寧語を使って会話をしたり、文章を作成することにより、活用することができる。(学・人に関する内容)
	6	(知及技) 考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解すること。【高2段階イ(ア)】 (思判表力) 読んで感じたことやわかったことを伝え合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気づくことができる。【高2段階Cオ】 (学・人) 言葉のよさを認識し、新聞に親しみながら、思いや考えを伝えることができる。【高1段階】	(知・技) 考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解している。 (思・判・表) 読んで感じたことを発表し、他者の感じ方の違いに気づくことができている。 (主学) 言葉がもつよさに気づき、国語を大切にして思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「新聞を読もう」 ・新聞記事を読もう ・レッツ・チャレンジ・NIE	・新聞を読んで見出し語やリード文を見つける。(知及び技に関する内容) ・新聞を読んで、記事の内容について感想をまとめる。(思判表力に関する内容) ・感想を伝え合うことで、一人一人感じ方に違いがあることに気づく。(学・人に関する内容)

	8	(知及技) 丁寧な言葉の書き方を理解することができる。【高1段階】 (思判表力) 相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にすることができる。【高1段階B (ア)】 (学・人) 手紙で相手に感謝の気持ちを伝える良さに気づくことができる。【高1段階】	(知・技) お礼状の書き方を理解している。 (思・判・表) 相手や目的を意識して、伝えたいことを明確に書いている。 (主学) 手紙で相手に感謝の気持ちを伝える良さに気づこうとしている。	単元名「丁寧な言葉で文章を書こう」 ・丁寧な言葉の効果を知ろう ・お礼状の作成	・手紙の正しい書き方に基づいて、挨拶語や結びの言葉、感謝を伝える文章をバランスよく書く。(知及び技に関する内容) ・就業体験や校内実習で学んだことや、手紙を受けとる相手への感謝の気持ちを文章にまとめる。(思判表力に関する内容) ・お礼状の定型を用いて文章を作成することで、自分の課題や今後の目標を明らかにしたり、感謝の気持ちを伝えることができる。(学・人に関する内容)
2 学期	12	(知及技) 生活に身近な方言や地域のことわざ(黄金言葉)の意味について知り、郷土の言語文化に親しむことができる。【高1段階ウ (ア)】 (思判表力) 相手や目的に応じた話し方で話することができる。【高1段階A工】 (学・人) 生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとすることができる。【高1段階】	(知・技) 生活に身近な方言や黄金言葉を知り、意味などをプリントにまとめることができる。 (思・判・表) 相手や目的に応じた話し方で話している。 (主学) 生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとしている。	単元名「表現力を高めよう」 ・方言に親しもう ・敬語を使おうⅡ	・身近な方言(挨拶や家族の呼称)や、地域のことわざ(黄金言葉)の意味を調べる。(知及び技に関する内容) ・家族の呼称や挨拶に関する方言を使って会話をする。(思判表力に関する内容) ・身近な方言や丁寧語を使って会話をしたり、文章を作成することにより、敬語や方言に親しむことができる。(学・人に関する内容)
	22	(知及技) 文章の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。【高1段階ア (キ)】 (思判表力) 登場人物の行動や心情などについて叙述を基に捉えることができる。【高1段階Cア】 (学・人) 読書に親しみ、様々な文学や詩にふれあい、楽しもうとすることができる。【高1段階】	(知・技) 文章の構成や段落のまとまりを意識しながら音読することができる。 (思・判・表) 登場人物の行動や心情について叙述を基に捉えている。 (主学) 読書に親しみ、様々な文学や詩にふれ、楽しもうとしている。	単元名「物語を読もう」 ・注文の多い料理店 ・徒然草	・本文を読み、場面の变化や登場人物の行動や様子を読み取る。(知及び技に関する内容) ・登場人物の性格や考え方について考えたり、登場人物と自分自身を比べて、共通点や相違点を考える。(思判表力に関する内容) ・自分自身と作中の人物の比較を通して、多様な価値観に触れ、読書の楽しさ・奥深さを感じる。(学・人に関する内容)
	8	(知及技) お礼状の意義や書き方を理解することができる。【中1段階ウ (イ)】 (思判表力) 相手や目的を意識した表現になっているかを確認、文を整えることができる。【高1段階B工】 (学・人) 言葉がもつよさを認識し、国語を大切に思いや考えを伝え合おうとすることができる。【高1段階】	(知・技) お礼状の意義や書き方を理解し、年賀状を書くことができる。 (思・判・表) 相手や目的を意識した表現になっているかを確認、文を整えて書くことができる。 (主学) お礼状作成を通して、言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「丁寧な言葉で文章を書こう」 ・季節の挨拶を使おう ・お礼状の作成	・手紙の正しい書き方に基づいて、挨拶語や結びの言葉、感謝を伝える文章をバランスよく書く。(知及び技に関する内容) ・校内実習で学んだことや、手紙を受けとる相手への感謝の気持ちを文章にまとめる。(思判表力に関する内容) ・お礼状の定型を用いて文章を作成することで、自分の課題や今後の目標を明らかにし、感謝の気持ちを伝える。(学・人に関する内容)
3 学期	5	(知及技) 目的に応じて使用する筆記用具を選び、その特徴を生かして書くことができる。【高2段階ウ (ウ) イ】 (思判表力) 書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現することができる。【高1段階Bウ】 (学・人) 正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しむことができる。【高1段階】	(知・技) 目的に応じて使用する筆記用具を選び、その特徴を生かして書くことができる。 (思・判・表) 書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現している。 (主学) 正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しもうとしている。	単元名「日本文化に親しもう」 ・正月あそび ・書き初めをしよう	・文字の組み立てや、書道道具や筆の扱い方を理解する。(知及び技に関する内容) ・毛筆を用いて、書体を意識しながら書写を行う。(思判表力に関する内容) ・カルタや福笑い、双六などの正月遊びや書き初めを通して、初春の儀式や行事に親しむ。(学・人に関する内容)
	15	(知及技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解することができる。【高1段階イ (ア)】 (思判表力) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。【高1段階Cオ】 (学・人) 国語を大切に、思いや考えを伝え合うことができる。【高1段階】	(知・技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解している。 (思・判・表) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 (主学) 国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「説明的な文章を読もう」	・文章を読み、各段落の中心となる語や文を捉える。(知及び技に関する内容) ・文中から得た情報を、分析したり推論しながら、問に対する答えを導き、語句や文章で表現する。(思判表力に関する内容) ・身近な案内文や手紙の中から、必要な情報を取り出し、言葉が持つ伝える力を確認する。(学・人に関する内容)
	10	(知及技) 話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。【高1段階A (ウ)】 (思判表力) 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。【高1段階Bウ】 (学・人) 自分の考えや思いを素直に表現しようとするすることができる。【高1段階】	(知・技) 話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。 (思・判・表) 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にし、書き表し方を工夫している。 (主学) 自分の考えや思いを素直に表現しようとしている。	単元名「挨拶文を考えよう」 ・場面に応じた挨拶 ・改まった文章を書こう	・一年間を振り返り様々な行事を仮定し、場面に応じた挨拶文を考える。(知及び技に関する内容) ・自分の考えと事例との関係を明確にし、挨拶文の書き方を工夫する。(思判表力に関する内容) ・考えた挨拶を工夫して発表する。(学・人に関する内容)
留意点 引継ぎ等		【通年】 ・校外学習(校外活動)：(学・人) 社会で生活する人々とのやり取りを通して、自分の気持ちを言葉にすることの重要性や、言葉の受け取り方が人によってさまざまであることに気づき、言葉を通した他者との交流に喜びを見出すことができる。 ・全ての単元において、テストや提出物、発表、課題への取り組み状況、自己評価を評価資料とする。			

令和8年度 高等部(美里高校分教室) 3年 (Ⅱ課程 A類型) 国語科 年間指導計画					
単位数／配当時数		生徒	担当者	教科書／副教材	
3/105		3学年 人数等 16名	国語科	くらしに役立つ 国語	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。(高2段階) (思判表力) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。(高2段階) (学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	5	(知及技) 相手を見て話したり、聞いたりするとともに、他者の話を簡単にまとめることができる。【高1段階ア(イ)】 (思判表力) 相手や目的を意識して、書くことを決め、伝えたいことを明確にすることができる。【高1段階Bア】 (学・人) 言葉が持つ良さに気づき、国語で思いや考えを伝え合おうとすることができる。【高2段階】	(知・技) 相手を見て話したり、聞くことができ、他者の話をまとめている。 (思・判・表) 自分についての情報を書き出し、言葉にしている。 (主学) 言葉が持つ良さに気づき、国語で思いや考えを伝え合おうとしてる。	単元名「自己紹介をしよう」 ・自己紹介シートを作ろう ・自分自身の長所と短所を書き出そう	・文章やイラストを用いて、詠み手に伝わるように自己紹介シートを作成する。(知及び技に関する内容) ・自分の好きなことや得意なこと、長所・短所などの情報を形式に当てはめながら整理する。(思判表力に関する内容) ・友達の自己紹介シートを見て、気づいたことや感じたことを、感想として発表する。(学・人に関する内容)
	8	(知及技) 幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。【高1段階ウ(ウ)】 (思判表力) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。【高2段階C(オ)】 (学・人) 幅広く読書に親しもうとすることができる。【高1段階】	(知・技) 幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。 (思・判・表) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを持っている。 (主学) 幅広く読書に親しもうとしている。	単元名「読書に親しもう」 ・小説を読んでみよう ・描写に注目してみよう	・公共施設として図書館を正しく利用することができる。(知及び技に関する内容) ・図書館の利用を通して、様々な分野や種類の書物が存在することに気づき、読みたい本を選ぶことができる。(思判表力に関する内容) ・図書館に有る様々な本を実際に手に取ること、読書に対する意欲を高め興味・関心の幅を広げる。(学・人に関する内容)
	9	(知及技) 日常よく使われる丁寧語を理解し、適切に選択して使うことができる。【高2段階ア(力)】 (思判表力) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。【高1段階Aエ】 (学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、正しい丁寧語を用いて伝え合うことができる。【高1段階】	(知・技) 日常でよく使われる丁寧語を理解し使うことができる。 (思・判・表) 正しい丁寧語を用いて、相手に伝わるように言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫して話そうとしている。 (主学) 言葉がもつよさを認識するとともに、正しい丁寧語を用いて伝えようとしている。	単元名「敬語をつかおうⅠ」 ・丁寧語をつかおう ・尊敬語、謙譲語、丁寧語に言い換えてみよう	・丁寧語を理解し、それを活用して電話でのやりとりができる。(知及び技に関する内容) ・文例を参考に、丁寧語を使用して相手へ言葉で伝えることができる。(思判表力に関する内容) ・丁寧語を使って会話をしたり、文章を作成することにより、活用することができる。(学・人に関する内容)
	6	(知及技) 考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解すること。【高2段階イ(ア)】 (思判表力) 読んで感じたことやわかったことを伝え合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気づくことができる。【高2段階Cオ】 (学・人) 言葉のよさを認識し、新聞に親しみながら、思いや考えを伝えることができる。【高1段階】	(知・技) 考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解している。 (思・判・表) 読んで感じたことを発表し、他者の感じ方の違いに気づくことができる。 (主学) 言葉がもつよさに気づき、国語を大切にして思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「新聞を読もう」 ・新聞記事を読もう ・レッツ・チャレンジ・NIE	・新聞を読んで見出し語やリード文を見つける。(知及び技に関する内容) ・新聞を読んで、記事の内容について感想をまとめる。(思判表力に関する内容) ・感想を伝え合うことで、一人一人感じ方に違いがあることに気づく。(学・人に関する内容)

	8	(知及技)丁寧な言葉の書き方を理解することができる。【高1段階】 (思判表力)相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にすることができる。【高1段階B(ア)】 (学・人)手紙で相手に感謝の気持ちを伝える良さに気づくことができる。【高1段階】	(知・技)お礼状の書き方を理解している。 (思・判・表)相手や目的を意識して、伝えたいことを明確に書いている。 (主学)手紙で相手に感謝の気持ちを伝える良さに気づこうとしている。	単元名「文章を整えて書く」 ・丁寧な形式の文章を書く ・お礼状の作成	・手紙の正しい書き方に基づいて、挨拶語や結びの言葉、感謝を伝える文章をバランスよく書く。(知及び技に関する内容) ・就業体験や校内実習で学んだことや、手紙を受けとる相手への感謝の気持ちを文章にまとめる。(思判表力に関する内容) ・お礼状の定型を用いて文章を作成することで、自分の課題や今後の目標を明らかにしたり、感謝の気持ちを伝えることができる。(学・人に関する内容)
2 学期	12	(知及技)生活に身近な方言や地域のことわざ(黄金言葉)の意味について知り、郷土の言語文化に親しむとともに、大切にしようすることができる。【高2段階ウ(ア)】 (思判表力)相手や目的に応じた話し方で話すことができる。【高1段階A工】 (学・人)生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとすることができる。【高1段階】	(知・技)生活に身近な方言や黄金言葉を知り、意味などをプリントにまとめることができる。 (思・判・表)相手や目的に応じた話し方で話している。 (主学)生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとしている。	単元名「表現力を高めよう」 ・方言に親しもう ・敬語を使おうⅡ	・身近な方言(挨拶や家族の呼称)や、地域のことわざ(黄金言葉)の意味を調べる。(知及び技に関する内容) ・家族の呼称や挨拶に関する方言を使って会話をする。(思判表力に関する内容) ・身近な方言や丁寧語を使って会話をしたり、文章を作成することにより、敬語や方言に親しむことができる。(学・人に関する内容)
	22	(知及技)文章の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。【高1段階ア(キ)】 (思判表力)登場人物の行動や心情などについて叙述や描写を基に捉えることができる。【高2段階Cア】 (学・人)読書に親しみ、様々な文学や詩にふれあい、楽しもうとすることができる。【高1段階】	(知・技)文章の構成や段落のまとまりを意識しながら音読することができる。 (思・判・表)登場人物の行動や心情について叙述や描写を基に捉えている。 (主学)読書に親しみ、様々な文学や詩にふれ、楽しもうとしている。	単元名「物語を読もう」 ・こころ ・源氏物語	・本文を読み、細やかな場面の変化や登場人物の行動や様子を読み取る。(知及び技に関する内容) ・登場人物の性格や考え方について考えたり、登場人物と自分自身を比べて、共通点や相違点を考える。(思判表力に関する内容) ・自分自身と作中の人物の比較を通して、多様な価値観に触れ、読書の楽しさ・奥深さを感じる。(学・人に関する内容)
	8	(知及技)お礼状の意義や書き方を理解することができる。【中1段階ウ(イ)】 (思判表力)相手や目的を意識した表現になっているかを確かめ、文を整えることができる。【高1段階B工】 (学・人)言葉がもつよさを認識し、国語を大切にしていや考えを伝え合おうとすることができる。【高1段階】	(知・技)お礼状の意義や書き方を理解し、年賀状を書くことができる。 (思・判・表)相手や目的を意識した表現になっているかを確かめ、文を整えて書くことができる。 (主学)お礼状作成を通して、言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「文章を整えて書く」 ・丁寧な形式の文章を書く ・お礼状の作成	・手紙の正しい書き方に基づいて、挨拶語や結びの言葉、感謝を伝える文章をバランスよく書く。(知及び技に関する内容) ・校内実習で学んだことや、手紙を受けとる相手への感謝の気持ちを文章にまとめる。(思判表力に関する内容) ・お礼状の定型を用いて文章を作成することで、自分の課題や今後の目標を明らかにし、感謝の気持ちを伝える。(学・人に関する内容)
3 学期	5	(知及技)目的に応じて使用する筆記用具を選び、その特徴を生かして書くことができる。【高2段階ウ(ウ)イ】 (思判表力)書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現することができる。【高1段階Bウ】 (学・人)正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しむことができる。【高1段階】	(知・技)目的に応じて使用する筆記用具を選び、その特徴を生かして書くことができる。 (思・判・表)書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現している。 (主学)正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しもうとしている。	単元名「日本文化に親しもう」 ・正月あそび ・書き初めをしよう	・文字の組み立てや、書道道具や筆の扱い方を理解する。(知及び技に関する内容) ・毛筆を用いて、書体を意識しながら書写を行う。(思判表力に関する内容) ・カルタや福笑い、双六などの正月遊びや書き初めを通して、初春の儀式や行事に親しむ。(学・人に関する内容)
	15	(知及技)考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解することができる。【高1段階イ(ア)】 (思判表力)文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。【高1段階Cオ】 (学・人)国語を大切にしてい、思いや考えを伝え合うことができる。【高1段階】	(知・技)考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解している。 (思・判・表)文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 (主学)国語を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「説明的な文章を読もう」 ・水の東西 ・中身当てクイズ	・文章を読み、各段落の中心となる語や文を捉える。(知及び技に関する内容) ・文中から得た情報を、分析したり推論しながら、問に対する答えを導き、語句や文章で表現する。(思判表力に関する内容) ・身近な案内文や手紙の中から、必要な情報を取り出し、言葉が持つ伝える力を確認する。(学・人に関する内容)
	10	(知及技)話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。【高1段階A(ウ)】 (思判表力)自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。【高1段階Bウ】 (学・人)自分の考えや思いを素直に表現しようすることができる。【高1段階】	(知・技)話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。 (思・判・表)自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にし、書き表し方を工夫している。 (主学)自分の考えや思いを素直に表現しようとしている。	単元名「挨拶文を考えよう」 ・場面に応じた挨拶	・一年間を振り返り様々な行事を仮定し、場面に応じた挨拶文を考える。(知及び技に関する内容) ・自分の考えと事例との関係を明確にし、挨拶文の書き方を工夫する。(思判表力に関する内容) ・考えた挨拶を工夫して発表する。(学・人に関する内容)
留意点 引継ぎ等		【通年】 ・校外学習(校外活動)：(学・人)社会で生活する人々とのやり取りを通して、自分の気持ちを言葉にすることの重要性や、言葉の受け取り方が人によってさまざまであることに気づき、言葉を通した他者との交流に喜びを見出すことができる。 ・全ての単元において、テストや提出物、発表、課題への取り組み状況、自己評価を評価資料とする。			

令和8年度 高等部(美里高校分教室) 1年(Ⅱ課程A類型) 社会科 年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
70時間	美里分教室1年 Ⅱ課程A類型 16名	社会科	くらしに役立つ社会

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)地域の地理的環境や歴史、伝統と文化、現代社会の仕組みを理解し、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けることができる。(高1段階) (思判表力)自分の生活と結びつけて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力を養い、考えたことを適切に表現することができる。(高1段階) (学・人)よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を身につけ、我が国の歴史に対する愛情や地域社会の一員として共に生きる大切さについての自覚を養うことができる。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	8	(知及技)我が国と沖縄県の気候区分を理解することができる。(高1段階：オ(ア)①) (思判表力)沖縄県の文化について考えることができる。(高1段階：オ(ア)①) (学・人)自分の住んでいる市町村の文化についてまとめることができる。(高1段階：オ(イ)①)	(知・技)日本の気候区分の中から、沖縄県の気候区分は何かを理解している。 (思・判・表)沖縄県の文化について考えている。 (主学)自分の住んでいる市町村の特徴などをタブレットを用いて他者と協力し、調べようとしている。	【国土と大陸】 ・6大陸と日本 ・日本の気候区分 ・沖縄県の地理(人口、気温)(北部、中部、南部、離島の特徴) ・沖縄と自分の住んでいる市町村 ・単元のまとめ	・6大陸と日本の位置について世界地図から読み取り確認し、プリントにまとめる。(知及び技に関する内容) ・日本の気候区分について、自分の体験から考え、プリントにまとめる。(思判表力に関する内容) ・沖縄県の地理(人口、気温)(北部、中部、南部、離島の特徴)について確認する。(知及び技に関する内容) ・沖縄と自分の住んでいる市町村について考え魅力を伝える。(学・人に関する内容)
	8	(知及技)慰霊の日制定の背景、沖縄の日本復帰について理解することができる。(高1段階：オ(イ)①) (思判表力)戦後の沖縄の写真を見て、当時の様子について考えることができる。(高1段階：オ(イ)①) (学・人)よりよい沖縄にするため、どのようにしたいかイメージすることができる。(高1段階：オ(イ)①)	(知・技)慰霊の日制定の背景、沖縄の日本復帰について理解している。 (思・判・表)戦後の日本の写真を見て、当時の様子について考えている。 (主学)よりよい沖縄にするためにはどうしたらいいか自分のプリントに表現している。	【沖縄の歴史と文化】 ・沖縄戦・戦後の沖縄・現代の戦争 ・慰霊の日・平和学習 ・単元のまとめ	・沖縄戦・戦後の沖縄・現代の戦争について確認し、戦争の悲惨さについて考え、発表する。(知及び技に関する内容)(思判表力に関する内容) ・慰霊の日・平和について考え、沖縄が抱える問題についてプリントにまとめる。(学・人に関する内容)
	8	(知及技)沖縄や他県の文化遺産を知ることができる。(高1段階：オ(イ)②) (思判表力)沖縄や他県の文化遺産を比較して、違いについて考えることができる。(高1段階：オ(イ)①) (学・人)沖縄や他県にどのような文化遺産があるか、調べることができる。(高1段階：オ(イ)①)	(知・技)沖縄県と他県の文化遺産について調べたことをプリントにまとめている。 (思・判・表)沖縄県と他県の文化遺産を比較した内容をプリントに記入して。 (主学)タブレット機器を用いて、他者と協力して調べたり、まとめている。	【地域の文化遺産を紹介しよう】 ・沖縄県の文化遺産 ・他県の文化遺産 ・沖縄県と他県の文化遺産を比べる	・沖縄県の文化遺産についてタブレットを活用し調べ、特徴についてまとめる。(学・人に関する内容) ・他県の文化遺産について調べ、特徴についてまとめる。(知及び技に関する内容) ・沖縄県と他県の文化遺産を比べ、どのような違いがあるのかまとめる。(思判表力に関する内容)

2 学 期	8	(知及技)多数決の原理について理解することができる。(高1段階：ア (イ) ㊦) (思判表力)模擬選挙の際、代表者を選択することができる。(高1段階：ア (イ) ㊦) (学・人)選挙で代表を選ぶことが、国民の権利、意義について理解し、政治参加への意欲がある。(高1段階：ア (ア) ㊦)	(知・技)数が多い意見が通ると同時に少数意見の尊重についても、理解できている。 (思・判・表)生徒会選挙で立候補者に投票することができる。 (主学)選挙で代表を選ぶことが、国民の権利であることを踏まえてどのように政治に参加をするか自分の考えをプリントにまとめている。	【選挙】 ・多数決の原理 ・生徒会選挙 ・選挙 ・単元のまとめ	・多数決の原理について考え、日常的に活用されている事例をまとめる。(思判表力に関する内容) ・生徒会選挙を通して主権について考える。(学・人に関する内容) ・日本の選挙について確認する。(知及び技に関する内容)
	10	(知及技)直接民主制と議会制民主主義の違いを理解している。(高1段階：ア (イ) ア) (思判表力)法律の意義について考えることができる。(高1段階：ア (イ) ㊦) (学・人)よりよい生活を送るための法律について調べることができる。(高1段階：ア (イ) ㊦)	(知・技)直接民主制と議会制民主主義の違いを理解している。 (思・判・表)法律の意義について考えている。 (主学)生活に関連している法律について調べている。	【憲法と国民生活】 ・なぜ決まりはあるの ・日本国憲法と第二次世界大戦 ・民主主義って？ ・生活に関連している法律を調べよう ・単元のまとめ	・なぜ決まりはあるのか考え、発表する。(思判表力に関する内容) ・日本国憲法と第二次世界大戦について確認し、プリントにまとめる。(知及び技に関する内容) ・民主主義について考え、プリントにまとめる。(思判表力に関する内容) ・生活に関連している法律をタブレットを活用し、調べる。(学・人に関する内容)
	10	(知及技)自然災害の種類や対処について理解することができる。(高1段階：ウ (ア) ㊦) (思判表力)自助・公助・共助の視点から、防災のために必要なことを考えることができる。(高1段階：ウ (ア) ㊦) (学・人)防災バックにいれるべきものを考えることができる。(高1段階：ウ (ア) ㊦)	(知・技)地震や津波、台風の対処方法をプリントにまとめている。 (思・判・表)ベン図を用いて、自助・公助・共助の視点から災害対策を分類している。 (主学)防災バックに入れるものをプリントにまとめている。	【防災】 ・自然災害 ・自助・公助・共助 ・防災グッズを準備しよう	・自然災害について確認し、身近に起こりうる災害についてまとめる。(知及び技に関する内容) ・自助・公助・共助について考え、プリントにまとめる。(思判表力に関する内容) ・防災グッズについて何が必要なのか確認し、防災バックに入れておいた方が良いものを考える。(学・人に関する内容)
3 学 期	9	(知及技)SDGsの項目をいくつか知ることができる。(高1段階：カ (ア) ㊦) (思判表力)関心のあるSDGsの目標を選択することができる。(高1段階：カ (ア) ㊦) (学・人)持続可能な社会を実現するためにどのようにすれば良いのか、考えることができる。(高1段階：カ (ア) ㊦)	(知・技)SDGsには17の目標があることを理解している。 (思・判・表)SDGsの項目で関心のある目標を記入している。 (主学)持続可能な社会を実現するためにどのようにすれば良いのか自分の意見をプリントにまとめている。	【SDGs】 ・5つの「P」と3つの「層」 ・興味関心のある目標は ・他の人と関心のある目標について伝え合おう ・「食」について考えよう ・持続可能な社会をつくるため ・単元のまとめ	・5つの「P」と3つの「層」について確認し、プリントにまとめる。(知及び技に関する内容) ・興味関心のある目標について調べる。(学・人に関する内容) ・他の人と関心のある目標について伝え合う。(思判表力に関する内容) ・「食」について考え、ご飯が満足に食べられない国の現状について理解する。(思判表力に関する内容) ・持続可能な社会をつくるためには何ができるのか考える。(学・人に関する内容)
	9	(知及技)自分で作成したプランにある観光地の場所や特徴を理解する。(高1段階：オ (ア) ㊦) (思判表力)プラン作成を通して、沖縄の良さや特徴について考えることができる。(高1段階：オ (ア) ㊦) (学・人)グループでプランを作成する際、活動に参加することができる。(高1段階：オ (ア) ㊦)	(知・技)沖縄の観光地の場所や特徴について、調べて用紙にまとめている。 (思・判・表)沖縄の観光地を選んで、調べた内容を用紙に記入している。 (主学)プランについてアイデアを出したり、記入などグループ活動に参加している。	【沖縄観光プランをつくろう】 ・沖縄県の文化(特産品や沖縄県指定の花、木、鳥、魚) ・沖縄観光プランをつくろう ・観光プラン発表	・沖縄県の文化(特産品や沖縄県指定の花、木、鳥、魚)について確認し、プリントにまとめる。(知及び技に関する内容) ・タブレットを活用し沖縄観光プランを作成する。(学・人に関する内容) ・観光プランを発表する。(思判表力に関する内容)
留意点 引継ぎ 等		・授業プリント、発言、授業中の様子、定期テスト等から評価を行う。			

令和8年度 高等部(美里高校分教室) 2年（Ⅱ課程A類型） 社会科 年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
70時間	美里分教室2年 Ⅱ課程A類型 15名	社会科	くらしに役立つ社会

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)我が国の国民生活、社会参加するためのきまり、情報化社会について理解するとともに、情報を適切に収集し活用する技能を身につけることができる。(高2段階) (思判表力)社会的事象への理解を深め、自分の生活と結びつけて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことを適切に表現することができる。(高2段階) (学・人)社会に主体的に関わろうとする態度や学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、将来を担う国民としての自覚を養うことができる。(高2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	8	(知及技)各都道府県の県庁所在地を知ることができる。(高2段階：オ(ア)㊟) (思判表力)日本の地域区分を的確に表現することができる。(高2段階：オ(ア)㊟) (学・日本の伝統や文化を調べることができる。(高2段階：オ(イ)㉠)	(知・技)各都道府県の特徴や名産を理解できる。 (思・判・表)日本の気候や領土から日本の特色を考えている。 (主学)日本の伝統や文化を調べ、まとめている。	【都道府県】 ・都道府県の県庁所在地 ・日本の地域区分 ・日本の伝統や文化 ・単元のまとめ	・都道府県の県庁所在地について日本地図で確認する。(知及び技に関する内容) ・日本の地域区分や気候の特徴について考え、プリントにまとめる。(思判表力に関する内容) ・日本の伝統や文化について調べ、プリントにまとめる。(学・人に関する内容)
	9	(知及技)北海道の概要について知ることができる。(高2段階：オ(ア)㊟) (思判表力)北海道の気候などの特徴から人々の暮らしを考えたり、活発な産業を調べることができる。(高2段階：オ(ア)㊟) (学・人)北海道の特産品や景勝地などを調べることができる。(高2段階：オ(ア)㊟)	(知・技)調べ学習を通して、北海道の概要について知ろうとしている。 (思・判・表)北海道の気候などの特色から北海道の人々の生活の様子について考えたり、活発な産業について調べている。 (主学)北海道の各県の特産品や景勝地などを調べてまとめている。	【北海道地方】 ・北海道の概要 ・北海道の歴史とアイヌ語 ・北海道の人々の暮らしと産業 ・単元のまとめ	・北海道の概要について調べ、プリントにまとめる。(知及び技に関する内容) ・北海道の歴史とアイヌ語について調べ、北海道の歴史や文化について考える。(思判表力に関する内容) ・北海道の人々の暮らしと産業について調べ、特産品などを確認する。(学・人に関する内容)
	9	(知及技)九州地方の概要について知ることができる。(高2段階：オ(ア)㊟) (思判表力)沖縄県の気候などの特色から人々の生活の様子について考えることができる。(高2段階：オ(ア)㊟) (学・人)九州地方の各県の特産品や景勝地などを調べることができる。(高2段階：オ(ア)㊟)	(知・技)調べ学習を通して、九州地方の概要について知ろうとしている。 (思・判・表)沖縄県の気候などの特色から沖縄県の人々の生活の様子について考えている。 (主学)九州地方の各県の特産品や景勝地などを調べてまとめている。	【九州地方】 ・九州地方の各県名とその概要 ・沖縄県の気候と人々の生活 ・沖縄県との比較 ・単元のまとめ	・九州地方の各県名とその概要について調べプリントにまとめる。(知及び技に関する内容) ・沖縄県の気候と人々の生活について考え、プリントにまとめる。(思判表力に関する内容) ・他県と沖縄県について比較し、沖縄県の特徴について考える。(学・人に関する内容)
	9	(知及技)関東地方の概要について知ることができる。(高2段階：オ(㊟)ア) (思判表力)東京都の気候の特徴から沖縄県との違いについて考えることができる。(高2段階：オ(ア)㊟) (学・人)東京都の景勝地を調べることができる。(高2段階：オ(ア)㊟)	(知・技)調べ学習を通して、関東地方の概要について知ろうとしている。 (思・判・表)修学旅行先と沖縄の違いを考えている。 (主学)東京都の景勝地を調べてまとめている。	【関東地方】 ・関東地方の各県名とその概要 ・東京の気候の特徴 ・浅草寺と代々木公園の概要 ・修学旅行で行きたいところをリストアップしよう！ ・単元のまとめ	・関東地方の各県名とその概要について調べプリントにまとめる。(知及び技に関する内容) ・東京の気候の特徴について確認し、沖縄県との違いについて考える。(思判表力に関する内容) ・浅草寺と代々木公園の概要について調べプリントにまとめる。(知及び技に関する内容) ・修学旅行で行きたいところを調べ、パンフレット作成をする。(学・人に関する内容)

2 学期	9	(知及技)法や規範の役割を理解することができる。(高2段階：ア(イ)㊟) (思判表力)法や規範の意義について考えることができる。(高2段階：ア(イ)㊠) (学・人)新しい人権とはなにか調べることができる。(高2段階：ア(イ)㊡)	(知・技)法や規範の役割を理解している。 (思・判・表)法や規範の意義を考えている。 (主学)新しい人権についてiPadを用いて調べている。	【法と人権】 ・法や規範の意義と役割 ・人権とは ・新しい人権 ・単元のまとめ	・法や規範の意義と役割について考えプリントにまとめる。(知及び技に関する内容) ・人権とは何か考え、考えたことを発表する。(思判表力に関する内容) ・新しい人権についてiPadを用いて調べ、プリントにまとめる。(学・人に関する内容)
	9	(知及技)衆議院と参議院の任期の違いや解散の有無などについて理解することができる。(高2段階：ア(イ)㊠) (思判表力)支持する政党を選ぶことができる。(高2段階：ア(ア)㊠) (学・人)各政党のいくつかのマニフェストを調べることができる(高2段階：ア(ア)㊠)	(知・技)衆議院と参議院の任期の違いや解散の有無などについて理解している。 (思・判・表)代表者を選択する理由がある。 (主学)タブレットを用いて各政党のマニフェストを調べている。	【選挙制度について】 ・国政選挙 ・日本の政党 ・マニフェストを調べよう	・日本における国政選挙について確認し、プリントにまとめる。(知及び技に関する内容) ・日本の政党について調べ、自分の考えと近い政党について考える。(思判表力に関する内容) ・日本の各政党のマニフェストについて調べ、それぞれの政党の考えを整理する。(学・人に関する内容)
3 学期	9	(知及技)現代社会の特徴を知ることができる。(高2段階：ア(ア)㊡) (思・判・表)自分がどのような形で社会参加できるのか、考え表現することができる。(高2段階：ア(ア)㊠) (学・人)現代社会の課題解決について考えようとすることができる。(高2段階：ア(ア)㊠)	(知・技)現代社会の特徴について、プリントにまとめている。 (思・判・表)自分がどのような形で社会参加できるか、プリントにまとめたり発表している。 (主学)現代社会の課題解決について、プリントにまとめたり、発表している。	【現代社会と私たち】 ・私たちの生活の変化 ・現代社会の特徴と課題 ・社会参加・自立 ・単元のまとめ	・昔の生活の様子の写真を見て、現代の私たちの生活と比較し、生活変化について考える。(知及び技に関する内容) ・現代社会の特徴と課題について考え、発表する。(思判表力に関する内容) ・社会参加・自立について考え、プリントにまとめる。(学・人に関する内容)
	8	(知及技)青年期の特徴について理解することができる。(高2段階：ア(ア)㊡) (思判表力)MBTI診断やエゴグラムで出た結果から、なりたい自分について考えることができる。(高2段階：ア(ア)㊡) (学・人)MBTI診断やエゴグラムの結果から、集団生活の中で果たせる自分の役割について考えることができる。(高2段階：ア(ア)㊡)	(知・技)青年期の特徴と課題について理解している。 (思判表力)各診断結果から、将来自分がどのようなになりたいかを考え、まとめている。 (主学)各診断結果から、集団生活の中で果たせる自分の役割について考えている。	【青年期】 ・自分を知ろう(MBTI診断、エゴグラム) ・青年期の特徴と課題 ・集団生活での自分の役割を考えよう	・自分を客観的に捉え、自分の内面について理解する。(MBTI診断、エゴグラム)(知及び技に関する内容) ・青年期の特徴と課題について考え、プリントにまとめる。(思判表力に関する内容) ・集団生活での自分の役割を考え、表現する。(学・人に関する内容)
留意点 引継ぎ等		・授業プリント、発言、授業中の様子、定期テスト等から評価を行う。			

令和8年度 高等部(美里高校分教室) 3年（A類型） 社会科 年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
70時間	美里分教室3年 II 課程A類型 16名	社会科	くらしに役立つ社会

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 我が国の国民生活、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、情報化社会や外国との関わりを理解し、情報を収集し活用する技能を身につける。（高2段階） (思判表力) 社会的事象への理解を深め、自分の生活と結びつけて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことを適切に表現する力を養う。（高2段階） (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度や学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚や平和を願い国内や世界の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。（高2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	(知及技) 障害者を支える福祉制度について理解することができる。（高2段階：イ（イ）㉞） (思判表力) どの場面で社会福祉や社会保障を利用できるか考えることができる。（高2段階：イ（ア）㉞） (学・人) 困った時に相談する機関や制度を調べることができる。（高2段階：イ（イ）㉟）	(知・技) 障害者を支える福祉制度について理解している。 (思・判・表) どの場面で社会福祉や社会保障を利用できるか考えている。 (主学) 困った時に相談する機関や制度をiPad等を活用して調べている。	【私たちを支える社会のしくみ】 ・社会保障制度 ・私たちを支える社会福祉は何がある？ ・療育手帳の役割 ・割引が受けられるところを探そう ・単元のまとめ	・日本における社会保障制度（社会保険、公衆衛生、社会福祉、公的扶助）について調べ、それぞれの制度の内容を確認する。（知及び技に関する内容） ・私たちを支える社会福祉は何があるのか考える。（思判表力に関する内容） ・療育手帳の役割について確認する。また、沖縄県で療育手帳が活用できる場所について調べ、身近に活用できる場所を確認する。（学・人に関する内容）
	9	(知及技) 税金の種類やしぐみについて理解することができる。（高2段階：イ（イ）㉞） (思判表力) なぜ税金を納めるのか考えることができる。（高2段階：イ（イ）㉟） (学・人) 納めた税金がどのように使われているのか調べることができる。（高2段階：イ（ア）㉞）	(知・技) 税金の種類やしぐみについて理解している。 (思・判・表) なぜ税金を納めるのか考え、理由を記入している。 (主学) 納めた税金がどのように使われているのか調べている。	【税金】 ・税金とは・直接税と間接税 ・所得税・住民税・消費税 ・単元のまとめ	・日本の税制について確認し、直接税と間接税の違いについて考える。（思判表力に関する内容） ・所得税・住民税・消費税について確認し、納められた税金がどのように使われているのか調べ、プリントにまとめる。（知及び技に関する内容）（学・人に関する内容）
	8	(知及技) 公共施設や公共交通機関の利用の仕方を知ることができる。（高2段階：イ（ア）㉟） (思・判・表) 目的に応じた公共施設や公共交通機関を選択することができる。（高2段階：イ（ア）㉟） (学・人) 公共施設や公共交通機関の利用方法について調べることができる。（高2段階：イ（ア）㉟）	(知・技) 公共施設や公共交通機関の利用の仕方を理解している。 (思・判・表) 目的に応じた公共施設や公共交通機関を選択している。 (主学) 公共施設や公共交通機関の利用方法について調べている。	【公共施設と公共交通機関】 ・銀行と郵便局の役割 ・警察と消防の役割 ・役所でできる手続き ・病院や保健所の役割 ・公共交通機関とは	・銀行と郵便局の役割について調べ、活用方法についてまとめる。（知及び技に関する内容） ・警察と消防の役割について調べ、活用方法についてまとめる。（知及び技に関する内容） ・役所でできる手続きについて調べ、活用方法についてまとめる。（知及び技に関する内容） ・病院や保健所の役割について調べ、活用方法についてまとめる。（知及び技に関する内容）（学・人に関する内容） ・公共交通機関について調べ、活用方法を考える。（思判表力に関する内容）
	10	(知及技) 産業構造について理解することができる。（第2段階：エ（イ）㉞） (思判表力) 食料がどのように私たちのもとへたどり着いているかを考えることができる。（第2段階：エ（イ）㉞） (学・人) 沖縄県の活発な産業は何かをまとめることができる。（第2段階：エ（イ）㉟）	(知・技) 産業構造について理解している。 (思・判・表) 食料がどのように私たちのもとへたどり着いているかを考えている。 (主学) 沖縄県の活発な産業についてプリントにまとめている。	【沖縄県の産業】 ・産業の種類 ・食料の輸送や販売 ・沖縄県の観光業 ・単元のまとめ	・産業の種類について確認しプリントにまとめる。（知及び技に関する内容）（学・人に関する内容） ・沖縄県の食料の輸送や販売の特徴について考え、発表する。（思判表力に関する内容） ・沖縄県の観光業の特徴について調べ、観光業の可能性について考えることができる。（思判表力に関する内容）

2 学期	10	(知及技)契約の基本やいろいろな支払い方法について理解することができる。(高2段階：ア (イ) ㊟) (思判表力)スマホやネット、契約時のトラブルに対する対策や対処法を考えることができる。(高2段階：ア (イ) ㊴) (学・人)18歳からできることを調べることができる。(高2段階：ア (イ) ㊴)	(知・技)契約の基本や支払い方法について理解している。 (思・判・表)スマホやネット、契約時のトラブルに対する対処法などを考えている。 (主学)iPadを活用して、18歳からできることを調べてまとめている。	【私たちと消費社会】 ・買い物・契約の基本 ・お金の上手なやりくり ・スマホやネットでのトラブル ・契約トラブルの対策・対処法 ・18歳からできること ・単元のまとめ	・買い物・契約の基本について確認し、プリントにまとめる。(知識及び技に関する内容) ・お金の上手なやりくりについて考える。(思判表力に関する内容) ・スマホやネットでのトラブルについて確認する。(知識及び技に関する内容) ・契約トラブルの対策・対処法について考え、発表する。(思判表力に関する内容) ・18歳からできることについてiPadを活用し、調べ、まとめる。(学・人に関する内容)
	10	(知及技)我が国が諸外国とどのように関わってきたのかを理解することができる。(高2段階：カ (ア) ㊟) (思判表力)我が国が平和な世界の実現のために果たしている役割について理解することができる。(高2段階：カ (ア) ㊴) (学・人)日本と世界の人々の暮らしを調べ、違いや共通項をまとめることができる。(高2段階：オ (イ) ㊴)	(知・技)我が国の諸外国との関わりの歴史を理解している。 (思・判・表)我が国が平和な世界の実現のために果たしている役割を表現している。 (主学)日本と諸外国の暮らしをiPadを活用して調べ、違いと共通項をまとめる。	【日本と世界のつながり】 ・歴史の中のかかわりからみる物の交流 ・組織や文化交流のつながり ・世界の人々の暮らし	・歴史の中のかかわりからみる物の交流について確認し、プリントにまとめる。(知及び技に関する内容) ・組織や文化交流のつながりについて考える。(思判表力に関する内容) ・世界の人々の暮らしについてiPadを活用して調べ、日本と諸外国の違いをまとめる。(学・人に関する内容)
3 学期	9	(知及技)社会参加するためのきまりや公共交通機関の役割・制度などを卒業後の生活と関連付けて理解することができる。(高2段階：ア (ア) ㊟) (思・判・表)自分の生活と結びつけて考えたり、社会への関わり方を選択・判断することができる。(高2段階：ア (イ) ㊟) (学・人)卒業後の生活がどのように変わるのか考えることができる。(高2段階：ア (ア) ㊟)	(知・技)社会参加するためのきまりや公共交通機関の役割・制度などを卒業後の生活と関連付けて理解している。 (思・判・表)自分の生活と結びつけて考えたり、社会への関わり方を選択・判断している。 (主学)卒業後の生活がどのように変わるのか考えようとしている。	【卒業後の生活】 ・1日のスケジュールの違い ・交通手段や交通費 ・1ヶ月に必要なお金	・高校生活と社会生活の1日のスケジュールの違いについて考える。(学・人に関する内容) ・卒業後の生活においての交通手段や交通費について調べ、確認する。(知及び技に関する内容) ・社会に出た際にかかる1ヶ月に必要なお金について考える。(思判表力に関する内容)
	6	(知及技)時事問題に興味関心を示し、内容を理解することができる。(高2段階：オ (イ) ㊴) (思判表力)着目した時事問題を取り上げ、自分の意見をまとめ、発表することができる。(高2段階：オ (イ) ㊴) (学・人)時事問題を調べることができる。(高2段階：オ (イ) ㊴)	(知・技)時事問題に興味関心を示し、内容を確認し、その記事について理解している。 (思・判・表)着目した時事問題を取り上げ、自分の意見をまとめ、表現している。 (主学)新聞や情報通信機器等を用いて時事問題を調べている。	【新聞を読もう】 ・新聞切り抜き ・コメント発表	・新聞を読み、関心を持った部分の切り抜きを行う。(知及び技に関する内容) ・切り抜いた新聞についてコメントを発表する。(学・人に関する内容)
留意点 引継ぎ等		・授業プリント、発言、授業中の様子、定期テスト等から評価を行う。			

令和8年度 高等部(美里高校分教室) 1 年 (II 課程A類型) 数学科 年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
3／105	1学年 生徒16名	数学科	くらしに役立つ算数

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質を理解し、その表現や処理ができる。(高1段階) (思判表力)日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考え、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表わすことができる。(高1段階) (学・人)数学的活動の楽しさや数学の良さが分かり、課題を解決するため職員と生徒または生徒同士でコミュニケーションを図りながら、事象の解決に取り組むことができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期 (36)	6	(知及技)億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深めることができる。(高1段階(ア)㊟) (思判表力)数のまとまりに着目し大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉えることができる。(高1段階(イ)㊟) (学・人)大きな数の大きさを、日常生活にあるものと比較して表そうとすることができる。	(知・技)万、十万、百万、千万のように、億や兆についても、一、十、百、千と十進位取り記数法を用いている。 (思・判・表)大きな数を1000の何個分や、100の何倍など、まとまりに着目して考えている。 (主学)大きな数の大きさを、身近なものと比較して表そうとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	【A 数と計算】 ア 整数の表し方 ・整数の意味と表し方 ・億、兆までの数 ・大きな数の読み方、書き方	・数の大きさを、生徒数、人口、収穫量など、身近なものと比較して量感を感じる。 ・十進法を用いた位表で整数の意味と表し方を考える。 ・四桁区切りを使って億、兆までの数の読み書きをする。 ・具体物を10、100ずつのまとまりとして捉え、数の合計を求める。
	10	(知及技)10倍、100倍、1/10倍、1/100倍の大きさの数を、小数点の位置を移してつくることができる。(高1段階(ア)㊟) (思判表力)数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方を考えることができる。(高1段階(イ)㊟) (学・人)小数を数学的に処理するよさに気付き、学習に活用しようとすることができる。	(知・技)10倍、100倍、1/10倍、1/100倍の大きさの数を、小数点の位置移動で求めている。 (思・判・表)小数をある位の単位の「何倍」や「いくつ分」と捉えて、計算している。 (主学)小数点の位置移動を、長さや重さの単位換算に活用しようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	イ 整数及び小数の表し方 ・小数の意味と表し方 ・小数点の移動 キ 小数とその計算 ・小数の相対的な大きさ ・長さや重さの単位換算	・足のサイズ、身長等、身の回りにある1より小さい数を元に、小数の意味や表し方について考える。 ・小数を何倍、いくつ分の集まりとして捉える。 ・位表を使って移動した小数点の位置を、実際に電卓を使って確かめる。 ・km⇔m、kg⇔gへの単位換算をする。
	10	(知及技)概数が用いられる場面や四捨五入について知ることができる。(高1段階(ア)㊟、㊱) (思判表力)目的に合った数の処理の仕方を考えることができる。(高1段階(イ)㊟) (学・人)目的に合った数の処理の仕方を、日常生活に生かそうとする。	(知・技)概数の意味を理解し、四捨五入で概数を求めている。 (思・判・表)買い物や割り勘など、目的にあった概算方法について考えている。 (主学)日常の場面で、切り上げ、切り捨ての考えを用いて、数の処理をしようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	ク 概数 ・概数の意味 ・切り上げ、切り下げ、四捨五入 ・予算内での買い物計画 ・概算での四則計算	・ひまわり畑、観客数、人口等の身の回りの数を取り上げ概数の意味を考える。 ・概数を表す方法として数直線を利用し、切り上げ、切り下げ、四捨五入について、数の処理の仕方を学ぶ。 ・チラシから食材の値段を探し、予算内で購入できるように概算で見積もる。 ・概算での四則計算を練習し、商品カードを使って模擬買い物で実践する。

	10	（知及技）同分母の分数の加法と減法の計算ができる。（高1段階(ア)(㊸) （思判表力）数のまとまりに着目し、分数でも数の大きさを比べたり計算できるか考える。（高1段階(イ)(㊹)) （学・人）数学的活動を通して分数で表すよさに気付き、課題解決に取り組もうとする。	（知・技）単位分数のいくつかを理解し、加法と減法の計算をしている。 （思・判・表）表し方が違う同じ大きさの分数について、等しいことを図で考えている。 （主学）実生活の場面で分数を活用し、課題を解決しようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	ケ 分数とその計算	・1つのピザや飲み物を何人かで分ける活動を通して、分数の意味と表し方を知る。 ・1Lや1dLのビーカーや帯状の長方形を利用し、分数を図に表して大小関係、大きさの等しい分数を考える。 ・図を利用して同分母の加法と減法をイメージし、計算で答えを導く。
2 学期 （4 と）	14	（知及技）平行四辺形、ひし形、台形について知ることができる。（高1段階(ア)(㊹) （思判表力）図形を構成する要素及び位置関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすことができる。（高1段階(イ)(㊺) （学・人）数学的活動を通して、図形の形や大きさが決まる要素を見いだそうとすることができる。	（知・技）平行や垂直の関係を理解し、四角形を平行四辺形、ひし形、台形に分類している。 （思・判・表）平行四辺形、ひし形、台形を構成する要素の「平行、垂直、長さ」に着目して、長方形との違いを表に整理している。 （主学）見本と同じ図形を描く操作を通して、図形の形や大きさが決まる要素について考えようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	【B 図形】 ア 平面図形 ・四角形の弁別 ・平行四辺形、ひし形、台形の性質 ・平行四辺形、ひし形、台形の作図	・様々な四角形を、自身が考える理由付けで仲間分けをする。 ・平行や垂直な線を描く。 ・身の回りの平行や垂直の関係にある具体物を撮影する。また、どこにどんな関係があるのか発表する。 ・平行四辺形、ひし形、台形の性質を、平行の組数、垂直関係のあるなし、長さが等しい等しくない等の観点で表に整理する。 ・平行四辺形、ひし形、台形を2つの三角定規とコンパスで作図する。
	14	（知及技）三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解する。（高1段階(ア)(㊻) （思判表力）図形を構成する要素などに着目して、基本図形の花積の求め方を見いだす。（高1段階(イ)(㊻) （学・人）数学的活動を通して、基本図形の花積の公式から、四角形の花積を導きだそうとする。	（知・技）公式を使って、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の花積を求めている。 （思・判・表）面積の大きさを変えずに形を変え、求積可能な図形になるように工夫している。 （主学）基本図形の公式を活用するために、四角形を切ったり貼ったりして、基本図形に変形できるかを粘り強く確かめようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	エ 平面図形の花積 ・三角形、長方形の花積を求める公式 ・等積変形 ・平行四辺形、ひし形、台形の花積の公式	・タイルを数えて広さを比べる。 ・1平方センチメートルの定義から、長方形の花積の求め方を考える。 ・長方形の花積の公式をヒントに、三角形の花積を求める工夫を考える。 ・平行四辺形、ひし形、台形を、切ったり貼ったりして、面積を変えないで長方形に直す。 ・長方形の公式をヒントに、平行四辺形、ひし形、台形の花積の公式を考える。
	14	（知及技）簡単な場合について、比例の関係があることを知る。（高1段階(ア)(㊼) （思判表力）伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察する。（高1段階(イ)(㊼) （学・人）伴って変わる二つの数量の関係について、実験から見いだした特徴を基に、発展的に考察しようとするることができる。	（知・技）二つの数量の変化を表に当てはめ、一方が2倍、3倍、…になると、伴って他方も2倍、3倍、…になることを理解している。 （思・判・表）伴って変わる二つの数量の関係について、変化や対応の規則性を見つけ、式に表そうとしている。 （主学）二つの数量の変化や対応の規則性が、他の値においても成り立つか予想し、実際に協力して確かめようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	【C 変化と関係】 ア 伴って変わる二つの数量 ・二つの数量の変化 ・数量の関係を表に作成 ・変化や対応の規則性 ・比例	・トランプのプレイヤー数と手札の数、箱の段数と合計等の具体物操作を通して数量の変化を考える。 ・数量の関係を表に作成し、その変化や対応の規則性について考える。 ・身の回りにある伴って変わる数量（比例）探しをする。
3 学期 （2 と）	15	（知及技）円グラフや帯グラフの意味やそれらの用い方を理解する。（高1段階(ア)(㊽) （思判表力）目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取る。（高1段階(イ)(㊽) （学・人）目的に応じて収集、整理したデータの結論について、多面的に捉え考察しようとするることができる。	（知・技）数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表そうとしている。 （思・判・表）目的に応じてデータを収集、分析し、適切なグラフを用いてデータの特徴や傾向を考えている。 （主学）他の生徒の収集、分析したデータの結果に興味をもち、お互いに比較し合おうとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	【D データの活用】 ア データの収集とその分析 ・表とグラフ ・データの収集、分析、発表	・「好きな食べ物やスポーツの種類」と「投票数」、「ケガの種類」と「その起こった場所」などデータを表に整理し、棒グラフ、帯グラフ、円グラフで表す。 ・棒グラフ、帯グラフ、円グラフの特徴を整理する。 ・Formsでアンケート作成し、グラフの結果から傾向を発表する。

し	12	(知及技) 平均の意味や求め方を理解することができる。(高1段階(ア)㊦) (思判表力) 概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察することができる。(高1段階(イ)㊦) (学・人) 測定した結果を平均する方法について、日常生活に生かそうとすることができる。	(知・技) 平均の意味を理解し、計算している。 (思・判・表) 数値を量と捉え、多い所から少ない所へ移動しなす平均の方法を、視覚的な操作を通して考察している。 (主学) 日常生活の場面における平均について、学習したことを活かし求めようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	イ 測定した結果を平均する方法 ・平均の意味と求め方 ・データの測定と平均	・「平均＝でこぼこをならす」の意味を、タイルを使った具体物操作を通してイメージをもつ。 ・平均の意味から求め方を式に表す。 ・平均を式で求める。 ・歩数と距離のデータを測定し、自身の1歩の長さの平均を求める。
留意点 引継ぎ等	【数学的活動】※年間を通して取り組む (ア) 日常の事象を数理的に捉え、問題を見だして解決し、解決の過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活に生かしたりする活動。 (イ) 数学の学習場面から数学の問題を見致して解決し、解決過程を振り返り統合的・発展的に考察する活動。 (ウ) 問題解決の過程や結果を、目的に応じて図や式などを用いて数学的に表現しあう活動。				

単位数／配当時数		生徒		担当者	教科書／副教材
3／105		2 学年 生徒16名		数学科	くらしに役立つ算数
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技)数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質を理解し、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。(高2段階) (思判表力)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考える力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表わす力を身に付ける。(高2段階) (学・人)数学的活動の楽しさや数学のよさがわかり、学習したことを振り返り、課題を解決しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期 (36)	12	(知及技)整数は、観点を決めると偶数と奇数に類別されることがや約数、倍数について理解することができる。 (高2段階ア(ア)) (思判表力)乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりすることができる。(高2段階ア(イ)) (学・人)観点を決めて整数を類別する仕方や構成について考察し、日常生活に生かすことができる。	(知・技)倍数や約数の意味を理解し、最大公約数や最小公倍数を求めている。 (思・判・表)倍数、約数という観点到に着目し、整数を素数に類別しようと考えている。 (主学)倍数または約数のどちらを用いれば、身近な問題を解決できるか考えようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	【A 数と計算】 ア 整数の性質及び整数の構成 ・偶数と奇数の類別 ・倍数と公倍数 ・約数と公約数 ・最小公倍数と最大公約数 ・身の回りの最小公倍数と最大公約数 ・素数	・1～10までの倍数一覧表を作成する。 ・1～100までの数表から2つの数の倍数について全て選び出し、共通する倍数探しをする。 ・100までの数表をヒントに公倍数の特徴を考える。(最小公倍数を含む) ・主要な数についての約数一覧表を作成する。 ・2つの数について、数直線を使って約数を全て選び出し、共通する約数探しをする。 ・約数の特徴や気付いたことを整理する。(最大公約数を含む) ・すだれ算を使って最小公倍数と最大公約数を求める。 ・長方形のタイルで正方形を敷き詰める場合の一辺の長さを求める等、最小公倍数や最大公約数の応用問題に挑戦する。
	12	(知及技)分数の意味や法則について理解し、計算することができる。(高2段階イ(ア)、ウ(ア)、エ(ア)) (思判表力)分数の意味や表現に着目し、計算の仕方を考えることができる。(高2段階イ(イ)、ウ(イ)、エ(イ)) (学・人)身の回りの分数について、観定の置き方によって様々な表現や捉え方があることを知ることができる。	(知・技)分数の意味や法則を理解し、異分母の分数の計算している。 (思・判・表)異分母の分数の計算を、図に表して考えている。 (主学)身の回りにある分数をみつけ、どのような観定で表現されているか考えようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	イ 分数 ・「小数⇔分数」に直す ・分数の相等、大小の比較 ウ 分数の加法及び減法 ・異分母の分数の加法と減法 エ 分数の乗法及び除法 ・分数の乗法と除法	・小数や分数の意味から、お互いの形に直して数を表す。 ・縦長の長方形を1とした図を使って、等分したうちのいくつかを斜線や色で表す。 ・分数の大小や等しい大きさを図に表し、計算の答えを求める。 ・異分母の分数を(分母の数の最小公倍数で)通分し、計算する。 ・乗法、除法についても、「比べる量」÷「基にする量」の式に当てはめられることを確認する。 ・ピザや飲み物を分けるなど、身の回りにある分数を考える。
	12	(知及技)正の数と負の数の四則計算をすることができる。(中学ア(イ)) (思判表力)算数で学習した数の四則計算と関連付けて、正の数と負の数の四則計算の方法を考察し表現することができる。(中学イ(ア)) (学・人)身の回りの正の数と負の数に関心をもち、その意味と必要性を生活に生かすことができる。	(知・技)正の数と負の数の意味を理解し、加法と減法の計算をしている。 (思・判・表)東西の移動や数直線を使って加法と減法の計算方法を考察している。 (主学)日常生活の中にある正の数と負の数を見つけ、自身の生活との関わりについて考えようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	【A 数と式】 正の数と負の数 ・符号のついた数 ・符号のついた数の加法と減法 ・日常の中の正の数と負の数	・トランプのマークの黒と赤を財産と借金に見立てるゲームをグループで行い、＋や－の符号がついた数についての加法と減法をイメージする。 ・ゲーム得点を符号を使って式で表す。 ・同符号、異符号の加法と減法の計算をする。 ・身の回りにあるもので、＋、－で表現できるものを考える。

2 学 期 （ 4 2 ）	14	（知及技）直方体に関連して、直線や平面の平行や垂直の関係について理解することができる。（高1段階イ（ア）） （思判表力）図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察することができる。（高1段階イ（イ）） （学・人）日常の事象を図形の性質から数学的に捉え直すことができる。	（知・技）直方体の模型や具体物を調べ、頂点、辺、面に着目して、平行や垂直の関係をまとめている。 （思・判・表）立体図形の位置関係を捉え、見取り図や展開図で表している。 （主学）日常の中にある立体図形を切り開いたり組み立てたりする活動を通して、図形の構成を主体的に調べようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	【B】図形 イ 立体図形 ・立方体と直方体 ・直方体における直線や平面の平行や垂直の関係 ・見取り図、展開図 ・角柱や円柱 ・立体当てクイズ	・身の回りにある箱を、自身の理由付けで仲間分けする。 ・直方体と立方体について、頂点や辺の数、面の形とその数を調べ、特徴をまとめる。 ・様々な立体を組み立てたり分解したりして、「面と面」の平行や垂直な関係と構成について考える。 ・身の回りの平行や垂直な関係にある具体物を撮影する。また、どこにどんな関係があるのか発表する。 ・平行や垂直を意識して、見本通りに見取り図を描く。 ・立方体や直方体の展開図が何通りあるか、ICT教材で切り口を指定して適切な展開図を見つける。 ・角柱や円柱などの、多面体についての構成を表に整理する。
	14	（知及技）平面図形を縮小したり、拡大したりすることの意味や対称な図形について理解できる。（高2段階ア（ア）） （思判表力）図形を構成する要素及び図形感の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだすことができる。（高2段階イ（ア）） （学・人）図形の性質を基に既習の図形を捉え直したり、日常生活に生かすことができる。	（知・技）方眼を利用し、縦横の向きに同じ割合や辺の長さの比を一定にして、縮図や拡大図を作図している。 （思・判・表）縮図や拡大図を比べ、大きさは異なるが、「同じ形である」とする要素について考えている。 （主学）縮図や拡大図、対称な図形の性質を基に、オリジナルの図形を作図しようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	【B 図形】 ア 平面図形 ・縮図や拡大図 ・対称な図形	・身の回りの中から、縮小や拡大の関係にあるものを探す。 ・もとの図と縮図や拡大図、そうでない図を比べ、特徴を整理する。 ・ICT教材で、見本図形の角度を変えずに線の長さを縮めたり伸ばしたりして、2倍、1/2倍の縮図と拡大図に慣れた後、方眼紙に描く。 ・身の回りある、線対称、点対称な図形を探す。 ・様々な図形について対称軸の有無を考え、線対称かどうか判断する。 ・180° 図形を回転させ、もとの図との重なり具合を確認する。 ・方眼紙に、縮図や拡大図、線対称や点対称な図形の性質を踏まえ、いずれかにおいて自作の図形を描く。
	14	（知及技）円の面積の計算による求め方について理解することができる。（高2段階ウ（ア）） （思判表力）図形を構成する要素などに着目し、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くことができる。（高2段階ウ（イ）） （学・人）数学的活動を通して、気付いたことやわかったことを説明したり発表することができる。	（知・技）円を既習の基本図形で分割し、およその面積を計算で見当を付けている。 （思・判・表）「円の面積＝平行四辺形の面積（底辺×高さ）」と捉え、底辺と高さがもとの円のどの長さにあたるかを考えて面積を式で表している。 （主学）円の面積を工夫して求める活動を通して、気付いたことやわかったことを説明したり発表したりしようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	【B】図形 ア 平面図形 ・円と正多角形の性質 ・円周率 (3.14) ウ 平面図形の面積 ・円の面積の見当 - 正方形の分割 - 円の内接と外接四角形 ・円の面積の公式 - 三角形の分割	・正六角形、八角形、十二角形と数を増やした図形がどのような形になるか予想する。 ・1 cm²の正方形の面積を使って、円の面積のおよその求め方について考える。 ・円の面積を、円の中心が頂点で半径が辺となる二等辺三角形で細かく分割し、平行四辺形になるように図形を変形する。その面積を既習の公式を使って計算する。 ・円の面積を公式を使って求める。
	15	（知及技）百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めることができる。（高1段階（ア）④） （思判表力）日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察することができる。（高2段階ア（イ）） （学・人）数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、数学のよさを実感することができる。	（知・技）基準量を100として、それに対する割合を分数に表し、百分率を求めている。 （思・判・表）打率やシュート率、割引率などの割合における大小を比べ、どちらが「上手か」や「お得か」を考えている。 （主学）百分率や割合を知り、日常生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	【C 変化と関係】 ウ 二つの数量の関係 ・歩合、百分率の意味と表し方 ・基準量10や100の割合を図示 ・割合を使った割引や消費税の計算	・「比べる量」と「全体量」の関係から、割合を分数や小数の2通りで表し表にまとめる。 ・シュート数や打率等、基準量を10や100としたときの歩合、百分率の意味を図に描き、割合の表し方を知る。 ・割合を計算した金額の求め方を、「もとの金額」×「割合（小数）」の計算で求める。
3 学 期 （ 2 7 ）	12	（知及技）量的データの分布の中心や散らばりの様子からデータの特徴を読み取る方法が理解できる。（高2段階ア（ア）） （思判表力）目的に応じてデータを収集し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に捉え考察することができる。（高2段階イ（ア）） （学・人）データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、生活に生かすことができる。	（知・技）平均値、中央値、最頻値などの代表値の意味を理解し、度数分布表や柱状グラフから読み取っている。 （思・判・表）目的に応じてデータを収集し、データの量や公平性、根拠を意識して考察している。 （主学）日常の事象から興味・関心があるデータを収集し、学習したことを生かそうとすることができる。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	【D データの活用】 ア データの収集とその分析 ・度数分布 ・度数分布表と柱状グラフの特徴 ・代表値（平均値、中央値、最頻値）の意味や求め方 ・データの収集と分析	・身の回りにある数の範囲の表現（以上、未満）について、条件に該当するかしないかを念頭に考える。 ・身長や通学時間等のデータを正の字で整理し、度数分布表と柱状グラフに表す。 ・遠投や上体起こしのデータ等で、平均値、中央値、最頻値を調べ、データの特徴を考える。 ・特別支援学校駅伝大会のタイムを元に、ドットプロットで散らばり方を調べ、チーム編成等の改善を考える。
	留意点 引継ぎ等	【数学的活動】※年間を通して取り組む （ア）日常の事象を数理的に捉え、問題を見だして解決し、解決の過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活に生かしたりする活動。 （イ）数学の学習場面から数学の問題を見致して解決し、解決過程を振り返り統合的・発展的に考察する活動。 （ウ）問題解決の過程や結果を、目的に応じて図や式などを用いて数学的に表現しあう活動。			

単位数／配当時数		生徒		担当者	教科書／副教材
3／105		3学年 生徒16名		数学科	くらしに役立つ算数
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技)数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質を理解し、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。(高2段階) (思判表力)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考える力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表わす力を身に付ける。(高2段階) (学・人)数学的活動の楽しさや数学のよさがわかり、学習したことを振り返り、課題を解決しようとする態度を養う。			
す・意 式 味 が を 表	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期 （ 3 6 ）	14	(知及技)四則の混合した式や（ ）を用いた式について理解し、正しく計算することができる。(高1段階Aコ(ア)㊟) (思判表力)問題場面の数量の關係に着目し、数量の關係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすることができる。(高1段階Aコ(イ)㊟) (学・人) ペアーやグループ間で協力しながら問題を解決することができる。	(知・技)四則の混合した式や（ ）を用いた式について、計算の順序に従って正しく計算している。 (思・判・表)「値段×個数＝合計」のように「ことばの式」を立て、数量の關係を式で表している。 (主学)数量關係における式や具体的な場面に関して作成した問題を、ペアーやグループ間で出題し合い、話し合いながら答えを導き出そうとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	【A 数と計算】 コ 数量の關係を表す式 ・四則に関して成り立つ性質（交換法則、分配法則、結合法則） ・四則の混じった計算 ・数量の關係式を立てる	・加減乗除法に実際の数を当てはめて法則が成り立つかを確かめる。 ・数量關係を「ことばの式」で表すことで、計算の正しい順序について考える。 ・四則や（ ）、累乗の混じった計算を正しい順序で計算過程をかく。 ・文章問題からキーワードを見つけ、適する演算を使って数量の關係式を立てる。
	6	(知及技)数量を□、△などを用いて表し、その關係を式に表したり、□、△などに数を当てはめて調べたりすることができる。(高1段階Aコ(ア)㊟) (思判表力)二つの数量の対応や変わり方に着目し、簡単な式で表されている關係について考察することができる。(高1段階コ(イ)㊟) (学・人) 二つの数量の關係を、□、△などを用いて表すことのよさについて、考えることができる。	(知・技)「値段×個数＝合計」などの「ことばの式」を、□、△などを用いて表している。また、□や△に数を当てはめて変わり方を調べている。 (思・判・表)□＝2＋△、□＝2×△、□＝△÷2などの式の△に、数を入れ、□と△の二つの数量がどのように変化しているか、表を用いて考えている。 (主学)二つの数量の關係を、□、△などを用いて表すことについて考えようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	・□、△を用いた二つの数量の關係式 ・□、△への代入、値調べ ・二つの数量の關係を表に整理 ・二つの数量の關係についての變化と特徴	・最初にあったあめ玉の個数から食べた個数と残りの個数など、身の回りの二つの数量關係を一旦図に表して考え、□と△で表す。 ・□と△に具体的な数を当てはめて変わり方を調べる。 ・数量關係の式から、□に入る数や△に入る数を求めたい場合に、演算がどのように変わるか図を参考に考える。
	16	(知及技)数量を表す言葉や□、△などの代わりに、a、xなどの文字を用いて式に表したり文字に数を当てはめて調べたりすることができる。(高2段階Aオ(ア)㊟) (思判表力)問題場面の数量の關係に着目し、数量の關係を簡潔かつ一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすることができる。(高2段階Aオ(イ)㊟) (学・人) 文字を用いた式を活用することで、数量の關係や思考過程を簡潔に表現できるよさに気付くことができる。	(知・技)数量の關係を、a、xなどの文字を用いて式に表している。 (思・判・表)文字式で表された数量關係を、×や÷を省略して簡潔に表している。 (主学)文字を用いた式で表すことのよさについて考えようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	オ 数量の關係を表す式 ・文字を用いた式作り ・代入、式の意味 ・文字式の決まり ・文字式の簡単な計算	・既習事項の□や△の代わりに文字を用いた式で表す。 ・わからない数、求めたい数xに代入して、式が表す關係が成立していることを確かめる。 ・文字式の決まりに従って×を省略したり、÷を分数に直して簡潔に表す。

2学期 (42)	14	（知及技）反比例の関係について理解することができる。（高2段階Cア(ア)㊟） （思判表力）伴って変わる二つの数量を見いだしてそれらの関係に着目し、目的に応じて表や式、グラフを用いて関係を表現して、変化や対応の特徴を見つけることができる。（高2段階Cア(イ)㊟） （学・人）日常生活の場面において、反比例の関係を見いだすことができる。	（知・技）二つの数量の一方が2倍、3倍になれば、それと対応する他方の数量が1/2倍、1/3倍、になることを理解している。 （思・判・表）目的に応じて、表や式、グラフを用い、変化や対応の特徴を考えている。 （主学）二つの数量の関係が比例または反比例かを判断しようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	【C 変化と関係】 ア 伴って変わる2つの数量 ・比例の復習 ・反比例の関係の意味や性質 ・反比例の表とグラフ	・速さと時間や、長方形の面積の縦と横の長さ等、二つの数量の変わり方を表にまとめる。 ・比例と反比例を比べ、その違いを整理する。 ・反比例のグラフを描く
	14	（知及技）比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくったりすることができる。（高2段階Cイ(ア)㊟） （思判表力）日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察することができる。（高2段階Cイ(イ)㊟） （学・人）日常生活において、比を活かすことができる。	（知・技）濃縮液1杯と水2杯、3杯と6杯を、1：2、3：6と表せ、同じ濃さを表す等しい比をつくることのできる。 （思・判・表）濃縮液と水の割合を変えながら濃さについて調べ、自分好みのジュースの濃さを比で表している。 （主学）調理レシピをみて、人数分の分量を求めようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	イ 二つの数量の関係 ・比の意味と表し方 ・同じ濃さのジュース ・自分好みの濃さの割合 ・調理レシピの分量計算	・調味料の配合や異なる濃さのジュース作りを通して、小数でも比の表し方を知る。 ・1袋に含まれる2種類のお菓子の量を数えて比で表す。また、一方の数量から他方の数を求める。 ・調理レシピ1人分の分量から各自指定された人数分の分量を計算し、予算とフードロスを意識した材料の購入計画を立てる。 ・自身の購入計画のポイントを説明する。
	14	（知及技）身の回りにある形について、その概形を捉え、およその面積などを求めることができる。（高2段階Bイ(ア)㊟） （思判表力）図形を構成する要素や性質に着目し、筋道を立てて面積などの求め方を考えることができる。（高2段階Bイ(イ)㊟） （学・人）身の回りの具体的な形を考察の対象として取り上げ、多様な図形の見方を働かせることができる。	（知・技）具体的な形を、三角形や四角形のように測定しやすい形として捉え、面積を求めている。 （思・判・表）概形の捉え方によって、およその面積と実際の面積の値が異なることについて考えている。 （主学）教室や学校内などにある、身の回りの具体的な形を取り上げ、およその面積を求めようとしている。 【評価資料】活動、プリン、自己評価	【B 図形】 イ 身の回りにある形の概形やおよその面積 ・三角形、長方形の面積 ・具体的な形を概形として捉える ・概形の面積と実際の面積比べ	・三角形、長方形、平行四辺形、台形の面積の復習。 ・自身の手や足等を撮影し、その形の概形を学習した図形で分割し、およその面積を求める。 ・都道府県や世界の地図から概形の面積を求め、実際と面積と比べる。
3学期 (27)	15	（知及技）立方体及び直方体の体積の計算による求め方について理解することができる。（高2段階Bエ(ア)㊟） （思判表力）体積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の体積の求め方を考えるとともに、体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察することができる。（高2段階B(イ)㊟） （学・人）既習の図形に着目して、体積の求め方について、考えることができる。	（知・技）直方体の体積を、一辺が1cmの立方体として1段目を敷き詰め、重ねてできた個数の合計として捉え、「縦×横×高さ」で求めている。 （思・判・表）三角柱や円柱の底面の図形に着目し、実際に三角形や円を積み重ねてできた立体図形の体積の求め方について考えている。 （主学）三角柱以外の角柱についての体積を求める方法を考えようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	エ 立体図形の体積 ・2つの直方体の体積比べ ・基準の大きさ ・単位と測定の意味 ・直方体の体積 ・角柱、円柱の体積	・2つの直方体の体積を、1cm³の立方体で空間を埋めて数える。 ・三角柱や円柱の底面の図形の面積を求め、その図形を積み重ねてできた立体図形の体積を求める式を考える。 ・五角柱や六角柱などはどういうにして体積を求めることができるか考える。
	12	（知及技）起こり得る場合を順序よく整理するための図や表などの用い方を理解することができる。（高2段階Dイ(ア)㊟） （思判表力）事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べる方法を考察することができる。（高2段階Dイ(イ)㊟） （学・人）思考や表現方法の工夫に触れ、落ちや重なりがないように考えるよさに気付ける。	（知・技）起こりうる場合を、順序よく整理して数え上げている。 （思・判・表）起こりうる場合を整理する観点によって、1対1、樹形図、表を用いて、落ちや重なりがないように考えている。 （主学）樹形図や表など、思考の過程や表現について適した方法で考えようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	【D データの活用】 イ 起こり得る場合 ・場合の数 ・数え上げの工夫（列、樹形図、表）	・2人でじゃんけんした場合のグーチョキパーの出し方や、食事と飲み物の注文の組み合わせなどが何通りあるかを考える。 ・起こり得る全ての場合を見落としなく、重なりなく調べる方法として樹形図を用い、書き並べる。 ・バトミントンやバレーのの対戦を想定して、相手や結果がわかる表を作成する。
留意点 引継ぎ等		【数学的活動】※年間を通して取り組む （ア）日常の事象を数理的に捉え、問題を見だして解決し、解決の過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活に生かしたりする活動。 （イ）数学の学習場面から数学の問題を見致して解決し、解決過程を振り返り統合的・発展的に考察する活動。 （ウ）問題解決の過程や結果を、目的に応じて図や式などを用いて数学的に表現しあう活動。			

令和8年度 高等部(美里高校分教室) 1 年（Ⅱ 課程A類型） 理科 年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	1 学年 16名	理科	くらしに役立つ 理科

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。【高2段階】 (思判表力) 観察・実験などを行い、解決の方法を考える力を養う。【高2段階】 (学・人) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。【高2段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	8	(知及技)人の体における各器官や器官系の働きについて理解することができる。【高2段階】 (思判表力)人の体のつくりと働きについて調べる中で、体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きについて予想し、表現することができる。【高2段階】 (学・人)自分の体のつくりや運動について調べ、人の体のつくりや働きについて考えることができる。【高2段階】	(知・技)人の体における各器官や器官系の働きについて理解している。 (思・判・表)人の体のつくりと働きについて調べる中で、体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きについて予想し、表現している。 (主学)自分の体のつくりや運動について調べ、人の体のつくりや働きについて考えている。 【評価資料】活動の様子、提出物、自己評価	1 章 健康なくらし 1. 人体とけが・病気の予防 (1) 人の体の主なつくりや働き ○人の体のつくりやと働き 【高2段階A-ア】	・養分を取り入れる ・酸素を取り入れる ・血液を全身に送り出す ・不要物を体の外へ出す ・情報を受け取る ・覚えたり考えたりする ・体の働きを調整する
	3	(知及技)主な病気の原因や症状を理解することができる。【高2段階】 (思判表力)病気の予防法について考えたことを表現することができる。【高2段階】 (学・人)自分の生活を振り返り、病気を予防するためにはどうしたらいいのか考えることができる。【高2段階】	(知・技)主な病気の原因や症状を理解している。 (思・判・表)病気の予防法について考えたことを表現している。 (主学)自分の生活を振り返り、病気を予防するためにはどうしたらいいのか考えている。 【評価資料】活動の様子、提出物、自己評価	(2) 病気とその予防 ○人の体のつくりやと働き 【高2段階A-ア】	・体を守る仕組み ・様々な病気 ・病気の予防
	3	(知及技)けがの処置や予防法を理解することができる。【高2段階】 (思判表力)けがの正しい処置を実践することができる。【高2段階】 (学・人)様々なけがとその処置について考え、日々の生活に生かそうとすることができる。【高2段階】	(知・技)けがの処置や予防法を理解している。 (思・判・表)けがの正しい処置を実践している。 (主学))様々なけがとその処置について考え、日々の生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の様子、提出物、自己評価	(3) けがとその処置 ○人の体のつくりやと働き 【高2段階A-ア】	・様々なけが ・応急処置の方法

2 学期	7	(知及技)植物の発芽から結実までに必要な条件を理解することができる。【高1段階】【高2段階】 (思判表力)植物の育ち方について調べる中で、植物の発芽、成長及び結実とそれらに関わる条件についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。【高1段階】【高2段階】 (学・人)植物と自分の生活との関わりについて見いだした疑問を調べ、日常生活に生かすことができる。【高1段階】【高2段階】	(知・技)植物の発芽から結実までに必要な条件を理解している。 (思・判・表)植物の育ち方について調べる中で、植物の発芽、成長及び結実とそれらに関わる条件についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現しようとしている。 (主学)植物と自分の生活の関わりについて見いだした疑問を調べ、日常生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の様子、提出物、自己評価	第2章 自然とくらし 1. 生物 (1) 植物 ○植物の発芽、成長、結実【高1段階A-ア】 ○植物の養分と水の通り道【高2段階A-イ】	・植物の観察 ・植物の種類と特徴 ・植物の発芽・成長・結実 ・植物の栽培 ・植物との関わり
	6	(知及技)人は、母体内で成長して生まれることができる。【高1段階】 (思判表力)人や動物の発生や成長について、様子と経過についての予想や仮説を基に、自分の言葉で表現することができる。【高1段階】 (学・人)生命の連続性について調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かすことができる。【高1段階】	(知・技)人は、母体内で成長して生まれることを理解している。 (思・判・表)人や動物の発生や成長について、様子と経過についての予想や仮説を基に、自分の言葉で表現しようとしている。 (主学)生命の連続性について調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の様子、提出物、自己評価	(2) 動物 ○動物の誕生【高1段階A-イ】	・身の回りの生物 ・新しい命を育てる ・動物の誕生 ・動物の種類と特徴 ・動物の観察 ・動物との関わり
3 学期	3	(知及技)微生物の働きについて理解することができる。【高1段階】 (思判表力)微生物の観察を通して感じたことを表現することができる。【高1段階】 (学・人)微生物と自分の生活との関わりについて主体的に調べることができる。【高1段階】	(知・技)微生物の働きについて理解している。 (思・判・表)微生物の観察を通して感じたことを表現している。 (主学)微生物と自分の生活との関わりについて主体的に調べている。 【評価資料】活動の様子、提出物、自己評価	(3) 微生物 ○動物の誕生【高1段階A-イ】	・微生物と私たちのくらし ・微生物の観察
	5	(知及技)生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていること、生物の間には、食う食われるという関係があること、人は環境と関わり、工夫して生活していることがわかる。【高2段階】 (思判表力)生物と環境について調べる中で、生物と環境との関わりについて、表現することができる。【高2段階】 (学・人)生物と環境との関わりについて調べ、生命を尊重する態度を養うことができる。【高2段階】	(知・技)生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていること、生物の間には、食う食われるという関係があること、人は環境と関わり、工夫して生活していることを理解している。 (思・判・表)生物と環境について調べる中で、生物と環境との関わりについて、表現しようとしている。 (主学)生物と環境との関わりについて調べ、生命を尊重する態度を養おうとしている。 【評価資料】活動の様子、提出物、自己評価	(4) 生物と食物連鎖 ○生物と環境【高2段階A-ウ】	・「食うー食われる」の関係 ・生物と環境
留意点 引き継ぎ等		※単元・題材名における○は、特別支援学校学習指導要領解説 知的障害教科等編との関連項目を表す。 ※通年を通して、校外での見学や体験学習を実施する。			

令和8年度 高等部(美里高校分教室) 2年(Ⅱ課程 A類型) 理科 年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	2学年 16名	理科	くらしに役立つ理科

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察・実験などに関する基本的な技能を身に付ける。【高2段階】 (思判表力) 観察・実験などを行い、解決の方法を考える力を養う。【高2段階】 (学・人) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。【高2段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	3	(知及技)食事における各栄養素の働きについて理解することができる。【高2段階】 (思判表力)栄養バランスのよい食事について考えたことを表現することができる。【高2段階】 (学・人)自分の食事を振り返り、健康的な食事について考えることができる。【高2段階】	(知・技)食事における各栄養素の働きについて理解している。 (思・判・表))栄養バランスのよい食事について考えたことを表現している。 (主学)自分の食事を振り返り、健康的な食事について考えている。 【評価資料】活動の様子、提出物、自己評価	1章 健康なくらし 2. 食事と健康 (1) 食品の栄養素 ○生物と環境【高2段階A-ウ】	・五大栄養素 ・食べ物と栄養素
	3	(知及技)食品の腐敗の原因を理解することができる。【高2段階】 (思判表力)食品の保存方法や食品表示の読み取り方を知り、様々な食品の正しい保存方法を選択することができる。【高2段階】 (学・人)食品の取り扱いについて考え、日々の生活に生かそうとすることができる。【高2段階】	(知・技)食品の腐敗の原因を理解している。 (思・判・表)食品の保存方法や食品表示の読み取り方を知り、様々な食品の正しい保存方法を選択している。 (主学)食品の取り扱いについて考え、日々の生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の様子、提出物、自己評価	(2) 食品がくさる・いたむとは？ ○生物と環境【高2段階A-ウ】	・食品が「くさる」、「いたむ」 ・食品の保存方法 ・食品表示とは
	5	(知及技)流れる水には、土地を浸食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあることを理解することができる。【高1段階】 (思判表力)実際の川での流れる水の働きと土地の変化について、流水実験で見いだしたことを表現することができる。【高1段階】 (学・人)流れる水の働きと土地の変化について学んだことを日々の生活に生かそうとすることができる。【高1段階】	(知・技)流れる水には、土地を浸食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあることを理解している。 (思・判・表)実際の川での流れる水の働きと土地の変化について、流水実験で見いだしたことを表現している。 (主学)流れる水の働きと土地の変化について学んだことを日々の生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の様子、提出物、自己評価	2章 自然とくらし 2. 地球と自然 (1) 地球と天体 ○流れる水の働きと土地の変化【高1段階B-ア】	・地球の様子を知ろう ・大気と海 ・流れる水の働き ・川の流れとその働き

2 学期	6	(知及技)月の輝いている側に太陽があること、また、月の形の見え方は、太陽と月との位置関係によって変わること理解することができる。【高2段階】 (思判表力)月の形の見え方について観察、実験を行い、月の位置や形と太陽の位置との関係について見いだしたことを表現することができる。【高2段階】 (学・人)月の形の見え方について学んだことを日々の生活に生かそうとすることができる。【高2段階】	(知・技)月の輝いている側に太陽があること、また、月の形の見え方は、太陽と月との位置関係によって変わること理解している。 (思・判・表)月の形の見え方について観察、実験を行い、月の位置や形と太陽の位置との関係について見いだしたことを表現している。 (主学)月の形の見え方について学んだことを日々の生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の様子、提出物、自己評価	(1)地球と天体 ○月と太陽【高2段階B-イ】	・月の見え方と動き ・太陽の動き ・星の動き
	4	(知及技)気圧の変化や前線の通過によって天気の変化を理解することができる。【高1段階】 (思判表力)天気図から読み取れることを表現することができる。【高1段階】 (学・人)季節によって発達する気団について考え、日々の生活に生かそうとすることができる。【高1段階】	(知・技)気圧の変化や前線の通過によって天気の変化を理解している。 (思・判・表)天気図から読み取れることを表現している。 (主学)季節によって発達する気団について考え、日々の生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の様子、提出物、自己評価	(3)気象 ○天気の変化【高1段階B-イ】	・天気と日常生活 ・季節による気象の変化と特徴
	6	(知及技)様々な環境問題や自然災害の起こり方とその影響を理解することができる。【高2段階】 (思判表力)環境の保全や自然災害から身を守る方法について考えたことを表現することができる。【高2段階】 (学・人)様々な環境問題や自然災害が起こったときにどうしたらいいのかを考え、日々の生活に生かそうとすることができる。【高2段階】	(知・技)様々な環境問題や自然災害の起こり方とその影響を理解している。 (思・判・表)環境の保全や自然災害から身を守る方法について考えたことを表現している。 (主学)様々な環境問題や自然災害が起こったときにどうしたらいいのかを考え、日々の生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の様子、提出物、自己評価	(2)地球の環境問題 (4)自然災害 ○土地のつくりと変化【高2段階B-ア】	・様々な環境問題 ・環境の保全について ・地震 ・津波 ・台風 ・火山
3 学期	8	(知及技)物の性質によって水に溶ける物と溶けない物があることを理解することができる。【高1段階】 (思判表力)物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって異なることについて考えたことを表現することができる。【高1段階】 (学・人)物の性質や特徴について学んだことを日々の生活に生かそうとすることができる。【高1段階】	(知・技)物の性質によって水に溶ける物と溶けない物があることを理解している。 (思・判・表)物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって異なることについて考えたことを表現している。 (主学)物の性質や特徴について学んだことを日々の生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の様子、提出物、自己評価	3章 便利なくらし 1. 物質 (1)身の回りにある物質 ① (2)身の回りにある物質 ② ○物の溶け方【高1段階C-ア】	・プラスチックの特徴 ・金属の特徴 ・ガラスの特徴 ・セメントの特徴 ・その他の物質の特徴
留意点 引継ぎ等		※単元・題材名における○は、特別支援学校学習指導要領解説 知的障害教科等編との関連項目を表す。 ※通年を通して、校外での見学や体験学習を実施する。			

令和8年度 高等部美里分教室 3年(Ⅱ課程Aグループ) 理科 年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	3学年 16名	理科	くらしに役立つ 理科

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察・実験などに関する基本的な技能を身に付ける。【高2段階】 (思判表力) 観察・実験などを行い、解決の方法を考える力を養う。【高2段階】 (学・人) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。【高2段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	7	(知及技)電気の特徴について理解することができる。【高1段階】 (思判表力)電流の大きさや向き、乾電池につないだ物の様子との関係について考えたことを表現することができる。【高1段階】 (学・人)電気と自分の生活との関わりについて主体的に調べることができる。【高1段階】	(知・技)電気の特徴について理解している。 (思・判・表)電流の大きさや向き、乾電池につないだ物の様子との関係について考えたことを表現している。 (主学)電気と自分の生活との関わりについて主体的に調べている。 【評価資料】活動の様子、提出物、自己評価	3章 便利なくらし 2. エネルギー・機械 (1)日常生活に関係の深いエネルギー ○電流の働き【高1段階C-イ】 ○電気の利用【高2段階C-エ】	・電気を知ろう ・電流の大きさや向き
	7	(知及技)燃焼の仕組みについて理解することができる。【高2段階】 (思判表力)物が燃えたときの空気の変化について考えたことを表現することができる。【高1段階】 (学・人)燃焼と自分の生活との関わりについて主体的に調べることができる。【高1段階】	(知・技)燃焼の仕組みについて理解している。 (思・判・表)物が燃えたときの空気の変化について考えたことを表現している。 (主学)燃焼と自分の生活との関わりについて主体的に調べている。 【評価資料】活動の様子、提出物、自己評価	3章 便利なくらし 2. エネルギー・機械 (1)日常生活に関係の深いエネルギー ○燃焼の仕組み【高2段階C-ア】	・ガスを知ろう ・石油を知ろう ・物が燃えるときの空気の変化
2学期	7	(知及技)てこの規則性を利用した機械や器具があることを理解することができる。【高2段階】 (思判表力)機械や器具を使用する上で注意しなければいけないことについて考え、表現することができる。【高2段階】 (学・人)てこの規則性を利用した機械や器具と自分の生活との関わりについて主体的に調べることができる。【高2段階】	(知・技)燃焼の仕組みについて理解している。 (思・判・表)物が燃えたときの空気の変化について考えたことを表現している。 (主学)燃焼と自分の生活との関わりについて主体的に調べている。 【評価資料】活動の様子、提出物、自己評価	(2)日常生活に関係の深い機械・器具の使い方 ○てこの規則性【高2段階C-ウ】	・電気製品の使い方 ・ガス機器の使い方 ・エンジンのある機械 ・文房具の使い方 ・てこを用いた機械や器具
	7	(知及技)生活用薬品の正しい使い方について理解することができる。【高2段階】 (思判表力)せっけんの働きや漂白剤の効果の観察を通して、水溶液の性質と結びつけて表現することができる。【高2段階】 (学・人)生活用薬品と自分の生活との関わりについて主体的に調べることができる。【高2段階】	(知・技)生活用薬品の正しい使い方について理解している。 (思・判・表)せっけんの働きや漂白剤の効果の観察を通して、水溶液の性質と結びつけて表現している。 (主学)生活用薬品と自分の生活との関わりについて主体的に調べている。 【評価資料】活動の様子、提出物、自己評価	3. 薬品・医薬品 (1)身の回りの生活用薬品 ○水溶液の性質【高2段階C-イ】	・よごれを落とす生活用薬品 ・生活を快適にするための生活用薬品 ・水溶液の性質と生活用薬品との関わり

3 学期	7	(知及技)医薬品の正しい使い方について理解することができる。【高2段階】 (思判表力)症状に合わせて正しい医薬品を選択することができる。【高2段階】 (学・人)医薬品と自分の生活との関わりについて主体的に調べることができる。【高2段階】	(知・技)医薬品の正しい使い方について理解している。 (思・判・表)症状に合わせて正しい医薬品を選択している。 (主学)医薬品と自分の生活との関わりについて主体的に調べている。 【評価資料】活動の様子、提出物、自己評価	(2)身の回りの医薬品 ○人の体のつくりと働き 【高2段階A-ア】	・薬の分類 ・主作用と副作用 ・主な一般医薬品 ・その他の医薬品 ・薬の飲み方
留意点 引継ぎ等	单元・題材名における○は、特別支援学校学習指導要領解説 知的障害教科等編との関連項目を表す。 ・通年を通して、校外での見学や体験学習を実施する。				

令和8年度 高等部(美里高校分教室) 1年(Ⅱ課程A類型 グループ) 音楽科 年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1／3 5	美咲特別支援学校 美里高等学校分教室 1学年 生徒16名	音楽科	MOUSA 1

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。(高等部1段階) (思判表力)音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。(高等部1段階) (学・人)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。(高等部1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	A表現〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけるようにする。 (高等部1段階) (思判表力) 歌唱表現を創意工夫することができるようにする。(高等部1段階) 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけるようにする。 (高等部1段階) (思判表力) 器楽表現を創意工夫することができるようにする。(高等部1段階)	A表現〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけている。(高等部1段階) (思判表力) 歌唱表現を創意工夫できている。(高等部1段階) 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけている。(高等部1段階) (思判表力) 器楽表現を創意工夫できている。(高等部1段階) 〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけている。(高等部1段階) (思判表力) 創作表現を創意工夫できている。(高等部1段階) 〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身につけている。(高等部1段階) (思判表力) 身体表現を創意工夫できている。(高等部1段階)	〔歌唱〕 「姿勢や呼吸を意識して歌おう」 〔器楽〕 「リズムの変化を感じながら演奏しよう」 〔身体表現〕 「曲に合わせて体を動かそう」 〔鑑賞〕 「音楽の特徴から情景を創造しよう」	A表現〔歌唱〕 (知識) (イ)の曲想と音楽の構造や歌詞との内容の関わりを理解する。 (技能) (ウ)の範唱を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして歌う技能。 ④呼吸及び発音の仕方に気をつけて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身につける。 (思判表力) (ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 〔器楽〕 (知識) (イ)の曲想と音楽の構造との関わりを理解する。 (技能) (ウ)の範奏を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして演奏する技能 ④音色や響きに気をつけて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身につける。 (思判表力) (ア)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する
2 学期	28	〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけるようにする。 (高等部1段階) (思判表力) 創作表現を創意工夫することができるようにする。(高等部1段階) 〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身につけるようにする。 (高等部1段階) (思判表力) 身体表現を創意工夫することができるようにする。(高等部1段階)	〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけている。(高等部1段階) (思判表力) 歌唱表現を創意工夫できている。(高等部1段階) 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけている。(高等部1段階) (思判表力) 器楽表現を創意工夫できている。(高等部1段階) 〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけている。(高等部1段階) (思判表力) 創作表現を創意工夫できている。(高等部1段階) 〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身につけている。(高等部1段階) (思判表力) 身体表現を創意工夫できている。(高等部1段階)	〔歌唱〕 「音の強弱や歌詞の意味を感じて歌おう」 〔器楽〕 「基礎的な奏法を理解して演奏しよう」 〔創作〕 「簡単な旋律やリズムを作ろう」 〔鑑賞〕 「イメージと音楽との関わりを感じよう」	〔創作〕 (知識) (イ)のいろいろな音の響きやそれらの組み合わせの特徴を理解する。 (技能) (ウ)創意工夫を生かした表現で旋律で必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身につける。 (思判表力) (ア)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する。 〔身体表現〕 (知識) (イ)の曲想と音楽の構造との関わり (技能) (ウ)の曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身につける。 ④設定した条件に基づいて、様々な動きを組み合わせさせてまとまりのある表現をする技能 (思判表力) (ア)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫する
3 学期	18	B鑑賞 (知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解できている。(高等部1段階) (思判表力) 音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。(高等部1段階) A・表現、B鑑賞を通して (学・人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。 (高等部1段階)	B鑑賞 (知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解できている。(高等部1段階) (思判表力) 音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができる。(高等部1段階) A・表現、B鑑賞を通して (学・人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。(高等部1段階)	〔歌唱〕 「曲想を感じ、仲間とともに合唱しよう」 〔身体表現〕 「指揮に挑戦しよう」 〔鑑賞〕 「日本や諸外国の特徴を感じて、その魅力を味わおう」	B鑑賞 (知識) (イ)曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解する (思判表力) (ア)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし。曲全体を味わって聴く
留意点 引継ぎ等	単元・題材の評価規準【評価資料】 活動の様子、授業中の発言、ワークシートの記述、演奏への取り組み、自己評価等で評価する				

令和8年度 高等部(美里高校分教室) 2年(Ⅱ課程A類型 グループ) 音楽科 年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	美咲特別支援学校 美里高等学校分教室 2学年 生徒16名	音楽科	MOUSA 1

目標：(知及技)知識及び技能	(思判表力)思考力、判断力、表現力等	(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能	(思・判・表)思考・判断・表現	(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。（高等部2段階）			
		(思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。（高等部2段階）			
		(学・人)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高等部2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	A表現〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付けるようにする。（高等部2段階） (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって表現することができるようにする。（高等部2段階） 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身に付けるようにする。（高等部2段階） (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって表現することができるようにする。（高等部2段階）	A表現〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付けるようにしている。（高等部2段階）歌唱（イ）㉔、（ウ）㉔） 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けようとしている。（高等部2段階）器楽（イ）㉔、（ウ）㉔ (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって表現しようとしている。（高等部2段階）器楽（ア） 〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身に付けようとしている。（高等部2段階）創作（イ）㉔、（ウ）㉔ (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって表現しようとしている。（高等部2段階）創作（ア） 〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身に付けようとしている。（高等部2段階）身体表現(イ)㉔、㉔ (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって表現しようとしている。（高等部2段階）身体表現（ア） B鑑賞 (知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解しようとしている。（高等部2段階）鑑賞（イ）㉔ (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いている。（高等部2段階）鑑賞（ア） A・表現、B鑑賞を通して (学・人)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく（高等部2段階）	〔歌唱〕 「曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう」 〔器楽〕 「ギターの基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう」 〔身体表現〕 「曲想に合わせて体を動かそう」 〔創作〕 「イメージを表現した音楽を作ろう」 〔鑑賞〕 「音楽の特徴や変化から情景を想像しよう」 〔歌唱〕 「諸外国の声楽曲を通して、声の響きや言葉の特性を感じて歌おう」 〔器楽〕 「音色や響きを感じて器楽アンサンブルを楽しもう」 〔創作〕 「フレーズや和音を意識して楽曲を作ろう」 〔鑑賞〕 「作曲家の生涯と作品をたどろう」 〔歌唱〕 「各声部の動きや全体の響きを感じながら合唱しよう」 〔器楽〕 「互いの音を聴き合いながら合奏しよう」 〔身体表現〕 「互いの動きを感じながら体を動かそう」 〔鑑賞〕 「様々な音楽の歴史や背景を理解して聴こう」	A表現〔歌唱〕 (知識) (イ)㉔曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解する。 ㉔声の音色や響き及び言葉の特性と発声との関わりを理解する。 (技能) (ウ)㉔創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 ㉔創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら、他者と合わせて歌う技能を身に付ける。 (思判表力) (ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 〔器楽〕 (知識) (イ)㉔曲想と音楽の構造との関わりを理解する。 ㉔多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりを理解する。 (技能) (ウ)㉔創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付ける。 ㉔創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら、他者と合わせて演奏する技能を身に付ける。 (思判表力) (ア)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する。 〔創作〕 (知識) (イ)㉔音のつながり方の特徴を理解する。 ㉔音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴を理解する。 (技能) (ウ)㉔創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けること。 (思判表力) (ア)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する。 〔身体表現〕 (知識) (イ)㉔曲想と音楽の構造との関わりを理解する。 ㉔曲想や音楽の構造と体の動きとの関わりを理解する。 (技能) (ウ)㉔曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身に付ける。 ㉔設定した条件に基づいて、様々な動きを組み合わせたたり、即興的に動いたりしてまとまりのある表現をする技能を身に付ける。 ㉔友達と動きを組み合わせたたり、即興的に表現したりする技能を身に付ける。 (思判表力) (ア)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫する。 B鑑賞 (知識) (イ)㉔曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりを理解する。 ㉔音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わりを理解する。 (思判表力) (ア)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし。曲全体を味わって聴く。
		2学期	28	〔創作〕(知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身に付けるようにする。（高等部2段階） (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって表現することができるようにする。（高等部2段階） 〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身に付けるようにする。（高等部2段階） (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって表現することができるようにする。（高等部2段階） B鑑賞 (知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解する。（高等部2段階） (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする（高等部2段階） A・表現、B鑑賞を通して (学・人)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高等部2段階）	〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けようとしている。（高等部2段階）歌唱（イ）㉔、（ウ）㉔） 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けようとしている。（高等部2段階）器楽（イ）㉔、（ウ）㉔ (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって表現しようとしている。（高等部2段階）器楽（ア） 〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けようとしている。（高等部2段階）創作（イ）㉔、（ウ）㉔ (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって表現しようとしている。（高等部2段階）創作（ア） 〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身に付けようとしている。（高等部2段階）身体表現(イ)㉔、㉔ (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって表現しようとしている。（高等部2段階）身体表現（ア） B鑑賞 (知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解しようとしている。（高等部2段階）鑑賞（イ）㉔ (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いている。（高等部2段階）鑑賞（ア） A・表現、B鑑賞を通して (学・人)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく（高等部2段階）
留意点 引継ぎ等		単元・題材の評価規準【評価資料】 活動の様子、授業中の発言、ワークシートの記述、演奏への取り組み、自己評価等で評価する			

令和8年度 高等部(美里高校分教室) 3年(Ⅱ課程A類型 グループ) 音楽科 年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	美咲特別支援学校 美里高等学校分教室 3学年 生徒16名	音楽科	MOUSA 1

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。(高等部2段階) (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。(高等部2段階) (学・人)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。(高等部2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	A表現〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付けるようにする。(高等部2段階) (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって表現することができるようにする。(高等部2段階) 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身に付けるようにする。(高等部2段階)	A表現〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付けるようにしている。(高等部2段階) 歌唱(イ)㉔、(ウ)㉔) (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって表現しようとしている。(高等部2段階) 歌唱(ア) 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けようとしている。(高等部2段階) 器楽(イ)㉔、(ウ)㉔) (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって表現しようとしている。(高等部2段階) 器楽(ア)	〔歌唱〕 「曲の構成や歌詞の意味を理解して歌おう」 〔器楽〕 「多様な楽器の音色を感じて合奏しよう」 〔創作〕 「イメージを表現した音楽を作ろう」 〔身体表現〕 「曲想に合わせて体を動かそう」 〔鑑賞〕 「パレエを味わいながら鑑賞しよう」	A表現〔歌唱〕 (知識) (イ)㉔曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解する。 ㉔声の音色や響き及び言葉の特性と発声との関わりを理解する。 (技能) (ウ)㉔創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につける。 ㉔創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら、他者と合わせて歌う技能を身につける。 (思判表力) (ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 〔器楽〕 (知識) (イ)㉔曲想と音楽の構造との関わりを理解する。 ㉔多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりを理解する。 (技能) (ウ)㉔創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身につける。 ㉔創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら、他者と合わせて演奏する技能を身につける。 (思判表力) (ア)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する。
		(思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって表現することができるようにする。(高等部2段階) 〔創作〕(知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身に付けるようにする。(高等部2段階) (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって表現することができるようにする。(高等部2段階) 〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身に付けるようにする。(高等部2段階) (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって表現することができるようにする。(高等部2段階)	〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身に付けようとしている。(高等部2段階) 創作(イ)㉔、(ウ)㉔) (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって表現しようとしている。(高等部2段階) 創作(ア) 〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身に付けようとしている。(高等部2段階) 身体表現(イ)㉔、㉔) (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって表現しようとしている。(高等部2段階) 身体表現(ア) B鑑賞 (知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解しようとしている。(高等部2段階) 鑑賞(イ)㉔) (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いている。(高等部2段階) 鑑賞(ア) A・表現、B鑑賞を通して (学・人)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものになっている(高等部2段階)	〔歌唱〕 「諸外国の声楽曲を通して、声の響きや言葉の特性を感じて歌おう」 〔器楽〕 「曲想や音楽の構成を生かして合奏しよう」 「キーボードの基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう」 〔創作〕 「フレーズや和音を意識して楽曲を作ろう」 〔鑑賞〕 「イメージと音楽との関りを感じよう」	〔創作〕 (知識) (イ)㉔音のつながり方の特徴を理解する。 ㉔音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴を理解する。 (技能) (ウ)創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けること。 (思判表力) (ア)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する。 〔身体表現〕 (知識) (イ)㉔曲想と音楽の構造との関わりを理解する。 ㉔曲想や音楽の構造と体の動きとの関わりを理解する。 (技能) (ウ)㉔曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身につける。 ㉔設定した条件に基づいて、様々な動きを組み合わせたり、即興的に動いたりしてまとまりのある表現をする技能を身につける。 ㉔友達と動きを組み合わせたり、即興的に表現したりする技能を身につける。 (思判表力) (ア)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫する。 B鑑賞 (知識) (イ)㉔曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりを理解する。㉔音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わりを理解する。 (思判表力) (ア)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし。曲全体を味わって聴く。
3学期	18	B鑑賞 (知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解する。(高等部2段階) (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする(高等部2段階) A・表現、B鑑賞を通して (学・人)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。(高等部2段階)	(思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いている。(高等部2段階) 鑑賞(ア) A・表現、B鑑賞を通して (学・人)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものになっている(高等部2段階)	〔歌唱〕 「各声部の動きや全体の響きを感じながら合唱しよう」 〔器楽〕 「互いの音を聴き合いながら合奏しよう」 〔身体表現〕 「動きを組み合わせたり友だちの動きに合わせてうごいたりして表現しよう」 〔鑑賞〕 「様々な音楽の歴史や背景を理解して聴こう」	
留意点 引継ぎ等		単元・題材の評価規準【評価資料】 活動の様子、授業中の発言、ワークシートの記述、演奏への取り組み、自己評価等で評価する			

令和 8 年度 高等部(美里高校分教室) 1 年 (II 課程A類型) 美術科 年間指導計画

単位数／ 配当時数		生徒		担当者	教科書／副教材
2／70		1 年 6 組 8 名 1 年 7 組 8 名		美術科	高校生の美術 1 （日本文教出版）
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。（高等部 1 段階） (思判表力)造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。（高等部 1 段階） (学・人)楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。（高等部 1 段階）			
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	4	(知及技) 形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、線の強弱や画材の特性を生かして表す。（高 1 段階：A 表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)身近なものの特徴や美しさを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を工夫したり鑑賞したりする。（高 1 段階：A 表現ア(ア)、B 鑑賞ア(ア)(イ)） (学・人)身近なものの特徴や美しさなどを捉え表す学習活動に主体的に取り組む。（高 1 段階：B 鑑賞ア(ア)(イ)）	(知・技) 形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、線の強弱や画材の特性を生かして表している。 (思・判・表)身近なものの特徴や美しさを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想をしたり鑑賞している。 (主学)身近なものの特徴や美しさなどを捉え表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○身近なものを描く	身近なものの特徴や美しさなどを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想をしたり、鑑賞したりするとともに、身近なものの特徴や美しさなどの全体のイメージを捉え、線の強弱や選んだ画材などの特性を生かして表す。
	10	(知及技) 色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わす。（高 1 段階：A 表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)基本的な色の仕組や性質を学び効果を考え構想を工夫したり鑑賞したりする。（高 1 段階：A 表現ア(ア)、B 鑑賞ア(ア)） (学・人)色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組む。（高 1 段階：共通事項(ア)(イ)）	(知・技) 色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わしている。 (思・判・表)基本的な色の仕組や性質を学び効果を考え構想をしたり鑑賞している。 (主学)色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○色彩の基礎	デザインを構想・表現するために、色彩、造形の秩序、構成の要素、構図、文字の基本などについて学び、理解を広げる。
	10	(知及技) 形や色、質感、重心やバランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表す。（高 1 段階：A 表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を工夫したり鑑賞したりする。（高 1 段階：A 表現ア(ア)、B 鑑賞ア(ア)） (学・人)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組む。（高 1 段階：A 表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	(知・技) 形や色、質感、重心やバランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表している。 (思・判・表)素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想をしたり鑑賞したりしている。 (主学)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○身近な素材と立体表現	身近な素材の特性を理解し、表したいイメージを基に校内や自然の中から素材を集め、形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、バランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材と向き合い、素材の可塑性や弾力性、軽さや重さ、質感や触感、加工や接着の方法などを理解し、素材の特性を生かして表し方を工夫する。 また身近な生活の中での立体表現を鑑賞する。
2 学 期	16	(知及技) 全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表す。（高 1 段階：A 表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想を工夫したり考えたりする。（高 1 段階：A 表現ア(ア)、B 鑑賞ア(ア)） (学・人)版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組む。（高 1 段階：A 表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	(知・技) 全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表している。 (思・判・表)版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想をしたり考えている。 (主学)版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○版で表す	版画の表現のよさや特性を理解し、版による表現の効果を考え、構想したり鑑賞したりするとともに、全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫や製版、刷りを工夫して表す。
	12	(知及技) 思いや感じ取ったことを基にして、映像メディア機器の機能や効果を生かして表す。（高 1 段階：A 表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)画面の構成と時間の流れや物語性、言葉や表現効果や伝達効果を工夫する。（高 1 段階：A 表現ア(ア)、B 鑑賞ア(ア)） (学・人)映像メディア機器等の特性を生かした表現方法等を創意工夫して表す学習活動に、主体的に取り組む。（高 1 段階：A 表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	(知・技) 思いや感じ取ったことを基にして、映像メディア機器の機能や効果を生かして表している。 (思・判・表)画面の構成と時間の流れや物語性、言葉や表現効果や伝達効果を工夫している。 (主学)映像メディア機器等の特性を生かした表現方法等を創意工夫して表す学習活動に、主体的に取り組むんでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○アニメーションの手法	テーマを基に、絵コンテを描くなどを検討し、表現効果や伝達効果を工夫して、映像メディア機器の機能や効果を生かし、画面の構成と時間の流れや物語性、言葉や音などの効果を考え、映像メディア機器等の特性を生かした表現方法などを創意工夫してアニメーションを制作する。
3 学 期	8	(知及技) 作品の大きさから感じる迫力や繊細さ、筆致の違いなどの効果、全体のイメージなどを捉える。（高 1 段階：A 表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)迫力や繊細さなど、作品の大きさがもたらす効果などについて考える。（高 1 段階：A 表現ア(ア)、B 鑑賞ア(ア)） (学・人)実物の大きさならではの迫力や繊細さなどをイメージして鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。（高 1 段階：A 表現ア(ア)、B 鑑賞ア(ア)(イ)）	(知・技) 作品の大きさから感じる迫力や繊細さ、筆致の違いなどの効果、全体のイメージなどを捉えている。 (思・判・表)迫力や繊細さなど、作品の大きさがもたらす効果などについて考えている。 (主学)実物の大きさならではの迫力や先生さなどをイメージして鑑賞する学習活動に、主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○大きさを意識して	作品の大きさによる表現効果や、良さや美しさを知り、表現の工夫などについて見方や感じ方を深める。 卒業式壁画制作に協力して取り組む。
	10	(知及技) 構図や表情、色彩の効果、全体のイメージや作風様式などを捉える。（高 1 段階：A 表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)作品のよさや美しさ、表現の特質、身近な美術文化の継承と創造について考える。（高 1 段階：A 表現ア(ア)、B 鑑賞ア(ア)(イ)） (学・人)作品の良さや美しさなどを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。（高 1 段階：B 鑑賞ア(ア)(イ)）	(知・技) 構図や表情、色彩の効果、全体のイメージや作風様式などを捉えている。 (思・判・表)作品のよさや美しさ、表現の特質、身近な美術文化の継承と想像について考えている。 (主学)作品の良さや美しさなどを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○鑑賞（日本の美術）	複数の視点から見た画面を組み合わせた作品の表現の意図や工夫について考え、鑑賞するとともに、作者の視点に着目し、作品の表現の意図や工夫、全体のイメージや作風、様式などを捉える。
留意点 引継ぎ等		【通年】 ・校外学習(学・人)作品の良さや美しさなどを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。（高 1 段階：B 鑑賞ア(ア)(イ)）			

令和 8年度 高等部(美里高校分教室) 2年(II課程A類型) 美術科 年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	2年6組 8名 2年7組 8名	美術科	高校生の美術1（日本文教出版）

目標：(知及技)知識及び技能（思判表力)思考力、判断力、表現力等（学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能（思・判・表)思考・判断・表現（主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。 (高等部1段階) (思判表力)造形的なよさや美しさ、表現の意図と造形的な工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。（高等部2段階） (学・人)楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。（高等部1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技)構図や表情、色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、画材の特性を生かして表す。（高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力)人物の印象などを基に、構図や表情などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。（高2段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人)自己や他者の内面を人物画に表す学習活動に、主体的に取り組む。（高1段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(イ))	(知・技)構図や表情、色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、画材の特性を生かして表している。 (思・判・表)人物の印象などを基に、構図や表情などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 (主学)自己や他者の内面を人物画に表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○人物を描く	自己の内面を見つめ、今の気持ちや性格など自分らしい印象などを基に、構図や表情などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、構図や表情、色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、選んだ画材などの特性を生かして表す。
	10	(知及技)色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わす。（高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力)基本的な色の仕組や性質を学び効果を考え構想を練ったり鑑賞したりする。（高2段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人)色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組む。（高1段階：共通事項(ア)(イ))	(知・技)色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わしている。 (思・判・表)基本的な色の仕組や性質を学び効果を考え構想を練ったり鑑賞している。 (主学)色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○色彩	デザインを構想・表現するために、色彩、造形の秩序、構成の要素、構図、文字の基本などについて学び、理解を深める。
	10	(知及技)形や色、質感、重心やバランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表す。（高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力)素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。（高2段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組む。（高1段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ))	(知・技)形や色、質感、重心やバランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表している。 (思・判・表)素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりしている。 (主学)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○身近な素材と立体表現	素材の特性を理解し、表したいイメージを基に、形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、バランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材と向き合い、素材の可塑性や弾力性、軽さや重さ、質感や触感、加工や接着の方法などを理解し、素材の特性を生かして表し方を工夫する。
2学期	16	(知及技)全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表す。（高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力)版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想を練ったり考えたりする。（高2段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人)版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組む。（高1段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ))	(知・技)全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表している。 (思・判・表)版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想を練ったり考えている。 (主学)版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○版で表す	版画の表現のよさや特性を理解し、版による表現の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫や製版、刷りを工夫して表す。

予期	12	(知及技) 写す角度や配置、拡大や縮小、光や影、時間の静止などの効果、全体のイメージなどを捉え、カメラの特性を生かして表す。(高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力) 被写体の印象や瞬間の美しさなどを基に、構図やシャッター速度などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。(高2段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人) 写真表現の特性を生かして表す学習活動に、主体的に取り組む。(高1段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ))	(知・技) 写す角度や配置、拡大や縮小、光や影、時間の静止などの効果、全体のイメージなどを捉え、カメラの特性を生かして表している。 (思・判・表) 被写体の印象や瞬間の美しさなどを基に、構図やシャッター速度などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりしている。 (主学) 写真表現の特性を生かして表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○写真で表す	被写体の印象や瞬間の美しさなどを基に、構図やシャッター速度などの効果を考え、構想を練ったり、鑑賞したりするとともに、写す角度や配置、拡大や縮小、光や影、時間の静止などの効果、全体のイメージなどを捉え、カメラの特性を生かして、学校生活や校外の心に残る情景を思いが伝わるように写真で表す。
3学期	8	(知及技) 作品の大きさから感じる迫力や繊細さ、筆致の違いなどの効果、全体のイメージなどを捉える。(高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力) 迫力や繊細さなど、作品の大きさがもたらす効果などについて考える。(高2段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人) 実物の大きさならではの迫力や繊細さなどをイメージして鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。(高1段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)(イ))	(知・技) 作品の大きさから感じる迫力や繊細さ、筆致の違いなどの効果、全体のイメージなどを捉えている。 (思・判・表) 迫力や繊細さなど、作品の大きさがもたらす効果などについて考えている。 (主学) 実物の大きさならではの迫力や先生などをイメージして鑑賞する学習活動に、主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○大きさを意識して	作品の大きさによる表現効果や、良さや美しさを知り、表現の工夫などについて見方や感じ方を深める。 卒業式壁画制作に協力して取り組む。
	10	(知及技) 構図や表情、色彩の効果、全体のイメージや作風様式などを捉える。(高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力) 作品のよさや美しさ、表現の特質、美術文化の継承と想像について考える。(高2段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)(イ)) (学・人) 作品の良さや美しさなどを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。(高1段階：B鑑賞ア(ア)(イ))	(知・技) 構図や表情、色彩の効果、全体のイメージや作風様式などを捉えている。 (思・判・表) 作品のよさや美しさ、表現の特質、さまざまな美術文化の継承と想像について考えている。 (主学) 作品の良さや美しさなどを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○鑑賞 (世界の美術)	複数の視点から見た画面を組み合わせた作品の表現の意図や工夫について考え、鑑賞するとともに、作者の視点に着目し、作品の表現の意図や工夫、全体のイメージや作風、様式などを捉える。
留意点 引継ぎ等	【通年】 ・校外学習(学・人) 作品の良さや美しさなどを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。(高1段階：B鑑賞ア(ア)(イ))				

令和 8年度 高等部(美里高校分教室) 3年(Ⅱ課程A類型) 美術科 年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	3年6組 8名 3年7組 8名	美術科	高校生の美術1（日本文教出版）

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。 (高等部1段階) (思判表力)造形的なよさや美しさ、表現の意図と造形的な工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。（高等部2段階） (学・人) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。（高等部2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技) 風景の中の空間、形や色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、画材の特性を生かして表す。（高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)身近な場所や風景のイメージなどを基に、形や色彩、構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。（高2段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学・人)風景から感じ取ったよさや美しさなどを捉えて表す学習活動に、主体的に取り組む。（高2段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(イ)）	(知・技) 風景の中の空間、形や色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、画材の特性を生かして表す。 (思・判・表)身近な場所や風景のイメージなどを基に、形や色彩、構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりしている。 (主学)風景から感じ取ったよさや美しさなどを捉えて表す学習活動に、主体的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○私のみつけた風景	身近な場所や風景のイメージなどを基に、形や色彩、構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、風景の中の空間、形や色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、風景から感じ取ったよさや美しさなどを選んだ画材の特性を生かして表す。
	10	(知及技) 色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わす。（高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)基本的な色の仕組や性質を学び効果を考え構想を練ったり鑑賞したりする。（高2段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学・人)色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組む。（高2段階：共通事項(ア)(イ)）	(知・技) 色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わしている。 (思・判・表)基本的な色の仕組や性質を学び効果を考え構想を練ったり鑑賞している。 (主学)色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○色彩	デザインを構想・表現するために、色彩、造形の秩序、構成の要素、構図、文字の基本などについて学び、理解を深める。
	10	(知及技) 形や色、質感、重心やバランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表す。（高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。（高2段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学・人)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組む。（高2段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	(知・技) 形や色、質感、重心やバランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表している。 (思・判・表)素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりしている。 (主学)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○身近な素材と立体表現	素材の特性を理解し、表したいイメージを基に、形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、バランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材と向き合い、素材の可塑性や弾力性、軽さや重さ、質感や触感、加工や接着の方法などを理解し、素材の特性を生かして表し方を工夫する。
2学期	16	(知及技) 全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表す。（高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想を練ったり考えたりする。（高2段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学・人)版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組む。（高2段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	(知・技) 全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表している。 (思・判・表)版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想を練ったり考えている。 (主学)版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○版で表す	版画の表現のよさや特性を理解し、版による表現の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫や製版、刷りを工夫して表す。

期	12	(知及技)画面の構成や時間の効果などに着目して、映像メディア機器の特性を生かして表す。 (高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力)目的や条件を基に、画面の構成と時間の流れや物語性、言葉や音などの映像表現の構想を練ったり鑑賞したりする。(高2段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人)映像表現の特性を生かして表す学習活動に、主体的に取り組む。(高2段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ))	(知・技)画面の構成や時間の効果などに着目して、映像メディア機器の特性を生かして表している。 (思・判・表)目的や条件を基に、画面の構成と時間の流れや物語性、言葉や音などの映像表現の構想を練ったり鑑賞したりしている。 (主学)映像表現の特性を生かして表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○映像で伝えるメッセージ	目的や条件を基に、画面の構成と時間の流れや物語性、言葉や音などの映像表現の伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、画面の構成や時間の効果などに着目して、映像メディア機器の特性を生かして表す。
3 学 期	8	(知及技)作品の大きさから感じる迫力や繊細さ、筆致の違いなどの効果、全体のイメージなどを捉える。(高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力)迫力や繊細さなど、作品の大きさがもたらす効果などについて考える。(高2段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人)実物の大きさならではの迫力や繊細さなどをイメージして鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。(高2段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)(イ))	(知・技)作品の大きさから感じる迫力や繊細さ、筆致の違いなどの効果、全体のイメージなどを捉えている。 (思・判・表)迫力や繊細さなど、作品の大きさがもたらす効果などについて考えている。 (主学)実物の大きさならではの迫力や先生さなどをイメージして鑑賞する学習活動に、主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○大きさを意識して	作品の大きさによる表現効果や、良さや美しさを知り、表現の工夫などについて見方や感じ方を深める。 卒業式壁画制作に協力して取り組む。
	10	(知及技)美術の学習を通して造形的な見方・考え方を深める。(高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力)使う人の立場や用いる場面、作者の意図と創造的な工夫、生活や社会を豊かにする美術の働きについて考える。(高2段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人)社会における美術の働きなどについて理解を深める学習活動に主体的に取り組む。(高2段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)(イ))	(知・技)美術の学習を通して造形的な見方・考え方を深めている。 (思・判・表)使う人の立場や用いる場面、作者の意図と創造的な工夫、生活や社会を豊かにする美術の働きについて考えている。 (主学)社会における美術の働きなどについて理解を深める学習活動に主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○これからの私と美術	私たちの生活の中での美術の関わりに目を向け、これからの生活の中で、美術を通して学んだことをどのように生かすことができるのか考えるとともに、「これからの美術と私」について1年間の学びとともに振り返る。
留意点 引継ぎ等		【通年】 ・校外学習(学・人)社会における美術の働きなどについて理解を深める学習活動に主体的に取り組む。(高2段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)(イ))			

令和8年度 高等部(美里高校分教室) 1年(II課程・A類型) 保健体育科 年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
3／105	1学年 16名	体育科	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活に必要な健康・安全に関する事柄などを理解するとともに、技能を身に付ける。(高1段階) (思判表力)各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを、他者に伝える力を養う。(高1段階) (学・人) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲と、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	9	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をすることができる。(高1段階) (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階) (学・人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすること。(高1段階)	(知・技) 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしている。 (思・判・表)自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えてい、。 (主学)多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。	「体づくり運動」 ○集団行動 ○体づくり運動 ○新体力テスト	手軽な運動やリズムカルな運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことによって、心と体の関係や心身の状態に気づくことができる。 ○オリエンテーション ○集団行動・ラジオ体操 集合、整列（号令、姿勢、気をつけ、前へならえ、回れ右等）の経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力して場や用具の準備片付け・清掃等施設の利用方法を学ぶ。 ・ラジオ体操を通して体の動かし方を理解する。 ○体づくり運動・体幹トレーニング ・いろいろな条件で、歩いたり走ったり跳びはねたりする運動を行う。 ○体幹トレーニングで安定した体の動き方を理解する。 ○新・体力テスト（室内） ※4/18予定 体力テスト美里高と一緒に実施(5種目)以外の種目を授業で実施。
	10	(知及技) 球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。(高1段階) (思判表力) 球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階) (学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階)	(知・技) 楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行っている。 (思・判・表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	「球技」 ○バレーボール	オリエンテーション ・学習の進め方・見通し ルールの説明 ○ バス練習 ・オーバーハンドパス ・アンダーハンドパス ・円陣パス ○サーブ練習 ・アンダーハンドサーブ・サイドハンドサーブ・オーバーハンドサーブ ○スパイク練習 ・空中動作でのボールキャッチ・トスからのボールキャッチ ・トスからのスパイク練習 ○簡易ゲーム ・キャッチなし ・バウンドあり ※4/25予定 新入生歓迎球技大会に向けて全学年取り組む
	14	(知及技) 水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。(高1段階) (思判表力) 水泳についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階) (学・人) 水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階)	(知・技) 水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けている。 (思・判・表)自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えるている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。 ※ 泳力調査	○水泳 ・クロール ・平泳ぎ	水泳の特性に応じた技能を理解し泳法を身につける。 ○事前学習施設利用とプール利用の心得 プールや用具に関する取り扱い方、練習場所に関する安全や体調に留意して運動する方法を学ぶ ○泳力調査 ○水慣れ、水中ウォーミングアップ 「深く動作」…伏し浮き、背浮き、け伸び 「泳ぐ動作」…バタ足、連続したポビング ○泳法（泳力に分け実施） 「補助具を活用した泳法」…ビート板キック 「呼吸を伴わない泳法」…面かぶりクロール・面かぶり平泳ぎ 「呼吸法（息継ぎ）」…クロール・平泳ぎ ○泳力テスト ○水球 「足つき水球」…ルールを理解し試合を行う
	4	(知及技) 心身の発育・発達と傷害の防止について知ることができる。(高1段階) (思判表力) 心身の発育・発達とに関わる情報から自他の課題を発見し、けがや疾病の予防方法を知ることができる。(高1段階) (学・人) 生活の質を高め、心身の発育・発達について課題の解決に向けて自主的に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) 心身の発育・発達に伴う傷害の防止方法をいくつか挙げている。 (思・判・表) 心身の発育・発達、けがや疾病に関わる情報から自他の課題を発見し、習得した知識を活用してけがや疾病を予防するための適切な行動をとっている。 (主学) けがや疾病の予防について課題の解決に向けて自主的に取り組んでいる。	「保健」 ○心身の発育・発達 ○傷害の防止と疾病の予防	第1時 心身の発育・発達について 生殖にかかわる機能の成熟、受精や妊娠、異性の尊重について知る。 第2時 熱中症とその予防 自己の体調や周囲の環境の変化について知り熱中症を予防することができる。運動中の服装や適切な水分補給について知る。熱中症になったときの対応方法。 第3時 傷害の防止 安全に注意して運動を行うことについて 第4時 応急手当の対処法 すり傷、鼻出血、やけどや打撲など簡単にできる応急手当の方法を行うことができる。
	12	(知及技) 武道の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開することができる。(高1段階) (思判表力) 武道についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階) (学・人) 武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階)	(知・技) 楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開している。 (思・判・表)自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学)多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動している。 ※ 実技テスト	「武道」 ○空手	○礼法、中段突き、上段突き、中段蹴り、中段受け、上段受け、下段受けの基本動作の習得。 ○普及型Ⅰ・Ⅱの習得

2 学 期		(知及技) ダンスの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、技能を身に付け、表現や踊りを通じた交流をすることができる。(高1段階) (思判表力) ダンスについての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階) (学・人) ダンスの多様な経験を通して、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階)	(知・技) 楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、技能を身に付け、表現や踊りを通じた交流をしている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) 多様な経験を通して、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。 ※ 創作ダンス発表会	「ダンス」 ○現代的なリズムのダンス	○ボックスステップ等のダンスの基本的な動作を覚え、興味関心のある曲や動画から簡易なダンスを模倣または作成して楽しんで踊る。
	14	(知及技) 陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能の理解し、目的に応じた技能を身につけることができる。(高1段階) (思判表力) 陸上競技についての自他の課題を発見し、解決のために仲間と思考し判断したことを、他者に伝えることができる。(高1段階) (学・人) 陸上競技の経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階)	(知・技) 楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身につけている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。	「陸上競技」 ○短距離走 ・リレー	競走したり記録に挑戦したりすることを通して、走る楽しさを味わい一定の距離を全力で走る事ができる。 ○ストレッチ体操 体幹トレーニング 動きを良くするための準備体操、疲労を残さない怪我を防止するための整理体操を身に付ける。 ○ベースポジションの基本姿勢の習得（走るフォームの意識） ・アンクルホップ、ベースポジションの姿勢の維持・左右の腿上げ、Y字走法、腕振り、リズムの良いフォームで走ることを意識する。 ・ストライド走（歩幅を広くして走る。）、スタートダッシュ ○リレー・バトンパスの練習 バトンの受け渡しができる。（トラック1周リレー） テークオーバーゾーンを有効に使ったバトンの受け渡し。 ○持久走 ・周回タイム測定・タイム掲示、美里高校体育科と連携し全体順位の掲示 ○11月21日・特体連体育大会
	14	(知及技) 球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。(高1段階) (思判表力) 球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階) (学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階)	(知・技) 楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行っている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	「球技」 ○バスケットボール	○ドリブル、パス、シュートの基本動作 ・ドリブル（ドリブルダッシュ、サークルドリブル、ドリブル鬼ごっこ） ・パス（対面パス、ドリブルしながらのパス練習） ・ランニングシュート、リング下のシュート練習 ○簡易ゲーム
	4	(知及技) 健康な生活と感染症予防について知ることができる。(高1段階) (思判表力) 感染症予防に関わる情報から自他の課題を発見し、感染症などのリスクかを軽減する方法を知る。(高1段階) (学・人) 生活の質を高め、感染症予防について課題の解決に向けて自主的に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) 感染症を予防するための方法をいくつか挙げる事ができている。 (思・判・表) 感染症予防に関わる情報から自他の課題を発見し、習得した知識を活用して感染症を予防するための適切な行動をとることができる。 (主学) 感染症予防について課題の解決に向けて自主的に取り組むことができる。	「保健」 ・感染症・エイズ	第1時 感染症について 感染症とは、「人から人うつる病気のこと」だと理解することができる。 第2時 菌・ウイルスについて 感染源となる菌やウイルスについて学び、発生源について理解する。 第3時 感染症の種類 感染症の病気の種類や症状などについて知る。 第4時 感染症予防 毎日を健康に過ごすには、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、体の清潔を保つことなどが必要であることを学ぶ。 「風邪予防（手洗い、うがいの徹底）」…感染症対策について学ぶ。
3 学 期	12	(知及技) 陸上競技の上達や記録向上の行い方を知り基本的な技能を身に付けることができる。(高1段階 陸上競技(ア)) (思判表力) 陸上競技の技術について自己の課題を発見し解決のための方策を工夫することができる。(高1段階 陸上競技(イ)) (学・人) 陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりして最後まで楽しく運動をすることができる。(高1段階：陸上競技(ウ))	(知・技) 陸上の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けている。 (思・判・表) 自己の課題に応じた運動の行い方の改善ポイントを理解し修正するための行動を選択している。 (主学) 陸上競技場での安全に関する事故防止の心得や健康・安全について留意している。 記録の向上を目指し陸上競技の学習に自主的に取り組んでいる。	「陸上競技」 ○長距離走	○時間走、ペース走 基本的なフォームと自己に適したペース設定を身に付ける。 ○インターバルトレーニング ペースの変化に対応するなどして走り、長距離走特有の呼吸法や腕振り、足の動きを身に付ける。 ○競技会への参加 記録会に参加し自己のペースを守りながら自己記録を目指す。駅伝大会を実施しチームで記録を更新するなどの楽しさを味わう。 ※2月6日（特体連駅伝大会）
	10	(知及技) 球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。(高1段階) (思判表力) 球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階) (学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階)	(知・技) 楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行っている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	「球技」 ○バドミントン ○サッカー	○バドミントン ・フォアハンド、バックハンドのラケットの基本操作 ・ハイクリア、ドロップ、ヘアピン、スマッシュの基本技能の練習。 ・簡易ゲーム実践（拾う、つなぐ、打つの一連の流れで攻撃を組み立てる） ○サッカー ・ドリブル、パス、シュートの基本動作 ・簡易ゲーム実践
	4	(知及技) 応急手当の意義や手順方法を知ることができる。(高1段階) (思判表力) AEDの正しい使い方心肺蘇生法の正しい手順を身に付け、仲間と一緒に課題を解決することができる。(高1段階) (学・人) 仲間と協力し合って積極的に救命活動に参加できる態度を養う。 (高1段階：体育理論(ウ))	(知・技) 応急手当の意義や手順方法を守りながら行動することができる。 (思・判・表) AEDの正しい使い方心肺蘇生法の正しい手順で、仲間と一緒に人命救助することができる。 (主学) 仲間と協力し合って積極的に救命活動に参加することができる。	「保健」 応急手当（心肺蘇生法）	第1時 オリエンテーション 心肺蘇生法やAEDを活用する場面について 第2時～第4時 人命救助の手順 「人命救助の手順」 「心肺蘇生法の手順」 「AEDの活用方法について」
留意点 引継ぎ等		・各单元については、生徒の実態や計画の進捗状況、また気候条件や施設利用状況により弾力的に実施する。 ・体育理論は、各单元とのつながりを考慮して、年間を通して実施する。 ・校外学習（生涯スポーツ）			

令和8年度 高等部(美里高校分教室) 2年(Ⅱ課程・A類型)保健体育科 年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
3／105	2学年 16名	体育科	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 各種の運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活及び社会生活に必要な健康・安全に関する事柄などの理解を深めるとともに、目的や状況に応じた技能を身に付けるようにする。(高2段階) (思判表力)各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。(高2段階) (学・人)生涯にわたって継続して運動に親しむことや、健康の保持増進と体力の向上を目指し、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。(高2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	9	(知及技) 体ほぐし運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせることができる。(高2段階) (思判表力)体ほぐし運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階) (学・人)体ほぐし運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階)	(知・技) 体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせている。 (思・判・表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。	「体づくり運動」 ○集団行動 ○体づくり運動 ○新体力テスト	手軽な運動やリズムカルな運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことによって、心と体の関係や心身の状態に気づくことができる。 ○オリエンテーション・集団行動・ラジオ体操 集合、整列(号令、姿勢、気をつけ、前へならえ、回れ右等)の経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力して場や用具の準備片付け・清掃等施設の利用方法を学ぶ。 ・ラジオ体操を通して体の動かし方を理解する。 ○体づくり運動・体幹トレーニング ・いろいろな条件で、歩いたり走ったり跳びはねたりする運動を行う。 ○体幹トレーニングで安定した体の動き方を理解する。 ○新・体力テスト(室内) ※4/18予定 体力テスト美里高と一緒に実施(5種目)以外の種目を授業で実施。
	10	(知及技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。(高2段階) (思判表力)球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階) (学・人)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階)	(知・技) 楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行っている。 (思・判・表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。	「球技」 ○バレーボール	オリエンテーション ・学習の進め方・見通し ルールの説明 ○パス練習 ・オーバーハンドパス ・アンダーハンドパス ・円陣パス ○サーブ練習 ・アンダーハンドサーブ・サイドハンドサーブ・オーバーハンドサーブ ○スパイク練習 ・空中動作でのボールキャッチ・トスからのボールキャッチ ・トスからのスパイク練習 ○簡易ゲーム ・キャッチなし ・バウンドあり ※4/25予定 新入生歓迎球技大会に向けて全学年取り組む
	14	(知及技) 水泳の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身につけることができる。(高2段階) (思判表力)水泳についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階) (学・人)水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階)	(知・技) 楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身につけている。 (思・判・表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 泳力テスト	「水泳」 ○クロール ○平泳ぎ	①手と足の動き、呼吸のバランス(ローリング) ①安定したペースで長く泳いだり、速く泳いだりする ②手(逆ハート型)と足(カエル足)の動き、呼吸のバランス ②安定したペースで長く泳いだり、速く泳いだりする ③手(小指側から入水)と足の動き、呼吸のバランス(ローリング) ③安定したペースで泳ぐ(一定のスピード) ④手(ロングアームブル)と足(ドルフィンキック)の動き、呼吸のバランス ④安定したペースで泳ぐ(一定のスピード)
	4	(知及技) 心身の発育・発達と傷害の防止について理解をできるようにする。(高2段階) (思判表力) 心身の発育・発達とに関わる情報から自他の課題を発見し、けがや疾病の予防方法を選択できる。(高2段階) (学・人) 生活の質を高め、心身の発育・発達について課題の解決に向けて主体的に取り組むことができる。(高2段階)	(知・技) 心身の発育・発達に伴う傷害の防止方法をいくつか挙げている。 (思・判・表) 心身の発育・発達、けがや疾病に関わる情報から自他の課題を発見し、習得した知識を活用してけがや疾病を予防するための適切な行動をとることができる。 (主学) けがや疾病の予防について課題の解決に向けて主体的に取り組むことができる。	「保健」 ・心身の発育・発達 ・傷害の防止と疾病の予防	第1時 心身の発育・発達について 生殖にかかわる機能の成熟、受精や妊娠、異性の尊重について知る。 第2時 熱中症とその予防 自己の体調や周囲の環境の変化について知り熱中症を予防することができる。運動中の服装や適切な水分補給について知る。熱中症になったときの対応方法。 第3時 傷害の防止 安全に注意して運動を行うことについて 第4時 応急手当の対処法 すり傷、鼻出血、やけどや打撲など簡単にできる応急手当の方法を行うことができる。
	12	(知及技) 武道の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開することができる。(高2段階) (思判表力)武道についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階) (学・人)武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階)	(知・技) 楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開している。 (思・判・表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※実技テスト	単元「武道」 ①空手	①礼法や基本動作(立ち方、受け、突き、蹴り等)の行い方 ①形や組手(相手を尊重する、ルールを守る)

2 学期		(知及技) ダンスの楽しさや喜びを深く味わい、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現や踊りを通じた交流や発表をすることができる。(高2段階) (思判表力)ダンスについての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階) (学・人)ダンスの多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め合ったり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階)	(知・技) 楽しさや喜びを深く味わい、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現や踊りを通じた交流や発表をしている。 (思・判・表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め合ったり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	「ダンス」 ○現代的なリズムのダンス	①短い動きを繰り返す、対立する動きを組み合わせる ①ダイナミックなアクセントのある動き、個と群の動き
	14	(知及技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けることができる。(高2段階) (思判表力)陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階) (学・人)陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階)	(知・技) 楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けている。 (思・判・表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	「陸上競技」 ○短距離走 ○リレー	競走したり記録に挑戦したりすることを通して、走る楽しさを味わい一定の距離を全力で走る事ができる。 ○ストレッチ体操 体幹トレーニング 動きを良くするための準備体操、疲労を残さない怪我を防止するための整理体操を身に付ける。 ○ベースポジションの基本姿勢の習得（走るフォームの意識） ・アンクルホップ、ベースポジションの姿勢の維持・左右の腿上げ、Y字走法、腕振り、リズムの良いフォームで走ることを意識する。 ・ストライド走（歩幅を広くして走る。）、スタートダッシュ ○リレー・バトンパスの練習 バトンの受け渡しができる。（トラック1周リレー） テークオーバーゾーンを有効に使ったバトンの受け渡し。 ○持久走 ・周回タイム測定・タイム掲示、美里高校体育科と連携し全体順位の掲示 ○11月21日：特体連体育大会
	14	(知及技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。(高2段階) (思判表力)球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階) (学・人)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階)	(知・技) 楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行っている。 (思・判・表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	「球技」 ○バスケットボール	○ドリブル、パス、シュートの基本動作 ・ドリブル（ドリブルダッシュ、サークルドリブル、ドリブル鬼ごっこ） ・パス（対面パス、ドリブルしながらのパス練習） ・ランニングシュート、リング下のシュート練習 ○簡易ゲーム
	4	(知及技) 健康な生活と感染症予防について理解できるようにする。(高2段階) (思判表力) 感染症予防に関わる情報から自他の課題を発見し、感染症などのリスクを軽減する方法を選択することができる。(高2段階) (学・人) 生活の質を高め、感染症予防について課題の解決に向けて主体的に取り組むことができる。(高2段階)	(知・技) 感染症を予防するための方法をいくつか挙げるができる。 (思・判・表) 感染症予防に関わる情報から自他の課題を発見し、習得した知識を活用して感染症を予防するための適切な行動をとることができる。 (主学) 感染症予防について課題の解決に向けて自主的に取り組むことができる。	「保健」 ・感染症・エイズ	第1時 感染症について 感染症とは、「人から人うつる病気のこと」だと理解することができる。 第2時 菌・ウイルスについて 感染源となる菌やウイルスについて学び、発生源について理解する。 第3時 感染症の種類 感染症の病気の種類や症状などについて知る。 第4時 感染症予防 毎日を健康に過ごすには、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、体の清潔を保つことなどが必要であることを学ぶ。 「風邪予防（手洗い、うがいの徹底）」…感染症対策について学ぶ。
3 学期	12	(知及技) 陸上競技の特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けることができる。(高2段階 陸上競技(ア)) (思判表力) 陸上競技の技術について自己の課題を発見し仲間と思考し判断したことを他者に伝えることができる。(高2段階 陸上競技(イ)) (学・人) 陸上競技のマナーを守り、場や用具の安全を確保したりして走ることができる。(高2段階：陸上競技(ウ))	(知・技) 記録の向上を目指し陸上競技の学習に自主的に取り組んでいる。 (思・判・表) 自己の課題に応じた運動の行い方の改善ポイントを理解し修正するための行動をとることができる。 (主学) 陸上競技場での安全に関する事故防止の心得や健康・安全について留意している。	「陸上競技」 ・長距離走	○時間走、ベース走 基本的なフォームと自己に適したベース設定を身に付ける。 ○インターバルトレーニング ペースの変化に対応するなどして走り、長距離走特有の呼吸法や腕振り、足の動きを身に付ける。 ○競技会への参加 記録会に参加し自己のペースを守りながら自己記録を目指す。駅伝大会を実施しチームで記録を更新するなどの楽しさを味わう。
	10	(知及技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。(高2段階) (思判表力)球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階) (学・人)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階)	(知・技) 楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行っている。 (思・判・表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	「球技」 ○バドミントン ○サッカー	○バドミントン ・フォアハンド、バックハンドのラケットの基本操作 ・ハイクリア、ドロップ、ヘアピン、スマッシュの基本技能の練習。 ・簡易ゲーム実践（拾う、つなぐ、打つの一連の流れで攻撃を組み立てる） ○サッカー ・ドリブル、パス、シュートの基本動作 ・簡易ゲーム実践
	4	(知及技) 応急手当の意義や手順方法を知ることができる。(高1段階) (思判表力) AEDの正しい使い方心肺蘇生法の正しい手順を身に付け、仲間と一緒に課題を解決することができる。(高1段階) (学・人) 仲間と協力し合って積極的に救命活動に参加できる態度を養う。 (高1段階：体育理論(ウ))	(知・技) 応急手当の意義や手順方法を守りながら行動することができる。 (思・判・表) AEDの正しい使い方心肺蘇生法の正しい手順で、仲間と一緒に人命救助することができる。 (主学) 仲間と協力し合って積極的に救命活動に参加することができる。	「保健」 応急手当（心肺蘇生法）	第1時 オリエンテーション 心肺蘇生法やAEDを活用する場面について 第2時～第4時 人命救助の手順 「人命救助の手順」 「心肺蘇生法の手順」 「AEDの活用方法について」
留意点 引継ぎ等		・各単元については、生徒の実態や計画の進捗状況、また気候条件や施設利用状況により弾力的に実施する。 ・体育理論は、各単元とのつながりを考慮して、年間を通して実施する。 ・校外学習（生涯スポーツ）			

令和8年度 高等部(美里高校分教室) 3年(II課程・A類型) 保健体育科 年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
3／105	2学年 16名	体育科	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 各種の運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活及び社会生活に必要な健康・安全に関する事柄などの理解を深めるとともに、目的や状況に応じた技能を身に付けるようにする。(高2段階) (思判表力)各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。(高2段階) (学・人)生涯にわたって継続して運動に親しむことや、健康の保持増進と体力の向上を目指し、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。(高2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	9	(知及技) 体ほぐし運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせることができる。(高2段階) (思判表力)体ほぐし運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階) (学・人)体ほぐし運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階)	(知・技) 体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせている。 (思・判・表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。	「体づくり運動」 ○集団行動 ○体づくり運動 ○新体力テスト	手軽な運動やリズムカルな運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことによって、心と体の関係や心身の状態に気づくことができる。 ○オリエンテーション・集団行動・ラジオ体操 集合、整列(号令、姿勢、気をつけ、前へならえ、回れ右等)の経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力して場や用具の準備片付け・清掃等施設の利用方法を学ぶ。 ・ラジオ体操を通して体の動かし方を理解する。 ○体づくり運動・体幹トレーニング ・いろいろな条件で、歩いたり走ったり跳びはねたりする運動を行う。 ○体幹トレーニングで安定した体の動き方を理解する。 ○新・体力テスト(室内) ※4/18予定 体力テスト美里高と一緒に実施(5種目)以外の種目を授業で実施。
	10	(知及技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。(高2段階) (思判表力)球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階) (学・人)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階)	(知・技) 楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行っている。 (思・判・表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。	「球技」 ○バレーボール	オリエンテーション ・学習の進め方・見通し ルールの説明 ○パス練習 ・オーバーハンドパス ・アンダーハンドパス ・円陣パス ○サーブ練習 ・アンダーハンドサーブ・サイドハンドサーブ・オーバーハンドサーブ ○スパイク練習 ・空中動作でのボールキャッチ・トスからのボールキャッチ ・トスからのスパイク練習 ○簡易ゲーム ・キャッチなし ・バウンドあり ※4/25予定 新入生歓迎球技大会に向けて全学年取り組む
	14	(知及技) 水泳の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身につけることができる。(高2段階) (思判表力)水泳についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階) (学・人)水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階)	(知・技) 楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身につけている。 (思・判・表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 泳力テスト	「水泳」 ○クロール ○平泳ぎ	①手と足の動き、呼吸のバランス(ローリング) ①安定したペースで長く泳いだり、速く泳いだりする ②手(逆ハート型)と足(カエル足)の動き、呼吸のバランス ②安定したペースで長く泳いだり、速く泳いだりする ③手(小指側から入水)と足の動き、呼吸のバランス(ローリング) ③安定したペースで泳ぐ(一定のスピード) ④手(ロングアームブル)と足(ドルフィンキック)の動き、呼吸のバランス ④安定したペースで泳ぐ(一定のスピード)
	4	(知及技) 心身の発育・発達と傷害の防止について理解をできるようにする。(高2段階) (思判表力) 心身の発育・発達とに関わる情報から自他の課題を発見し、けがや疾病の予防方法を選択できる。(高2段階) (学・人) 生活の質を高め、心身の発育・発達について課題の解決に向けて主体的に取り組むことができる。(高2段階)	(知・技) 心身の発育・発達に伴う傷害の防止方法をいくつか挙げている。 (思・判・表) 心身の発育・発達、けがや疾病に関わる情報から自他の課題を発見し、習得した知識を活用してけがや疾病を予防するための適切な行動をとることができる。 (主学) けがや疾病の予防について課題の解決に向けて主体的に取り組むことができる。	「保健」 ・心身の発育・発達 ・傷害の防止と疾病の予防	第1時 心身の発育・発達について 生殖にかかわる機能の成熟、受精や妊娠、異性の尊重について知る。 第2時 熱中症とその予防 自己の体調や周囲の環境の変化について知り熱中症を予防することができる。運動中の服装や適切な水分補給について知る。熱中症になったときの対応方法。 第3時 傷害の防止 安全に注意して運動を行うことについて 第4時 応急手当の対処法 すり傷、鼻出血、やけどや打撲など簡単にできる応急手当の方法を行うことができる。
	12	(知及技) 武道の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開することができる。(高2段階) (思判表力)武道についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階) (学・人)武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階)	(知・技) 楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開している。 (思・判・表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※実技テスト	単元「武道」 ①空手	①礼法や基本動作(立ち方、受け、突き、蹴り等)の行い方 ①形や組手(相手を尊重する、ルールを守る)

2 学期		(知及技) ダンスの楽しさや喜びを深く味わい、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現や踊りを通じた交流や発表をすることができる。(高2段階) (思判表力)ダンスについての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階) (学・人)ダンスの多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め合ったり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階)	(知・技) 楽しさや喜びを深く味わい、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現や踊りを通じた交流や発表をしている。 (思・判・表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め合ったり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	「ダンス」 ○現代的なリズムのダンス	①短い動きを繰り返す、対立する動きを組み合わせる ①ダイナミックなアクセントのある動き、個と群の動き
	14	(知及技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けることができる。(高2段階) (思判表力)陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階) (学・人)陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階)	(知・技) 楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けている。 (思・判・表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	「陸上競技」 ○短距離走 ○リレー	競走したり記録に挑戦したりすることを通して、走る楽しさを味わい一定の距離を全力で走る事ができる。 ○ストレッチ体操 体幹トレーニング 動きを良くするための準備体操、疲労を残さない怪我を防止するための整理体操を身に付ける。 ○ベースポジションの基本姿勢の習得（走るフォームの意識） ・アンクルホップ、ベースポジションの姿勢の維持・左右の腿上げ、Y字走法、腕振り、リズムの良いフォームで走ることを意識する。 ・ストライド走（歩幅を広くして走る。）、スタートダッシュ ○リレー・バトンパスの練習 バトンの受け渡しができる。（トラック1周リレー） テークオーバーゾーンを有効に使ったバトンの受け渡し。 ○持久走 ・周回タイム測定・タイム掲示、美里高校体育科と連携し全体順位の掲示 ○11月21日：特体連体育大会
	14	(知及技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。(高2段階) (思判表力)球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階) (学・人)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階)	(知・技) 楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行っている。 (思・判・表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	「球技」 ○バスケットボール	○ドリブル、パス、シュートの基本動作 ・ドリブル（ドリブルダッシュ、サークルドリブル、ドリブル鬼ごっこ） ・パス（対面パス、ドリブルしながらのパス練習） ・ランニングシュート、リング下のシュート練習 ○簡易ゲーム
	4	(知及技) 健康な生活と感染症予防について理解できるようにする。(高2段階) (思判表力) 感染症予防に関わる情報から自他の課題を発見し、感染症などのリスクを軽減する方法を選択することができる。(高2段階) (学・人) 生活の質を高め、感染症予防について課題の解決に向けて主体的に取り組むことができる。(高2段階)	(知・技) 感染症を予防するための方法をいくつか挙げるができる。 (思・判・表) 感染症予防に関わる情報から自他の課題を発見し、習得した知識を活用して感染症を予防するための適切な行動をとることができる。 (主学) 感染症予防について課題の解決に向けて自主的に取り組むことができる。	「保健」 ・感染症・エイズ	第1時 感染症について 感染症とは、「人から人うつる病気のこと」だと理解することができる。 第2時 菌・ウイルスについて 感染源となる菌やウイルスについて学び、発生源について理解する。 第3時 感染症の種類 感染症の病気の種類や症状などについて知る。 第4時 感染症予防 毎日を健康に過ごすには、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、体の清潔を保つことなどが必要であることを学ぶ。 「風邪予防（手洗い、うがいの徹底）」…感染症対策について学ぶ。
3 学期	12	(知及技) 陸上競技の特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けることができる。(高2段階 陸上競技(ア)) (思判表力) 陸上競技の技術について自己の課題を発見し仲間と思考し判断したことを他者に伝えることができる。(高2段階 陸上競技(イ)) (学・人) 陸上競技のマナーを守り、場や用具の安全を確保したりして走ることができる。(高2段階：陸上競技(ウ))	(知・技) 記録の向上を目指し陸上競技の学習に自主的に取り組んでいる。 (思・判・表) 自己の課題に応じた運動の行い方の改善ポイントを理解し修正するための行動をとることができる。 (主学) 陸上競技場での安全に関する事故防止の心得や健康・安全について留意している。	「陸上競技」 ・長距離走	○時間走、ベース走 基本的なフォームと自己に適したベース設定を身に付ける。 ○インターバルトレーニング ペースの変化に対応するなどして走り、長距離走特有の呼吸法や腕振り、足の動きを身に付ける。 ○競技会への参加 記録会に参加し自己のペースを守りながら自己記録を目指す。駅伝大会を実施しチームで記録を更新するなどの楽しさを味わう。
	10	(知及技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。(高2段階) (思判表力)球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階) (学・人)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階)	(知・技) 楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行っている。 (思・判・表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	「球技」 ○バドミントン ○サッカー	○バドミントン ・フォアハンド、バックハンドのラケットの基本操作 ・ハイクリア、ドロップ、ヘアピン、スマッシュの基本技能の練習。 ・簡易ゲーム実践（拾う、つなぐ、打つの一連の流れで攻撃を組み立てる） ○サッカー ・ドリブル、パス、シュートの基本動作 ・簡易ゲーム実践
	4	(知及技) 応急手当の意義や手順方法を知ることができる。(高1段階) (思判表力) AEDの正しい使い方心肺蘇生法の正しい手順を身に付け、仲間と一緒に課題を解決することができる。(高1段階) (学・人) 仲間と協力し合って積極的に救命活動に参加できる態度を養う。 (高1段階：体育理論(ウ))	(知・技) 応急手当の意義や手順方法を守りながら行動することができる。 (思・判・表) AEDの正しい使い方心肺蘇生法の正しい手順で、仲間と一緒に人命救助することができる。 (主学) 仲間と協力し合って積極的に救命活動に参加することができる。	「保健」 応急手当（心肺蘇生法）	第1時 オリエンテーション 心肺蘇生法やAEDを活用する場面について 第2時～第4時 人命救助の手順 「人命救助の手順」 「心肺蘇生法の手順」 「AEDの活用方法について」
留意点 引継ぎ等		・各単元については、生徒の実態や計画の進捗状況、また気候条件や施設利用状況により弾力的に実施する。 ・体育理論は、各単元とのつながりを考慮して、年間を通して実施する。 ・校外学習（生涯スポーツ）			

令和8年度 高等部(美里高校分教室) 1年（Ⅱ課程A類型） 外国語科 年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1単位（35）	美里分教室1年Ⅱ課程A類型 16名	英語科	ドラえもんはじめての英語ドリル、プリント教材等

目標：(知及技)知識及び技能（思判表力)思考力、判断力、表現力等（学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能（思・判・表)思考・判断・表現（主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気づくとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すことを中心とした実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けるようにする。（高1段階） (思判表力)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などを真似ながら読んだり、外国語の文字をなぞって書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。（高1段階） (学・人)外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。（高1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 英語の音声を聞いて話したり，文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。（高1段階：英語の特徴ア(ア)㊦） (思判表力)身近で簡単な事柄について、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句や表現などを用いて伝え合うことができる。（高1段階：イ（ア）） (学・人)言語活動を通して、主体的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。（高1段階）	(知・技) 英語の音声を聞いて発音の練習をしたり、意味を考えながら丁寧に綴りを書くことができる。 （思・判・表）学んだ英語表現を用いて自分に関することを伝えようとしている。 （主学）場面に即した簡単な質問をしようといふことができる。 評価資料：授業プリント（振り返りシート）、提出物、活動の様子	単元1：あいさつ Greeting・自己紹介	・初めて会った時や日常のあいさつを確認する。 ・定型文を用いて自己紹介カードを作成し、交換をしながら自己紹介のやり取りをする。 （名前、出身中学校名など） ・他者の自己紹介を聞く。
				単元2：数 Numbers	・数字の読み方(1～20)や数を尋ねる表現 “How many ～?” に慣れる。 ・ビンゴ活動で数を聞いたり伝えたりする。 ・インタビューゲームを通して数を尋ねる。
				単元3：家族 Family	・絵カードを活用し、家族メンバーの表現に親しむ。 ・絵を用いて、“This is ～” の表現を使い家族を紹介をする。 ・定型文を用いて家族の人数を伝える。
				単元4：色 Colors	・折り紙を使ったビンゴ活動などで色表現を理解する。 ・“I like ～. / I don't like ～.” の表現を用いて自分の好きな色を伝える。
2学期	14	(知及技) 英語の音声を聞いて話したり，文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。（高1段階：英語の特徴ア(ア)㊦） (思判表力) 身近で簡単な事柄について、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句や表現などを用いて伝え合うことができる。（高1段階：イ（ア）） (学・人) 外国の行事について知り、外国語の背景にある文化に対する理解を深めることができる。（高1段階）	(知・技) 形や食べ物、文化等に関する語句や会話文を読み、聞きして、その意味や内容を理解している。 (思・判・表) 簡単な語句や基本表現を真似て発音したり、自分に関することを書いたり、表現しようとしている。 (主学) 外国語を使おうとしたり、外国と自国の文化の違いをを理解しようとしている。 評価資料：授業プリント（振り返りシート）、提出物、活動の様子	単元5：夏休みについて Summer Vacation	・定型文を参考に、簡単な語句を使って夏休みに行った場所や見たものなどについて発表する。 ・夏に関する簡単な単語に慣れる。
				単元6：形 What shape is this?	・曲や動画で形の表現を確認したり、絵カードを活用して表現に慣れる。 ・形の表現を聞いて理解する。 ・形を問う質問をする。
				単元7：オータムフェスティバル Autumn Festival	・外国で行われているハロウィンの様子を知り、外国の行事の様子と日本の行事の様子の違いを学ぶ。 ・ハロウィンに関する語句や表現に触れる。
				単元8：食べもの What would you like?	・歌やチャンツなどを使い、食べ物に関する語句や表現に慣れ親しむ。 ・“I want to eat / drink/ have～.” の表現を使い、食べたいものや飲みたいものを伝える。 ・“What would you like?” “I'd like ～.”などの丁寧な表現に慣れる。 ・外国から来る食べ物や、英語と日本語の違いについて考える。
3学期	9	(知及技) 英語の音声や文字も，事物の内容を表したり，要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くこと。（高1段階：英語の特徴ア(ア)㊦） (思判表力) 身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり、書いたりすることができる。（高1段階：イ（イ）） (学・人) 外国の行事について知り、外国語の背景にある文化に対する理解を深めることができる。（高1段階）	(知・技) 新年や干支等をはじめ、各単元で学ぶ語句や会話文を読み、聞きして、その意味や内容を理解している。 (思・判・表) 簡単な語句や基本表現を真似て発音したり、感謝の気持ちを書き綴ろうとしている。 (主学) 外国語を使おうとしたり、外国の文化の理解を深めようとしている。 評価資料：授業プリント（振り返りシート）、提出物、活動の様子	単元10:ハッピーニューイヤー Happy New Year・動物	・外国の新年の挨拶や、過ごし方について学ぶ。 ・新年の干支 (Zodiac animals)や動物について、絵カードやクイズを通して知る。 ・ “What is this year's eto?” の質問に、“It is ～.” の表現を使って答える。 ・年号の伝え方を知り、理解する。
				単元11:バレンタインデー Valentine's day	・クイズを通して、外国のバレンタインデーの過ごし方について知る。 ・バレンタインデーに関する語句や表現を学ぶ。
				単元12: 1年間のまとめ	・既習語句・表現のふりかえり ・Thank you cardを作成し、友人やお世話になった方へ感謝の気持ちを表す。 ・送る相手に適した表現を知る。
留意点 引継ぎ等		※指導内容（思判表力）のウ①言語活動に関する事項の（ア）～（オ）（五つの領域）に関しては、全単元を通して取り組む。			

令和8年度 高等部(美里高校分教室) 2年（Ⅱ課程A類型） 外国語科 年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
35	美里分教室2年 Ⅱ課程A類型 15名	英語科	ドラえもんはじめての英語ドリル、プリント教材等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身につけることができる。（高2段階） (思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。（高2段階） (学・人) 外国語の背景にある文化について理解し、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。（高2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。（高2段階ア(ア)㊦） (思判表力) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うことができる。（高1段階イ(ア)） (学・人) 言語活動を通して、相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。（高1段階）	(知・技) 音声を模倣して発音したり、英語を聞いて、その内容を示すものを選択したりしている。語句の意味を理解しながら、文字を綴っている。 (思・判・表) 使用場面に応じた応答をしている。学習した語句を用いて自分の気持ちや考えを伝えたり、尋ねたりしている。 (主学) 聞き手を意識して話している、または、読み手を意識して書いている。 評価資料：活動の姿、提出物、自己評価	単元1「This is Me!」 自己紹介 あいさつ 日常生活 Daily Activity 単元2「Birthday 誕生日」 数の数え方（序数） 1 2の月の数え方 単元3「～できますか？Canを使った表現」 What I am good at(can) ～.	・ 定型文を用いて自己紹介文を作り、発表する。（名前/学校名/年齢/通学方法など） ・ 定型文を用いて他者の紹介をする。 ・ 他者の発表を聞く。 ・ 朝昼晩に応じたあいさつを確認する。 ・ 朝昼晩の日課について、質問したり、話したりする。 カレンダーや絵カード等を利用しながら、 ・ 1～31日までの読み方(序数)と1～12月の名称を学ぶ。 ・ 誕生日を英語で聞いて理解する。 ・ 自分や身近な人の誕生日を伝える。 ・ 有名人の誕生日を調べて報告する。 ・ 疑問詞 “When” を使って質問する。 絵カードを利用しながら “can” “can't” を用いて、 ・ 場所や動物などの情報を伝える。 ・ 自分の得意なことや不得意なことを伝える。 ・ “Can you ～?” を用いて質問したり、依頼したりする。 ・ “Yes, I(you) can.” “No, I(you) can't.”を用いて応答したり、承諾したり、断ったりする。
		(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。（高2段階ア(ア)㊦） (思判表力) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うことができる。（高1段階イ(ア)） (学・人) 外国の季節の行事について知り、外国の文化・風習に対する理解を深めることができる。（高2段階）	(知・技) 英語を聞いたり読んだりして、必要な情報を得ようとしている。または、それを示すものを選択する。語句や表現の意味を理解しながら、他者に伝えている。 (思・判・表) 質問内容や使用場面に応じた返答をしている。調べたことや経験したことを英語で話したり書いたりして発表している。 (主学) 生活の中の身近な英語や英語表記に関心を示し、積極的に情報を得ようとしている。また、外国発祥の文化と自国の文化の違いに気づいている。 評価資料：活動の姿、提出物、自己評価	単元4「My Day 私の一日」 時間の聞き方、答え方 単元5「買い物（2桁・3桁の数え方）」 単元6「衣類・身の回りの英語」 単元7「ホリデーシーズン」	チャンツやクイズなどを通して、 ・ ～時、半、10分単位の時間の聞いて理解する。 ・ “What time” を使い、時間を尋ねる。 ・ “It's ～.” を遣い、時間を伝える。 ・ 様々な時間の表現を使いながら、夏休みの過ごし方について報告する。 身近な商品を題材に、クイズを通して ・ 2桁、3桁の値段を聞いて理解する。 ・ 2桁、3桁の表現を使って、値段を伝える。 ルールプレイでのやり取りを通して ・ “How much” を用いて値段を尋ねる。 ・ “I'll have ～.” を用いて欲しいものを伝える。 ・ 修学旅行に向けた調べ学習を取り入れながら身近な英語に触れる。(Winter Clothes, Hotel Amenity) ・ 英語と日本語の違いに気づく。 ・ 日常にある英語由来の日本語に気づく。 ・ 英語表示から必要とする情報を読み取る。 ・ わかったことを説明したり、発表したりする。 クリスマスカードを作りを通して、 ・ 季節のあいさつを送り合う習慣に触れる。 ・ メッセージを送る相手を意識したカード作りをする。 ・ メッセージの意味を意識しながら文字をつづる。 ・ 外国の年末年始の過ごし方を知り、比較する。
		(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。（高2段階ア(ア)㊦） (思判表力) 身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりすることができる。（高2段階イ(イ)） (学・人) 外国文化に対する理解を深め、日本文化と比較することができる。読み手に応じた表現を選ぶことができる。（高2段階）	(知・技) 英語を聞いたり読んだりして、意味を理解している、それを示すものを選択している。英語の指示を聞いて行動している。 (思・判・表) 使用場面に応じたあいさつをしている。簡易な表現を用いて感謝の気持ちを綴っている。また、リストの中から自分の気持ちに沿ったメッセージを選んでいる。 (主学) 外国発祥の文化と自国の文化の違いを述べている。また、友人、目上の人物など読み手の違いを意識して言葉を選んでいる。 評価資料：活動の姿、提出物、自己評価	単元8「新年を祝おう」 世界の正月&日本の正月 Facial parts, Directions 単元9「バレンタインデー」 単元10「感謝の気持ちを伝えよう」	・ 外国の新年の挨拶や過ごし方について学び、比較する。 ・ 年号の伝え方を知り、理解する。 ・ 絵カードやクイズを通して、新年に関する語句や表現に触れる。（例:Zodiac Animals） ・ 福笑いを通して、方向に関する指示を聞いて理解する。 動画やスライドを通して ・ バレンタインデーの起源や習慣を知る。 ・ バレンタインデーに関する語句や表現を学ぶ。 ・ 外国の習慣を知り、比較する。 ・ 疑問詞 “Who”や “What” を用いて質問する。 ・ 疑問詞 “Who”や “What” を用いた質問に応答する。 Thank you card作りを通して ・ 感謝や別れの気持ちを表す表現を知る。 ・ 送る相手に適した表現を知る。 ・ メッセージの意味を意識しながら文字をつづる。
留意点 引継ぎ等		※指導内容(思判表力)のウ①言語活動に関する事項の(ア)～(オ)(五つの領域)に関しては、全単元を通して取り組む。			

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	美里分教室3年 Ⅱ課程A類型 16名	英語科	・プリント教材 ・「ドラえもん はじめての英語ドリル」 (小学館)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身につけることができる。(高2段階)			
		(思判表力)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。(高2段階)			
		(学・人)外国語の背景にある文化について理解し、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。(高2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高2段階：ア(ア)㊟)	(知・技) 語順や抑揚等の英語の特徴を掴み、語句の意味を理解しながら、文字を綴る。音声を模倣して発音する。	単元1 「自己紹介」 This is Me.	「自己紹介」 情報を整理しながら簡単な英語を使った自己紹介をする。教師や友達の自己紹介を聞く。 I'm ... I like... I'm good at...
		(思判表力) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うことができる。(高2段階：イ(ア))	(思・判・表) 場面に応じた挨拶ができる。学習した語句を用いて自分の気持ちや考えを伝えたり、相手に尋ねる。	単元2 「私の一日」 My Daily Routine	「あいさつ」 適切な表現で友達や教師にあいさつをする。 Good morning. How are you? I'm good.
		(学・人) 言語活動を通して、他者に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。(高2段階)	(主学) 聞き手を意識して話す、または、読み手を意識して書く。英語を用いた積極的なコミュニケーションを行う。 評価資料：ワークシート、提出物、活動の観察	単元3 「道案内」 Directions	例題に沿って、自分の一日の流れを英語を使って書き、それをクラスで共有する。 I get up at.. What time do you go home?
				単元4 「行きたい国」 Countries	教師が設定した地図を元に目的地までの経路を英語で伝える。道案内に関する表現を復習し、その表現を使ったゲームをする。 Turn right / left. You will see ..
2 学期	14	(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高2段階：ア(ア)㊟)	(知・技) 語順や抑揚等の英語の特徴を掴み、語句の意味を理解しながら、文字を綴る。音声を模倣して発音する。	単元5「夏休み中のできごと」 My Summer	画像や地図を通して様々な国名を知り、どこに行きたいか、テンプレートを活用しながら伝える。 Japan, Korea, England I want to go to ...
		(思判表力) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うことができる。(高2段階：イ(ア))	(思・判・表) 場面に応じた挨拶ができる。学習した語句や表現を用いて自分の気持ちや考えを伝え、尋ねる。	単元6「オータムフェスティバル」 Autumn Festival	夏休みの課題を用いて、夏休みの思い出を過去形または簡単な表現を用いてクラスで共有する。 I went to .. I ate..
		(学・人) 外国の季節の行事について知り、外国の文化・風習に対する理解を深めることができる。(高2段階)	(主学) 外国の文化について聞き、多文化への興味を示し、理解・質問する。 評価資料：活動の観察、ワークシート、課題、提出物	単元7「体調を伝えよう」 I feel...	ハロウィンや感謝祭に関する話や活動を通して、英語圏の文化にふれる。 Happy Halloween. Thanks giving day.
				単元8「ホリデーシーズン」 Holiday Season	病気や体調を表す語を学び、その場面にふさわしい表現を選択し、発音する。 I have a headache. I have a fever.
3 学期	9	(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高2段階：ア(ア)㊟)	(知・技) 語順や抑揚等の英語の特徴を掴み、語句の意味を理解しながら、文字を綴る。音声を模倣して発音する。	単元9「ハッピーニューイヤー」 Happy New Year	海外の休暇期間の過ごし方や季節ごとの行事と日本の文化を比較する。 Holiday, Christmas, New Years day
		(思判表力) 身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり、書いたりすることができる。(高2段階：イ(イ))	(思・判・表) 慣れ親しんだ語彙を使って自分の気持ちを伝える。簡易な表現やテンプレートをを用いて感謝の気持ちを綴る。また、受け取った文章を読む。	単元10「私の夢」 My Future	新年に関する異文化について聞き、日本の文化と比較する。新年のあいさつを交わしたり、新年の抱負を英語の未来形を用いてクラスで共有する事ができる。福笑いをする。 Happy new year. I will .. in this year.
		(学・人) 外国の文化・風習に対する理解を深め、日本文化と比較することができる。(高2段階)	(主学) 外国の文化について聞き、日本の文化との違いを理解・質問する 評価資料：活動の観察、ワークシート、課題、提出物	単元11「Thank you, teacher!」	簡単な語句を用いて自分の目標や夢を書き、クラスで共有する。 I want to drive a car.
留意点 引継ぎ等		活動内容(思判表力)のウ①言語活動に関する事項の(ア)～(オ)(五つの領域)に関しては、全単元を通して取り組む。			

令和8年度 高等部(美里高校分教室) 1年 (Ⅱ課程A類型) 情報科 年間指導計画

単位数／配当時数		生徒	担当者	教科書／副教材	
1／35		1学年 16名	情報科	わたしたちとじょうほう 情報活用スキル編	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。(高1段階) (思判表力) 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。(高1段階) (学・人) 身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技) ・身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けることができる。 【高1段階Aア(ア)】	(知・技) ・メディアリテラシーについて考えている。 ・PCの簡単な操作(電源のオンオフ、キーボード、マウスの操作)をしている。 ・検索エンジンを使い必要な情報を検索している。	情報とメディア ・情報とメディアという言葉について考えよう。 情報の偏りと評価 ・匿名性・信憑性 ・マスメディア ・メディアの利用	・情報とメディアという言葉について考える。 ・情報の偏りと評価(情報操作、信憑性)についてデマメール等の事例を活用し学習する。 ・メディアリテラシー(情報の信憑性や価値を正確に判断できる能力)について考える。 ・PCの基本的な操作を学ぶ。(電源のオンオフ、各種アプリの操作) ・検索エンジンの利用
	6	(思判表力) ・情報に関する身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考えることができる。 【高1段階Aイ(イ)】	(思・判・表) ・SNSトラブル、ネット炎上等の事例で学び、加害者、被害者にならないよう注意する点を理解している。 ・個人情報とは何か具体的に説明できる。	情報モラル ・情報モラルとは ・相手を考えたコミュニケーション ・加害者にならないために ・炎上とネットいじめ(誹謗中傷) ・個人情報 ・ネット依存	・情報モラルの基本は「他人に迷惑をかけない」「他人のを不快にさせない」情報は拡散しやすく蓄積される(簡単に消すことはできない)。 ・SNSトラブル事例(動画)を視聴し加害者にならないよう注意する点を学習する。 ・個人情報(住所、氏名、電話番号、写真…)個人を特定できるものすべてが個人情報であることを理解する。 ・正確な情報発信のために5W1Hを活用する。 ※情報モラルについては年間を通して適宜取り上げ学習する。
			(学・人) ・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。 【高1段階】	(主学) ・情報モラルについての理解を深め「相手の気持ちを考えたコミュニケーション」を心掛けている。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・タイピング	
2学期	7	(知及技) ・身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その変遷を踏まえて知ることができる。 【高1段階 Bア(ア)】	(知・技) ・匿名性、記録性の意味を理解している。 ・情報機器の普及、発達により、表現活動が多様化していることを理解している。	・インターネットの匿名性 ・会員カードやポイントカードの個人情報	・CMCでは個人を特定する情報を隠すことが可能…匿名性、しかし利用者は匿名のつもりでも情報発信は記録が残る。プロバイダ責任制限法(誹謗中傷や著作権侵害等の被害があればプロバイダに発信者の開示を請求できる。)
	7	(思判表力) ・身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考えることができる。 【高1段階 Bイ(ア)】	(思・判・表) ・携帯電話やタブレット端末の利用で個人が情報を発信することが容易になっていることを理解している。	・ネットワークで広がる世界 ・情報共有サイト(SNS、動画共有サイト等)	・かつては不特定多数の人々に対して個人が情報を発信する手段は限られていたが、今日では比較的簡単に、費用もほとんどかからない。ソーシャルメディアの利用で情報発信の形が変化している。 ・コンピュータグラフィックス、バーチャルリアリティを活用した産業分野、学術分野の発展。
			(学・人) ・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。 【高1段階】	(主学) ・情報を加工し発信する方法が分かり、意見を交換し作品を作ることができる。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・作品、提出物	
3学期	5	(知及技) ・情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について知ることができる。 【高1段階 Cア(ア)】	(知・技) ・ユーザID、パスワードを入力することができる。 ・情報セキュリティポリシーの必要性を理解している。	・不正アクセスによる問題 ・情報セキュリティを高める技術	・ユーザID、パスワードの入力方法。「」：；記号の入力方法を学習する。安全で管理しやすいパスワードを考える。 ・情報セキュリティポリシー(企業や学校が持つ情報資産を脅威から守るために設けられた一種の規則、データの暗号化、アクセス制限や利用時間の制限等)
	4	(思判表力) ・情報通信ネットワークにおける情報セキュリティを確保する基本的な方法について考えることができる。 【高1段階 Cイ(ア)】	(思・判・表) ・コンピュータウイルスへの対策、ネットワーク詐欺に遭わないための注意点を理解している。	・情報セキュリティを高める技術 ・ファイアウォール ・二重認証	・ネットワーク犯罪の被害者にならないために犯罪の手法を知る。犯罪に巻き込まれそうになったとき保護者や先生、専門機関に相談する。 ・コンピュータウイルスに感染した例を学習し、感染対策の方法と、感染した場合の対処方法を学ぶ。
			(学・人) ・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。 【高1段階】	(主学) ・犯罪に巻き込まれたり被害に遭った場合、保護者や専門家に相談する等、対処方法を理解している。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・作品、提出物	
留意点					

令和 8年度 高等部(美里高校分教室) 2年 (II課程A類型) 情報科 年間指導計画

単位数／配当時数		生徒		担当者	教科書／副教材
1／ 3 5		2 学年 1 5 名		情報科	わたしたちとじょうほう 情報活用スキル編
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。【高1段階】 (思判表力) 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。【高1段階】 (学・人)身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。【高1段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	6	(知及技) ・情報に関する身近で基本的な、法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて知ることができる。(高1段階Aア(イ))	(知・技) ・基本的な法規や制度を知ることができる。 ・情報セキュリティについて知ることができる。 ・情報モラルの学習を行い、個人の責任について知る。	情報セキュリティに気をつける ・不正アクセスによる問題 ・法律の整備（不正アクセス禁止法） ・自分の情報は自分で守る	・動画視聴（文科省 情報モラル⑩パスワードについて考えよう）情報を発信する責任、情報漏洩による不利益の大きさを知る。基本的な法規や制度を学び、被害者、加害者にならないよう情報モラルを身につける。 ・情報漏洩、不正アクセスに対する対策を学び、情報を守る責任について考える。
	6	(思判表力) ・情報に関する身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考えることができる。(高1段階Aイ(イ))	(思・判・表) ・SNSトラブル、ネット炎上等の事例で学び、加害者、被害者にならないよう注意する点を理解している。 ・個人情報とは何か具体的に説明できる。	情報モラル ・情報モラルとは ・相手を考えたコミュニケーション ・加害者にならないために ・炎上とネットいじめ（誹謗中傷） ・個人情報 ・ネット依存	・情報モラルの基本は「他人に迷惑をかけない」「他人のを不快にさせない」情報は拡散しやすく蓄積される（簡単に消すことはできない）。 ・SNSトラブル事例（動画）を視聴し加害者にならないよう注意する点を学習する。 ・個人情報（住所、氏名、電話番号、写真…）個人を特定できるものすべてが個人情報であることを理解する。 正確な情報発信のために5W1Hを活用する。 ※情報モラルについては年間を通して適宜取り上げ学習する。
			(学・人) ・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高1段階】	(主学) ・情報セキュリティについての理解を深めることができる。情報社会において個人の果たす役割や責任を感じることができる。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・タイピング ・作品、提出物	
2 学期	7	(知及技) ・身近にある情報デザインが人や社会に果たしている役割を知ることができる。(高1段階 Bア(イ))	(知・技) ・身近に利用されている情報デザインについて学ぶことができる。	・ユーザインタフェース ・ユニバーサルデザインの推進 ・ピクトグラム	・身近なユニバーサルデザインを再確認（シャンプー、リンスの容器等）。アートとデザインの違いに気づき、デザインの目的を理解する。ユニバーサルデザインとは年齢、性別、国籍、などの違い、能力の有無、障がいの有無などによらず利用できるように設計されたもの。これからの共生型の社会にはユニバーサルデザインの考え方は欠かせない視点である。
	7	(思判表力) ・コミュニケーションの目的に合わせて、必要な情報が伝わるような情報デザインを考えることができる。(高1段階Bイ(イ))	(思・判・表) ・インターネットを活用し必要な情報を集め編集、加工し出力することができる。目的に応じた表現方法を選択し自分なりにデザインを模索できる。	・修学旅行先ポスター作成 ・クリスマスカード作成 ・年賀状作成	テーマを決めて、伝えたいことを整理しよう。出来上がったカードで意図が伝わるか、学校内に貼りだして、ほかの生徒の意見を聞いてみよう。 ・色の三属性 ・視認性 ・識別性
			(学・人) 身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高1段階】	(主学) ・情報デザインについて理解を深め自分なりの表現方法を模索することができる。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・タイピング ・作品、提出物	
3 学期	5	(知及技) ・身近なデータを蓄積、管理、提供する基本的な方法、情報通信ネットワークを介した情報システムによるサービスの提供に関する基本的な仕組みと特徴について知ることができる。(高1段階 Cア(イ))	(知・技) ・身近な情報システムによるサービス提供に気づくことができる。POSシステムについて学ぶことができる。	日常の中の情報システム ・電子商取引 ・POSシステム ・マーケティング	・電子商取引のルールを確認する。契約とはなにか。 ・電子マネー ・コンビニのカードやアプリとマーケティングの関係を知る。 ※消費者庁の学習動画:デジタル社会の消費生活を視聴し利便性と危険性を同時に学ぶ。
	4	(思判表力) ・情報システムが提供するサービスの利用について考えることができる。(高1段階 Cイ(イ))	(思・判・表) ・身近な電子商取引の特徴を知り、サービスの利用について考えることができる。	・電子商取引 ・マーケティング ・ICタグ	・電子マネー ・契約について ※消費者庁の学習動画:デジタル社会の消費生活を視聴し利便性と危険性を同時に学ぶ。
			(学・人) ・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高1段階】	(主学) ・情報システムの仕組みを理解し様々なサービスを主体的に選択し利用できる。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・タイピング ・作品、提出物	
留意点					

令和 8年度 高等部(美里高校分教室) 3年 (II課程A類型) 情報科 年間指導計画

単位数／配当時数		生徒		担当者	教科書／副教材
1／ 3 5		3 学年 1 6 名		情報科	わたしたちとじょうほう 情報活用スキル編
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。【高1段階】 (思判表力) 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。【高1段階】 (学・人)身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。【高1段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	6	(知及技) ・情報に関する身近で基本的な、法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて知ることができる。(高1段階Aア(イ))	(知・技) ・基本的な法規や制度を知ることができる。 ・情報セキュリティについて知ることができる。 ・情報モラルの学習を行い、個人の責任について知る。	情報セキュリティに気をつける ・不正アクセスによる問題 ・法律の整備（不正アクセス禁止法） ・自分の情報は自分で守る	・動画視聴（文科省 情報モラル⑩パスワードについて考えよう）情報を発信する責任、情報漏洩による不利益の大きさを知る。基本的な法規や制度を学び、被害者、加害者にならないよう情報モラルを身につける。 ・情報漏洩、不正アクセスに対する対策を学び、情報を守る責任について考える。
	6	(思判表力) ・情報に関する身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考えることができる。(高1段階Aイ(イ))	(思・判・表) ・SNSトラブル、ネット炎上等の事例で学び、加害者、被害者にならないよう注意する点を理解している。 ・個人情報とは何か具体的に説明できる。	情報モラル ・情報モラルとは ・相手を考えたコミュニケーション ・加害者にならないために ・炎上とネットいじめ（誹謗中傷） ・個人情報 ・ネット依存	・情報モラルの基本は「他人に迷惑をかけない」「他人のを不快にさせない」情報は拡散しやすく蓄積される（簡単に消すことはできない）。 ・SNSトラブル事例（動画）を視聴し加害者にならないよう注意する点を学習する。 ・個人情報（住所、氏名、電話番号、写真…）個人を特定できるものすべてが個人情報であることを理解する。 正確な情報発信のために5W1Hを活用する。 ※情報モラルについては年間を通して適宜取り上げ学習する。
			(学・人) ・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高1段階】	(主学) ・情報セキュリティについての理解を深めることができる。情報社会において個人の果たす役割や責任を感じることができる。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・タイピング ・作品、提出物	
2 学期	7	(知及技) ・身近にある情報デザインが人や社会に果たしている役割を知ることができる。(高1段階 Bア(イ))	(知・技) ・身近に利用されている情報デザインについて学ぶことができる。	・ユーザインタフェース ・ユニバーサルデザインの推進	・身近なユニバーサルデザインを再確認（シャンプー、リンスの容器等）。アートとデザインの違いに気づき、デザインの目的を理解する。ユニバーサルデザインとは年齢、性別、国籍、などの違い、能力の有無、障がいの有無などによらず利用できるように設計されたもの。これからの共生型の社会にはユニバーサルデザインの考え方は欠かせない視点である。
	7	(思判表力) ・コミュニケーションの目的に合わせて、必要な情報が伝わるような情報デザインを考えることができる。(高1段階Bイ(イ))	(思・判・表) ・インターネットを活用し必要な情報を集め編集、加工し出力することができる。目的に応じた表現方法を選択し自分なりにデザインを模索できる。	・クリスマスカード作成 ・年賀状作成 ・ポスター作成 ・分教室ロゴ作成	テーマを決めて、伝えたいことを整理しよう。出来上がったカードで意図が伝わるか、学校内に貼りだして、ほかの生徒の意見を聞いてみよう。 ・色の三属性 ・視認性 ・識別性
			(学・人) 身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高1段階】	(主学) ・情報デザインについて理解を深め自分なりの表現方法を模索することができる。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・タイピング ・作品、提出物	
3 学期	5	(知及技) ・身近なデータを蓄積、管理、提供する基本的な方法、情報通信ネットワークを介した情報システムによるサービスの提供に関する基本的な仕組みと特徴について知ることができる。(高1段階 Cア(イ))	(知・技) ・身近な情報システムによるサービス提供に気づくことができる。POSシステムについて学ぶことができる。	日常の中の情報システム ・電子商取引 ・POSシステム ・マーケティング	・電子商取引のルールを確認する。契約とはなにか。 ・電子マネー ・コンビニのカードやアプリとマーケティングの関係をを知る。 ※消費者庁の学習動画:デジタル社会の消費生活を視聴し利便性と危険性を同時に学ぶ。
	4	(思判表力) ・情報システムが提供するサービスの利用について考えることができる。(高1段階 Cイ(イ))	(思・判・表) ・身近な電子商取引の特徴を知り、サービスの利用について考えることができる。	・電子商取引 ・マーケティング ・ICタグ	・電子マネー ・契約について ※消費者庁の学習動画:デジタル社会の消費生活を視聴し利便性と危険性を同時に学ぶ。
			(学・人) ・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高1段階】	(主学) ・情報システムの仕組みを理解し様々なサービスを主体的に選択し利用できる。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・タイピング ・作品、提出物	
留意点					

令和8年度 高等部(美里高校分教室) 1年(Ⅱ課程A類型) 職業 年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
8/280	1年 16名	農業科	くらしに役立つソーシャルスキル

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 職業に対する関心を高め、働く上で求められる事柄などについて理解するとともに、生産や生育活動に係る技能や職業生活に係る技能を身に付ける。(高1段階) (思判表力) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。(高1段階) (学・人) 生産や生育活動等を通して地域社会へ積極的に参加し、学習を通して習得した知識や技能を実際的な場面において活用し、生活をよりよくしようと工夫する態度を身に付ける。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	96	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高1Aア(ア)】 (知及技) ・季節の野菜や草花を知りその栽培過程を学ぶ。【高1イ(ア)ウ】 (知及技) ・農機具の危険性を知るとともに安全な取り扱いについて学ぶ。【高1イ(ア)ウ】 (学・人) ・作業の意義を理解し皆と協力して作業を行うことの大切さを知る。【高1Aア(イ)】 (思判表力) ・授業や学期を振り返って自己評価し、発表することができる。【高1Aア(イ)】	(知・技) ・職業の心得を唱和して内容を理解し、意識して作業に取り組もうとしている。 (知・技) ・野菜や草花の名称を覚え、栽培管理の方法を理解している。 (知・技) ・農機具の名称と使用方法が分かり、安全に道具を扱おうとしている。 (主学) ・自分の役割が分かり、皆と協力して作業をしている。 (思・判・表) ・内容を丁寧に考え、作業日誌に記入している。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	・職業について ・季節の野菜・草花の栽培 ・農機具の安全な取り扱いについて ・勤労と協働 ・授業の振り返りと自己評価 ・1学期のまとめ	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること、場に応じた言葉遣いなど社会人としての基礎を理解し身に付ける。 (知及技) ・季節の野菜や草花栽培(種まき・育苗・定植・収穫) (知及技) ・農機具の種類を知り、その危険性と安全な使用方法を学ぶ。 (学・人) ・仕事の意義を理解し作業を通じ協働作業の大切さを学ぶ。 (思判表力) ・授業や1学期を振り返り、自己評価を書き皆の前で発表を行う。
2学期	112	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高1Aア(ア)】 (知及技) ・季節の野菜や草花を知りその栽培過程を学ぶ。【高1イ(ア)ウ】 (知及技) ・道具を適切に扱い、野菜の収穫調整袋詰めを行うことができる。【高1イ(ア)オ】 (知及技) ・工具や機械などの使い方が理解できる。【高1イ(ア)オ】 (学・人) ・各行事の意義を理解し、皆と協力して作業に取り組むことができる。【高1Aア(イ)】 (思判表力) ・授業や学期を振り返って自己評価し、発表することができる。(高1Aイ(イ)ア)	(知・技) ・職業の心得を唱和して内容を理解し、意識して作業に取り組もうとしている。 (知・技) ・野菜や草花の名称を覚え、栽培管理の方法を理解している。 (知・技) ・野菜の収穫調整袋詰めにおいて、道具を適切に扱い、丁寧な作業を行おうとしている。 (知・技) ・工具や機械などの使い方を理解しようとしている。 (主学) ・各行事の意義の理解に努め、皆と協力して作業に取り組もうとしている。 (思・判・表) ・内容を丁寧に考え、作業日誌に記入している。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	・職業について ・デュアルシステム型実習 ・季節の野菜・草花の栽培 ・収穫と調整 ・物づくり(木工製品) ・各行事に向けた草花・野菜栽培 ・授業の振り返り ・2学期のまとめ	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること、場に応じた言葉遣いなど社会人としての基礎を理解し身に付ける。 (知及技) ・季節の野菜や草花栽培(種まき・育苗・定植・収穫) (知及技) ・収穫した野菜を規定量に計量し袋詰めを行う。 (知及技) ・木材の名称や特徴を知り、材料取りをする。 ・目的に応じて工具や機械を正しく安全に使用する。 (学・人) ・校外販売や企業実習を通し、将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて主体的・実践的な態度を養う。 (思判表力) ・授業や2学期を振り返り、自己評価を書き皆の前で発表を行う。
3学期	72	(知及技) ・作業の内容や作業手順を理解し、仲間と協力して取り組むことができる。【高1Aア(イ)】 (知及技) ・接客やお金の計算など販売学習に必要な技能を学ぶ。 【高1Aイ(ア)ウ】 (学・人) ・次年度栽培する作物の種まき・畑の整備を通して、事前準備の重要性に気付く。【高1Aア(ウ)】 (知及技) ・情報機器を用いて体験したことを他者に伝えることができる。【高1Bイ】 (思判表力) ・1年間を振り返り自己評価を発表する。(高1段階)	(知・技) 作業に意欲を示し、他者と協力して作業に取り組もうとしている。 (知・技) ・販売学習の目的を知り、接客マナーを通して、言葉遣いや金銭の計算など社会とのかかわりや自身の役割について考えて行動している。 (主学) ・1年の締めくくりとして、農場を整理し、次年度に引き継ぐために、見通しを持って行動している。 (知・技) ・必要な画像等を取り入れ、他者に伝わりやすいように工夫している。 (思判表) ・内容を丁寧に考え、作業日誌(1年を振り返って)に記入している。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	・ビルメンテナンスの基本作業 ・販売学習にむけて ・次年度の準備 ・1年間のまとめ	(知及技) ・技能検定に向けた練習に取り組み、テーブル拭きの基本動作を身につける。 (学・人) ・技能検定で身につけた技能を生活場面で生かすことができる。 (知及技) ・接客用語など言葉遣いの練習、金銭の計算など電卓を使用した計算練習を行う。 (学・人) ・野菜や草花の種まきや育苗、耕うんや畝立てなど次年度の準備に取り組む。 (知及技) ・画像を取り込みや文章を入力し、今年度学んだことをまとめる。 (思判表力) ・1年間を振り返り自己評価し、皆の前で発表を行う。
留意点 引継ぎ等		【通年】 ・校内／校外販売：(知及技)接客用語を学び、丁寧に対応することができる。(高1Aイ(ア)ア)・接客用語が使える。自分の役割が分かり、積極的に取り組むことができる。 ・校外学習(デュアルシステム型実習、農場見学、地域へ野菜の提供)：(学・人)社会貢献に主体的・協働的に取り組む態度を育てる。(高1Aア(イ))・農家の栽培方法や流通の仕組みを知る。 ・主体的に他者の役に立とうとする気持ちを育む。			

令和8年度 高等部(美里高校分教室) 2年（Ⅱ課程A類型） 職業 年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	2年 15名	農業科	ひとりだちするための 進路学習

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 職業に対する関心を高め、働く上で求められる事柄などについて理解するとともに、生産や生育活動に係る技能や職業生活に係る技能を身に付ける。（高1段階） (思判表力) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。（高1段階） (学・人) 生産や生育活動等を通して地域社会へ積極的に参加し、学習を通して習得した知識や技能を実際の場面において活用し、生活をよりよくしようと工夫する態度を身に付ける。（高1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高1Aア（ア）】 (知及技) ・季節の野菜や草花を知りその栽培過程を学ぶ。【高1イ（ア）ウ】 (知及技) ・農機具の危険性を知るとともに安全な取り扱いについて学ぶ。【高1イ（ア）エ】 (知及技) ・工具や機械などの使い方が理解できる。【高1イ（ア）オ】 (学・人) ・作業の意義を理解し皆と協力して作業を行うことの大切さを知る。【高1Aア（イ）】 (思判表力) ・授業や学期を振り返って自己評価し、発表することができる。【高1Aア（イ）ウ】	(知・技) ・職業の心得を唱和して内容を理解し、意識して作業に取り組もうとしている。 (知・技) ・野菜や草花の名称を覚え、栽培管理の方法を理解している。 (知・技) ・農機具の名称と使用方法が分かり、安全に道具を扱おうとしている。 (知・技) ・工具や機械などの使い方を理解しようとしている。 (主学) ・自分の役割が分かり、皆と協力して作業をしている。 (思・判・表) ・内容を丁寧に考え、作業日誌に記入している。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	・職業について ・季節の野菜・草花の栽培 ・農機具の安全な取り扱いについて ・勤労と協働 ・物づくり(木工製品) ・授業の振り返りと自己評価 ・1学期のまとめ	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること、場に応じた言葉遣いなど社会人としての基礎を理解し身に付ける。 (知及技) ・季節の野菜や草花栽培（種まき・育苗・定植・収穫） (知及技) ・農機具の種類を知り、その危険性と安全な使用方法を学ぶ。 (知及技) ・木材の名称や特徴を知り、材料取りをする。 ・目的に応じて工具や機械を正しく安全に使用する。 (学・人) ・仕事の意義を理解し作業を通じ協働作業の大切さを学ぶ。 (思判表力) ・授業や1学期を振り返り、自己評価を書き皆の前で発表を行う。
2 学期	28	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高1Aア（ア）】 (知及技) ・季節の野菜や草花を知りその栽培過程を学ぶ。【高1イ（ア）ウ】 (知及技) ・道具を適切に扱い、野菜の収穫調整袋詰めを行うことができる。【高1イ（ア）オ】 (知及技) ・工具や機械などの使い方が理解できる。【高1イ（ア）オ】 (学・人) 各行事の意義を理解し、皆と協力して作業に取り組むことができる。【高1Aア（イ）】 (思判表力) ・授業や学期を振り返って自己評価し、発表することができる。（高1Aイ（イ）ア）	(知・技) ・職業の心得を唱和して内容を理解し、意識して作業に取り組もうとしている。 (知・技) ・野菜や草花の名称を覚え、栽培管理の方法を理解している。 (知・技) ・野菜の収穫調整袋詰めにおいて、道具を適切に扱い、丁寧な作業を行おうとしている。 (知・技) ・工具や機械などの使い方を理解しようとしている。 (主学) ・各行事の意義の理解に努め、皆と協力して作業に取り組もうとしている。 (思・判・表) ・内容を丁寧に考え、作業日誌に記入している。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	・職業について ・季節の野菜・草花の栽培 ・収穫と調整 ・物づくり(木工製品) ・各行事に向けた草花・野菜栽培 ・授業の振り返り ・2学期のまとめ	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること、場に応じた言葉遣いなど社会人としての基礎を理解し身に付ける。 (知及技) ・季節の野菜や草花栽培（種まき・育苗・定植・収穫） (学・人) 調理実習を計画し、興味のある栽培品目を剪定し、栽培管理を行う。 (知及技) ・収穫した野菜を規定量に計量し袋詰めを行う。 (知及技) ・木材の名称や特徴を知り、材料取りをする。 ・目的に応じて工具や機械を正しく安全に使用する。 (学・人) ・校外販売や卒業式をイメージし、野菜や草花の栽培を協力して行う。 (思判表力) ・授業や1学期を振り返り、自己評価を書き皆の前で発表を行う。
		(知及技) ・接客やお金の計算など販売学習に必要な技能を学ぶ。【高1Aイ（ア）ア】	(知・技) ・販売学習の目的を知り、接客マナーを通して、言葉遣いや金銭の計算など社会とのかかわりや自身の役割について考えて行動している。	・販売学習にむけて ・次年度の準備	(知及技) ・接客用語など言葉遣いの練習、金銭の計算など電卓を使用した計算練習を行う。 (学・人) ・野菜や草花の種まきや育苗、耕うんや畝立てなど次年度の準備に取り組む。

3 学期	18	(学・人) ・次年度栽培する作物の種まき・畑の整備を通して、事前準備の重要性に気付く。【高1Aア(ウ)】 (知及技) ・情報機器を用いて体験したことを他者に伝えることができる。【高1Bイ】 (思判表力) ・1年間を振り返り自己評価を発表する。(高1段階)	(主学) ・1年の締めくくりとして、農場を整理し、次年度に引き継ぐために、見通しを持って行動している。 (知・技) ・必要な画像等を取り入れ、他者に伝わりやすいように工夫している。 (思判表) ・内容を丁寧に考え、作業日誌(1年を振り返って)に記入している。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	・1年間のまとめ	(知及技) ・画像を取り込みや文章を入力し、今年度学んだことをまとめる。 (思判表力) ・1年間を振り返り自己評価し、皆の前で発表を行う。
留意点 引継ぎ等	【通年】 ・リメイク缶作り等の小物作り：(知及技)作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる。(高1Aイ(ア)ウ) ・校内／校外販売：(知及技)接客用語を学び、丁寧に対応することができる。(高1Aイ(ア)ア)・接客用語が使える。自分の役割が分かり、積極的に取り組むことができる。 ・校外学習(農場見学、地域へ野菜の提供)：(学・人)社会貢献に主体的・協働的に取り組む態度を育てる。(高1Aア(イ))・農家の栽培方法や流通の仕組みを知る。・主体的に他者の役に立とうとする気持ちを育む。				

令和8年度 高等部(美里高校分教室) 3年（Ⅱ課程A類型） 職業(農業) 年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	3年 16名	農業科	ひとりだちするための 進路学習

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 職業に対する関心を高め、働く上で求められる事柄などについて理解を深めるとともに、生産や生育活動に係る技能や職業生活に係る技能を身に付ける。（高2段階） (思判表力) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。（高2段階） (学・人) 生産や生育活動等を通して地域社会へ積極的に参加し、学習を通して習得した知識や技能を実践的な場面において活用し、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。（高2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりへの理解を深める。【高2Aア（ア）】 (知及技) ・季節の野菜や草花を知りその栽培過程を学ぶ。【高2イ（ア）ウ】 (知及技) ・農機具の危険性を知るとともに安全な取り扱いについて学ぶ。【高2イ（ア）エ】 (学・人) (知及技) ・工具や機械などの使い方が理解できる。【高1イ（ア）オ】 ・作業の意義を理解し皆と協力して作業を行うことの大切さを知る。【高2Aア（イ）】 (思判表力) ・授業や学期を振り返って自己評価し、発表することができる。【高2Aア（イ）ウ】	(知・技) ・職業の心得を唱和して内容を理解し、意識して作業に取り組もうとしている。 (知・技) ・野菜や草花の名称を覚え、栽培管理の方法を理解している。 (知・技) ・農機具の名称と使用方法が分かり、安全に道具を扱おうとしている。 (知・技) ・工具や機械などの使い方を理解しようとしている。 (主学) ・自分の役割が分かり、皆と協力して作業をしている。 (思・判・表) ・内容を丁寧に考え、作業日誌に記入している。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	・職業について ・季節の野菜・草花の栽培 ・農機具の安全な取り扱いについて ・勤労と協働 ・物づくり(木工製品) ・授業の振り返りと自己評価 ・1学期のまとめ	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること、場に応じた言葉遣いなど社会人としての基礎を理解し身に付ける。 (知及技) ・季節の野菜や草花栽培（種まき・育苗・定植・収穫） (知及技) ・農機具の種類を知り、その危険性と安全な使用方法を学ぶ。 (知及技) ・木材の名称や特徴を知り、材料取りをする。 ・目的に応じて工具や機械を正しく安全に使用する。 (学・人) ・仕事の意義を理解し作業を通じ協働作業の大切さを学ぶ。 (思判表力) ・授業や1学期を振り返り、自己評価を書き皆の前で発表を行う。
2 学期	28	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高2Aア（ア）】 (知及技) ・季節の野菜や草花を知りその栽培過程を学ぶ。【高2イ（ア）ウ】 (知及技) ・道具を適切に扱い、野菜の収穫調整袋詰めを行うことができる。【高2イ（ア）】 (知及技) ・工具や機械などの使い方が理解できる。【高1イ（ア）オ】 (学・人) 各行事の意義を理解し、皆と協力して作業に取り組むことができる。【高2Aア（イ）】 (思判表力) ・授業や学期を振り返って自己評価し、発表することができる。（高2Aイ（イ）ア）	(知・技) ・職業の心得を唱和して内容を理解し、意識して作業に取り組もうとしている。 (知・技) ・野菜や草花の名称を覚え、栽培管理の方法を理解している。 (知・技) ・野菜の収穫調整袋詰めにおいて、道具を適切に扱い、丁寧な作業を行おうとしている。 (知・技) ・工具や機械などの使い方を理解しようとしている。 (主学) ・各行事の意義の理解に努め、皆と協力して作業に取り組もうとしている。 (思・判・表) ・内容を丁寧に考え、作業日誌に記入している。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	・職業について ・季節の野菜・草花の栽培 ・収穫と調整 ・各行事に向けた草花・野菜栽培 ・物づくり(木工製品) ・授業の振り返り ・2学期のまとめ	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること、場に応じた言葉遣いなど社会人としての基礎を理解し身に付ける。 (知及技) ・季節の野菜や草花栽培（種まき・育苗・定植・収穫） (学・人) 調理実習を計画し、興味のある栽培品目を剪定し、栽培管理を行う。 (知及技) ・収穫した野菜を規定量に計量し袋詰めを行う。 (知及技) ・木材の名称や特徴を知り、材料取りをする。 ・目的に応じて工具や機械を正しく安全に使用する。 (学・人) ・校内外における販売学習や卒業式をイメージし野菜や草花の栽培を協力して行う。 (思判表力) ・授業や1学期を振り返り、自己評価を書き皆の前で発表を行う。
		(知及技) ・接客やお金の計算など販売学習に必要な技能を学ぶ。【高2Aイ（ア）ア】	(知・技) ・販売学習の目的を知り、接客マナーを通して、言葉遣いや金銭の計算など社会とのかかわりや自身の役割について考えて行動している。	・販売学習にむけて ・次年度の準備	(知及技) ・接客用語など言葉遣いの練習、金銭の計算など電卓を使用した計算練習を行う。 (学・人) ・野菜や草花の種まきや育苗、耕うんや畝立てなど次年度の準備に取り組む。

3 学 期	18	(学・人) ・次年度栽培する作物の種まき・畑の整備を通して、事前準備の重要性に気付く。【高2Aア（ウ）】 (知及技) ・情報機器を用いて体験したことを他者に伝えることができる。 【高2Bイ】 (思判表力) ・1年間を振り返り自己評価を発表する。（高1段階）	(主学) ・1年の締めくくりとして、農場を整理し、次年度に引き継ぐために、見通しを持って行動している。 (知・技) ・必要な画像等を取り入れ、他者に伝わりやすいように工夫している。 (思判表) ・内容を丁寧に考え、作業日誌（1年を振り返って）に記入している。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	・1年間のまとめ	(知及技) ・木材の名称や特徴を知り、材料取りをする。 ・目的に応じて工具や機械を正しく安全に使用する。 (知及技) ・画像を取り込みや文章を入力し、今年度学んだことをまとめる。 (思判表力) ・1年間を振り返り自己評価し、皆の前で発表を行う。
留意点 引継ぎ等	【通年】 ・リメイク缶作り等の小物作り：（知及技）作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる。（高1Aイ（ア㊦）） ・校内／校外販売：（知及技）接客用語を学び、丁寧に対応することができる。（高1Aイ（ア㊦））・接客用語が使える。自分の役割が分かり、積極的に取り組むことができる。 ・校外学習（農場見学、地域へ野菜の提供）：（学・人）社会貢献に主体的・協働的に取り組む態度を育てる。（高1Aア（イ））・農家の栽培方法や流通の仕組みを知る。・主体的に他者の役に立とうとする気持ちを育む。				

令和8年度 高等部(美里高校分教室) 2年(Ⅱ課程A類型) 職業 トータルサービス 普通科 年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
4/140	2学年 15人	2学年担当	「ひとりだちするための進路学習」

目標：(知及技)知識及び技能(思判表力)思考力、判断力、表現力等(学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能(思・判・表)思考・判断・表現(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 将来の職業生活に係る実践的な技能を身に付けるようにすること。(高1段階) (思判表力) 将来の職業生活を見据え、自己の目標や課題を見いだし、工夫改善する力を養う。(高1段階) (学・人) よりよい社会生活を送るために協同する意識を高め、社会や他者のために貢献する喜びを体得すること。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	72	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高1Aア(ア)】 (知及技) ・作業の内容や作業手順を理解し、仲間と協力して取り組むことができる。【高1Aア(イ)】 (知及技) ・作業に必要な道具を大切にかつ安全に扱うことができる。【高1Aイ(ア)⑤】 ((思判表力) ・作業内容に見通しと目標を持ち、自己評価することができる。【高1Aア(ウ)】 (思判表力) ・校内・現場実習での成果と課題を考えることができる。【高1Cイ】 (思判表力) ・学期を振り返り自己の改善点を発表する【高1Aイ(イ)⑦】 (学・人) 役割を担い、責任を果たす意義や地域社会へ貢献することの充実感及び成就感を実感することができる。【高1Aア(イ)】	(知・技) ・職業の心得を唱和し内容を理解しようとしている。 (知及技) ・作業に意欲を示し、他者と協力して作業に取り組もうとしている。 (知及技) ・道具の名称と使用法がわかり大切に扱うことができる。 (思判表) ・作業日誌へ記入し、自己評価する。 (思判表) ・校内・現場実習内容や成果を振り返り、ワークシートにまとめることができる。 (思判表) ・1学期を振り返り、成果と次学期への課題を見つけることができる (学・人) 活動に関心を持ち、友達と協力して取り組もうとしている。	・職業について ・ビルメンテナンスの基本作業(自在ほうき、乾式モップ等) ・帳合い、校内外の美化活動 ・ベッドメイキング ・作業に必要な道具の安全な取り扱いについて ・毎時間の作業の振り返りと自己評価 ・校内・現場実習に関すること ・1学期のまとめ	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ることに場に応じた言葉遣いなど社会人としての基礎を理解し身につける。 (知及技) 帳合い作業、美化活動(除草、トイレ清掃、校舎内の清掃活動、福祉施設など公共施設等での清掃活動) (知及技) ・作業道具の名前(熊手、剪定はさみ、カマ、刈払機、掃除機、ホース、プロアー)を知り、安全に気をつけながら使用することができる。 ・フラットシーツの三角折りメイク・枕カバー、ふとんカバー等のベッドメイキングについて、一人やペアで行う方法を知り、実践する。 (主・学) ・実習日誌へ改善点、自己評価を記入する。 (思判表力) ・実習での取り組みを振り返りと課題を考えて発表することができる。 (思判表力) ・1学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しを持つ。
2 学期		(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高1Aア(ア)】 (知及技) ・作業の内容や作業手順を理解し、仲間と協力して取り組むことができる。【高1Aア(イ)】 (知及技) ・作業に必要な道具を大切にかつ安全に扱うことができる。【高1Aイ(ア)⑤】 (知及技) ・情報モラルについて理解し情報機器を扱うことができる【高1Bア】 (思判表力) ・作業内容に見通しと目標を持ち、自己評価することができる。【高1Aア(ウ)】 (思判表力) ・校内・現場実習での成果と課題を考えることができる。【高1Cイ】 (思判表力) ・学期を振り返り自己の改善点を発表する【高1Aイ(イ)⑦】 (学・人) 役割を担い、責任を果たす意義や地域社会へ貢献することの充実感及び成就感を実感することができる。【高1Aア(イ)】	(知・技) ・職業の心得を唱和し内容を理解しようとしている。 (知及技) ・作業に意欲を示し、他者と協力して作業に取り組もうとしている。 (知及技) ・道具の名称と使用法がわかり大切に扱うことができる。 (知及技) ・ワークシートを用いて情報モラルを理解しているか確認する。 (思判表) ・作業日誌へ記入し、自己評価する。 (思判表) ・校内・現場実習内容や成果を振り返り、ワークシートにまとめることができる。 (思判表) ・2学期を振り返り、成果と次学期への課題を見つけることができる (学・人) 活動に関心を持ち、友達と協力して取り組もうとしている。	・職業について ・ビルメンテナンスの基本作業(自在ほうき、乾式モップ等) ・帳合い、校内外の美化活動 ・ベッドメイキング ・作業に必要な道具の安全な取り扱いについて ・情報機器の活用 ・毎時間の作業の振り返りと自己評価 ・校内・現場実習に関すること ・2学期のまとめ	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ることに場に応じた言葉遣いなど社会人としての基礎を理解し身につける。 (知及技) 帳合い作業、美化活動(除草、トイレ清掃、校舎内の清掃活動、福祉施設など公共施設等での清掃活動) (知及技) ・作業道具の名前(熊手、剪定はさみ、カマ、刈払機、掃除機、ホース、プロアー)を知り、安全に気をつけながら使用することができる。 ・フラットシーツの三角折りメイク・枕カバー、ふとんカバー等のベッドメイキングについて、一人やペアで行う方法を知り、実践する。 (知及技) パソコンやiPadの基本的な操作を身につけるとともに、情報モラルについて学ぶ。 (主・学) ・実習日誌へ改善点、自己評価を記入する。 (思判表力) ・実習での取り組みを振り返りと課題を考えて発表することができる。 (思判表力) ・2学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しを持つ。

3 学 期	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高1Aア(ア)】 (知及技) ・作業の内容や作業手順を理解し、仲間と協力して取り組むことができる。【高1Aア(イ)】 (知及技) ・作業に必要な道具を大切にかつ安全に扱うことができる。【高1Aイ(ア)㊸】 (思判表力) ・作業内容に見通しと目標を持ち、自己評価することができる。【高1Aア(ウ)】 (思判表力) ・校内・現場実習での成果と課題を考えることができる。【高1Cイ】 (思判表力) ・学期を振り返り自己の改善点を発表する【高1Aイ(イ)㊹】】 (学・人) 役割を担い、責任を果たす意義や地域社会へ貢献することの充実感及び成就感を実感することができる。【高1Aア(イ)	(知・技) ・職業の心得を唱和し内容を理解しようとしている。 (知及技) ・作業に意欲を示し、他者と協力して作業に取り組もうとしている。 (知及技) ・道具の名称と使用法がわかり大切に扱うことができる。 (知及技) ・ワークシートを用いて情報モラルを理解しているか確認する。 (思判表) ・作業日誌へ記入し、自己評価する。 (思判表) ・校内・現場実習内容や成果を振り返り、ワークシートにまとめることができる。 (思判表) ・3学期を振り返り、成果と次学期への課題を見つけることができる (学・人) 活動に関心を持ち、友達と協力して取り組もうとしている。	・職業について ・ビルメンテナンスの基本作業 (自在ほうき、乾式モップ等) ・帳合い、校内外の美化活動 ・ベッドメイキング ・作業に必要な道具の安全な取り扱いについて ・毎時間の作業の振り返りと自己評価 ・3学期のまとめ	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ることに場に応じた言葉使いなど社会人としての基礎を理解し身につける。 (知及技) ・作業道具の名前（熊手、剪定はさみ、カマ、草刈り機、掃除機、ホース、フローアー）を知り安全に気をつけながら安全に使うことができる。 (知及技) ・実習の様子画像を取り込み、文章を添えてポスターを作成する。 (主・学) ・技能検定（ビルメンテナンス）の乾式モップ、モップ、机ふきの正確性を高める。 (思判表力) ・実習日誌へ改善点、自己評価を記入する。 (思判表力) ・3学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しを持つ。
留意点 引継ぎ等	【通年】 ・校内美化活動等：（知及技）自ら目標を設定し、その目標の手立てを講じたり、課題を解決しようとしたりする過程を通して、自分や他者との役割について考え、勤労の意義に対する理解を深めるとともに、他者と協力して目標を達成しようとする事ができる。（高1Aア（ア）） ・各種検定等：（知及技）使用する道具の特性や安全な使用方法を知り、検定などの課題を遂行するために効果的に使用することができる。（高1Aイ（ア）㊸） ・校外学習（施設見学、校外活動(洗車作業)）：（学・人）よりよい職業生活の実現や社会貢献に向けて、主体的・協働的に取り組む態度を養うことができる。（高1ウ）			

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
4/140	3学年 16人	3学年担当	「ひとりだちするための進路学習」

目標：(知及技)知識及び技能（思判表力)思考力、判断力、表現力等（学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能（思・判・表)思考・判断・表現（主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 職業に対する関心を高め、働く上で求められる事柄などについて理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付ける。（高2段階） (思判表力) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。（高2段階） (学・人)職業を通して地域社会へ積極的に参加し、学習を通して習得した知識や技能を実際的な場面において活用し、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。（高2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	48	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりへの理解を深める。【高2Aア（ア）】 ・目標を持って取り組み、その成果や自分や他者との役割及び他者と協力して取り組む。【高2Aア（イ）】 ・用具の特性や扱い方を知るとともに安全な取り扱いについて学ぶ。【高2イ（ア）エ】 ・情報モラルについて理解し情報機器の特性や機能㊦お理解し、目的に応じて適切に操作することができる【高2Bア】	(知・技) ・職業の心得を唱和して内容を理解し、意識して作業に取り組もうとしている。 ・作業に意欲を示し、他者と協力して作業に取り組もうとしている。 ・道具の名称と使用法がわかり大切に扱うことができる。 ・ワークシートを用いて情報モラルを理解しているか確認する。	・職業について ・作業に必要な道具の安全な取り扱いにしよう。 「ビルメンテナンスの基本作業」 （自在ほうき、乾式モップ等） 「校内外の美化活動」 「ベッドメイキング」	(知・技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ることに場に応じた言葉遣いなど社会人としての基礎を理解し身につける。 ・作業道具の名前・使い方（熊手、剪定はさみ、カマ、刈払機、掃除機、ホース、ブロアー、ダストクロス）を知り、安全に気をつけながら使用することができる。 ・美化活動（除草、トイレ清掃、校舎内の清掃活動、福祉施設など公共施設等での清掃活動）を行う。 ・フラットシーツの三角折りメイク・枕カバー、ふとんカバー等のベッドメイキングについて、一人やペアで行う方法を知り、実践する。
2学期	56	(思判表力) ・授業や学期を振り返って自己評価し、発表することができる。【高2Aア（イ）ウ】 (学・人) ・作業の意義を理解し皆と協力して作業を行うことの大切さを知る。【高2Aア（イ）】	(思判表力) ・作業日誌へ記入し、自己評価する。 (学・人) 活動に関心をもち、友達と協力して取り組もうとしている。	「洗車作業」 「オフィスアシスタント」	・洗車作業（車体洗浄・ワックスかけ・車内の拭き上げ掃除機かけ・窓拭き上げ）、清掃活動（室内清掃、トイレ清掃、地域の清掃活動）を行う。 ・書類の郵送準備や、届いた郵便の仕分けを想定して、作業を行う。 ・個数やグラム等を指示された商品をパッキングする。 ・ピッキングの練習を行い、商業施設等で日配や品出し、清掃活動を行う。
3学期	36			「前出し作業」 ・情報機器の活用 ・就業体験に関すること ・毎時間の作業の振り返りと自己評価	・パソコンやiPadの基本的な操作を身につけるとともに、情報モラルについて学ぶ。 ・文字入力、表計算、アンケート入力、伝票修正、帳票作成を行う。 (思・判・表) ・実習での取り組みを振り返りと課題を考えて発表することができる。 ・学習の振り返りを行うことで次への目標と見通しを持つ。 (主・学) ・実習日誌へ改善点、自己評価を記入する。
留意点 引継ぎ等		【通年】 ・校内美化活動等:自ら目標を設定し、その目標の手立てを講じたり、課題を解決しようとしたりする過程を通して、自分や他者との役割について考え、勤労の意義に対する理解を深めるとともに、他者と協力して目標を達成しようとするすることができる。 ・各種検定等：使用する道具の特性や安全な使用方法を知り、検定などの課題を遂行するために効果的に使用することができる。 ・校外学習（施設見学・実習）：よりよい職業生活の実現や社会貢献に向けて、主体的・協働的に取り組む態度を養うことができる。 ・デュアルシステム型実習で、「働きながら学ぶ、学びながら働く」ことにより、一人前の職業人を育て、学びながら仕事への実践的な知識や経験を養うことを目的とします。			

令和8年度 高等部(美里高校分教室) 2年(Ⅱ課程A類型) 職業 トータルサービス 普通科 年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
4/140	2学年 15人	2学年担当	「ひとりだちするための進路学習」

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 将来の職業生活に係る実践的な技能を身に付けるようにすること。(高1段階) (思判表力) 将来の職業生活を見据え、自己の目標や課題を見だし、工夫改善する力を養う。(高1段階) (学・人) よりよい社会生活を送るために協同する意識を高め、社会や他者のために貢献する喜びを体得すること。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規 準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	72	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高1Aア(ア)】 (知及技) ・作業の内容や作業手順を理解し、仲間と協力して取り組むことができる。【高1Aア(イ)】 (知及技) ・作業に必要な道具を大切にかつ安全に扱うことができる。【高1Aイ(イ)⑤】 (思判表力) ・作業内容に見通しと目標を持ち、自己評価することができる。【高1Aア(ウ)】 (思判表力) ・校内・現場実習での成果と課題を考えることができる。【高1Cイ】 (思判表力) ・学期を振り返り自己の改善点を発表する【高1Aイ(イ)⑦】 (学・人) 役割を担い、責任を果たす意義や地域社会へ貢献することの充実感及び成就感を感ずることができる。【高1Aア(イ)】	(知・技) ・職業の心得を唱和し内容を理解しようとしている。 (知及技) ・作業に意欲を示し、他者と協力して作業に取り組もうとしている。 (知及技) ・道具の名称と使用法がわかり大切に扱うことができる。 (思判表) ・作業日誌へ記入し、自己評価する。 (思判表) ・校内・現場実習内容や成果を振り返り、ワークシートにまとめることができる。 (思判表) ・1学期を振り返り、成果と次学期への課題を見つけることができる (学・人) 活動に関心を持ち、友達と協力して取り組もうとしている。	・職業について ・ビルメンテナンスの基本作業(自在ほうき、乾式モップ等) ・帳合い、校内外の美化活動 ・ベッドメイキング ・作業に必要な道具の安全な取り扱いについて ・毎時間の作業の振り返りと自己評価 ・校内・現場実習に関すること ・1学期のまとめ	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること場に応じた言葉遣いなど社会人としての基礎を理解し身につける。 (知及技) 帳合い作業、美化活動(除草、トイレ清掃、校舎内の清掃活動、福祉施設など公共施設等での清掃活動) (知及技) ・作業道具の名前(熊手、剪定はさみ、カマ、刈払機、掃除機、ホース、プロアー)を知り、安全に気をつけながら使用することができる。 ・フラットシーツの三角折りメイク・枕カバー、ふとんカバー等のベッドメイキングについて、一人やペアで行う方法を知り、実践する。 (主・学) ・実習日誌へ改善点、自己評価を記入する。 (思判表力) ・実習での取り組みを振り返りと課題を考えて発表することができる。 (思判表力) ・1学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しを持つ。
2 学期		(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高1Aア(ア)】 (知及技) ・作業の内容や作業手順を理解し、仲間と協力して取り組むことができる。【高1Aア(イ)】 (知及技) ・作業に必要な道具を大切にかつ安全に扱うことができる。【高1Aイ(イ)⑤】 (知及技) ・情報モラルについて理解し情報機器を扱うことができる【高1Bア】 (思判表力) ・作業内容に見通しと目標を持ち、自己評価することができる。【高1Aア(ウ)】 (思判表力) ・校内・現場実習での成果と課題を考えることができる。【高1Cイ】 (思判表力) ・学期を振り返り自己の改善点を発表する【高1Aイ(イ)⑦】 (学・人) 役割を担い、責任を果たす意義や地域社会へ貢献することの充実感及び成就感を感ずることができる。【高1Aア(イ)】	(知・技) ・職業の心得を唱和し内容を理解しようとしている。 (知及技) ・作業に意欲を示し、他者と協力して作業に取り組もうとしている。 (知及技) ・道具の名称と使用法がわかり大切に扱うことができる。 (知及技) ・ワークシートを用いて情報モラルを理解しているか確認する。 (思判表) ・作業日誌へ記入し、自己評価する。 (思判表) ・校内・現場実習内容や成果を振り返り、ワークシートにまとめることができる。 (思判表) ・2学期を振り返り、成果と次学期への課題を見つけることができる (学・人) 活動に関心を持ち、友達と協力して取り組もうとしている。	・職業について ・ビルメンテナンスの基本作業(自在ほうき、乾式モップ等) ・帳合い、校内外の美化活動 ・ベッドメイキング ・作業に必要な道具の安全な取り扱いについて ・情報機器の活用 ・毎時間の作業の振り返りと自己評価 ・校内・現場実習に関すること ・2学期のまとめ	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること場に応じた言葉遣いなど社会人としての基礎を理解し身につける。 (知及技) 帳合い作業、美化活動(除草、トイレ清掃、校舎内の清掃活動、福祉施設など公共施設等での清掃活動) (知及技) ・作業道具の名前(熊手、剪定はさみ、カマ、刈払機、掃除機、ホース、プロアー)を知り、安全に気をつけながら使用することができる。 ・フラットシーツの三角折りメイク・枕カバー、ふとんカバー等のベッドメイキングについて、一人やペアで行う方法を知り、実践する。 (知及技) パソコンやiPadの基本的な操作を身につけるとともに、情報モラルについて学ぶ。 (主・学) ・実習日誌へ改善点、自己評価を記入する。 (思判表力) ・実習での取り組みを振り返りと課題を考えて発表することができる。 (思判表力) ・2学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しを持つ。

3 学 期	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高1Aア(ア)】 (知及技) ・作業の内容や作業手順を理解し、仲間と協力して取り組むことができる。【高1Aア(イ)】 (知及技) ・作業に必要な道具を大切にかつ安全に扱うことができる。【高1Aイ(ア)⑤】 (思判表力) ・作業内容に見通しと目標を持ち、自己評価することができる。【高1Aア(ウ)】 (思判表力) ・校内・現場実習での成果と課題を考えることができる。【高1Cイ】 (思判表力) ・学期を振り返り自己の改善点を発表する【高1Aイ(イ)⑦】 (学・人) 役割を担い、責任を果たす意義や地域社会へ貢献することの充実感及び成就感を実感することができる。【高1Aア(イ)】	(知・技) ・職業の心得を唱和し内容を理解しようとしている。 (知及技) ・作業に意欲を示し、他者と協力して作業に取り組もうとしている。 (知及技) ・道具の名称と使用法がわかり大切に扱うことができる。 (知及技) ・ワークシートを用いて情報モラルを理解しているか確認する。 (思判表) ・作業日誌へ記入し、自己評価する。 (思判表) ・校内・現場実習内容や成果を振り返り、ワークシートにまとめることができる。 (思判表) ・3学期を振り返り、成果と次学期への課題を見つけることができる。 (学・人) 活動に関心を持ち、友達と協力して取り組もうとしている。	・職業について ・ビルメンテナンスの基本作業（自在ほうき、乾式モップ等） ・帳合い、校内外の美化活動 ・ベッドメイキング ・作業に必要な道具の安全な取り扱いについて ・毎時間の作業の振り返りと自己評価 ・3学期のまとめ	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること場に応じた言葉使いなど社会人のとしての基礎を理解し身につける。 (知及技) ・作業道具の名前（熊手、剪定はさみ、カマ、草刈り機、掃除機、ホース、フロアー）を知り安全に気をつけながら安全に使うことができる。 (知及技) ・実習の様子の画像を取り込み、文章を添えてポスターを作成する。 (主・学) ・技能検定（ビルメンテナンス）の乾式モップ、モップ、机ふきの正確性を高める。 (思判表力) ・実習日誌へ改善点、自己評価を記入する。 (思判表力) ・3学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しを持つ。
留意点 引継ぎ等	【通年】 ・校内美化活動等：（知及技）自ら目標を設定し、その目標の手立てを講じたり、課題を解決しようとしたりする過程を通して、自分や他者との役割について考え、勤労の意義に対する理解を深めるとともに、他者と協力して目標を達成しようとするすることができる。（高1Aア（ア）） ・各種検定等：（知及技）使用する道具の特性や安全な使用方法を知り、検定などの課題を遂行するために効果的に使用することができる。（高1Aイ（ア）⑤） ・校外学習（施設見学、校外活動（洗車作業））：（学・人）よりよい職業生活の実現や社会貢献に向けて、主体的・協働的に取り組む態度を養うことが出来る。（高1ウ）			

令和8年度 高等部(美里高校分教室)2年(Ⅱ課程A類型)流通・サービス年間指導計画

単位数／配当時数		生徒	担当者	教科書／副教材	
2／70		3 学年Ⅱ 課程A類型16名	3学年担当		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 職業に関する事項について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身につけるようにする。(高2段階) (思判表力)将来の職業生活を見据え、必要な事項を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価、改善し表現する力を養う。(高2段階) (学・人) よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。(高2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりへの理解を深める。【高2段階A職業生活ア勤労の意義(ア)】 ・販売業務内容の理解を深め、販売の手順や方法など、販売業務に関する技術を身につける。【高2段階A職業生活イ職業(ア)ア】 ・校内販売において、商品を丁寧に扱い、見栄えよく陳列することができる。と共、接客用語を使い、丁寧な接客を心掛けることができる。【高1段階A職業生活ア勤労の意義(ウ)】 (思判表力) ・自ら適切な目標や作業内容を見いだし、自己評価することができる。【高2段階A職業生活イ目標や成果・役割(ア)】 ・学期を振り返り自己の改善点を発表する【高1段階A職業生活イ職業(イ)㊦】 (学・人) 役割を担い、責任を果たす意義や地域社会へ貢献することの充実感及び成就感を実感することができる。【高1段階A職業生活ア勤労の意義(イ)】	(知・技) ・職業の心得を理解し内容を深めようとしている。 ・自ら身だしなみを整え、接客用語を適切な声量で唱和し、接客に生かそうとしている。 ・お客様の興味、関心が高まるように、売り場の雰囲気作りを工夫し、接客用語を使い、積極的に接客しようとしている。 (思判表) ・販売アンケートを実施し他者評価している。 ・作業日誌へ自ら考えた目標を記入し、自己評価している。 (学・人) 活動に関心を持ち、友達と協力して取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子・作業日誌	・職業について ・接客業の心構え ・作業に必要な道具の安全な取り扱いについて ・物流についての知識を広める ・校内販売	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること場に応じた言葉遣いなど社会人としての基礎を理解し身につける。 ・身だしなみや接客のポイント(身だしなみチェック表、7大接客用語、お辞儀の仕方等) ・作業道具の名前(バググシーラー、マルチラッパー等)が分かり、安全に気をつけながら使用することができる。 ・物流について興味を持ち社会における役割知る。 ・校内にて、野菜の販売を行う。 (思判表力) ・実習日誌へ改善点、自己評価を記入する。 (主学) ・実習での取り組みを振り返りと課題を考えて発表することができる。 ・1学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しを持つ。

2 学期	28	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりへの理解を深める。【高2段階A職業生活A勤労の意義(ア)】 ・喫茶サービスの手順がわかり、質問に応じた回答をすることが出来る、接客することができる。【高2段階A職業生活I職業(ア)】 (思判表力) ・顧客のニーズに応じた、商品を仕入れ、よりよいサービスの提供について考えることができる。【高1段階A職業生活I職業(ア)イ】 ・学期を振り返り自己の改善点を見だし発表できる【高2段階A職業生活I職業(イ)㉔】 (学・人) ・役割を担い、責任を果たす意義や地域社会へ貢献することの充実感及び成就感を実感することができる。【高1段階A職業生活A勤労の意義(イ)】	(知・技) ・職業の心得を唱和し内容を理解を深めようとしている。 ・接客の基礎・基本が分かり、接客用語を使ってオーダーを取り、お茶やコーヒーを出すことができる。 (思判表力) ・対象となる顧客を具体的にイメージし、製品を仕入れよりよいサービスを提供しようと工夫している。 ・1学期を振り返り、成果と次学期への課題を見つけることができる (学・人) - 活動に関心を持ち、友達と協力して取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子・作業日誌	・職業について ・接客業の心構え ・身だしなみについて ・基本的な接客用語と態度 ・お茶やコーヒーの出し方 ・本校職業班との連携 ・(窯業・木工班等からの仕入れ) ・作業に必要な道具の安全な取り扱いについて ・販売学習	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ることに応じた言葉遣いなど社会人としての基礎を理解し身につける。 ・身だしなみや接客のポイント(身だしなみチェック表、7大接客用語、お辞儀の仕方等) ・接客マナーを押さえたオーダーの取り方や、コーヒー等の出し方が分かり、実践することができる。 ・本校職業班の製品を把握し、仕入れを行い販売する。顧客の好みやニーズに関する調査を行い、次の販売時には、よりよいサービスの提供ができる。 (思判表力) ・実習での取り組みを振り返りと課題を考えて発表することができる。 (主学) ・2学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しを持つ。
3 学期	18	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりへの理解を深める。【高2段階A職業生活A勤労の意義(ア)】 ・販売業務の内容と特徴を理解するとともに、販売の手順や方法の理解を深め、販売業務に関する技術を身につける。【高2段階A職業生活I職業(ア)】 ・販売学習において、商品を丁寧に扱い、見栄えよく陳列することができると共に、接客用語を使い、丁寧な接客を心掛けることができる。【高1段階A職業生活A勤労の意義(ウ)】 ・ラッピングの意義が分かり、ラッピングの技術を身につけることができる。【高1段階A職業生活I職業(ア)ア】 (思判表力) ・自ら適切な目標や作業内容を見だし、自己評価することができる。【高2段階A職業生活I目標や成果・役割(ア)】 ・学期を振り返り自己の改善点を発表する【高1段階A職業生活I職業(イ)㉔】 (学・人) - 役割を担い、責任を果たす意義や地域社会へ貢献することの充実感及び成就感を実感することができる。【高1A(イ)】	(知・技) ・職業の心得を唱和し内容を理解を深めようとしている。 ・自ら身だしなみを整える意味を理解し、接客用語を適切な声量で唱和し、接客に生かそうとしている。 ・お客様の興味、関心が高まるように、売り場の雰囲気作りを工夫し、接客用語を使い、積極的に接客しようとしている。 ・ラッピングの仕方を覚え、丁寧に仕上げようと心掛けることができる。 (思判表) ・作業日誌へ自ら考えた目標を記入し、自己評価する。 ・1学期を振り返り、成果と次学期への課題を見つけることができる (学・人) - 活動に関心を持ち、友達と協力して取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子・作業日誌	・職業について ・接客業の心構え ・販売学習 ・キャラメル包み ・斜め包み	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ることに応じた言葉遣いなど社会人マナーの理解を深めている。 ・接客のポイント(7大接客用語、お辞儀の仕方等) (知及技) ・みさき市や校内にて、野菜の販売を行う。 ・ラッピングの意義を理解し、丁寧に作業することを意識しながら、基本的なラッピングをすることができる。 (主・学) ・実習日誌へ改善点、自己評価を記入する。 (思判表力) ・実習での取り組みを振り返りと課題を考えて発表することができる。 ・1学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しを持つ。
留意点 引継ぎ等		・通年を通して、校外での見学や体験学習を実施する。			

令和8年度 高等部（美里分教室） 1年（Ⅱ課程A類型） 家庭科 年間指導計画

単位数／配当時数		生徒	担当者	教科書／副教材	
2/70		1年Ⅱ課程・A類型① 8名 1年Ⅱ課程・A類型② 8名	家庭科	survive!!家庭基礎 (教育図書)	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力) 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。(高1段階) (学・人) 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技)自分の成長と家族や家庭生活との関わりがわかり、家庭生活が家族の協力によって営まれている事がわかる。(高1段階：A7(7)) (思判表力)家庭生活に必要なことや自分の果たす役割に気づき、それらを他者に表現することができる。(高1段階：A1(1)) (学・人)発達課題やライフステージに応じた課題と今できることを考え、よりよい生活を目指して実践することができる。(高1段階：A1(1))	(知・技)自分の成長に気づき、そこには家族や学校・地域社会など色々な人が関わっていることをわかってほしい。 (思・判・表)家庭の仕事について、自分の役割に気づき、実践発表しようとしている。 (主学)発達課題やライフステージに応じた課題や今できることを考え、生活に活かそうとしている。 [評価資料] ワークシート、活動の様子	【家族・家庭生活】 ・生涯の生活設計 ・自分の成長と家族 ・発達課題とライフステージ ・自立について	・自分のこれまで成長してきた過程を振り返り、自分の成長や生活が家族や家庭生活に支えられてきたことを確認する。 ・家庭内の様々な仕事を分類し、自分にできることを探す。 ・ライフステージに応じた発達課題を確認する。 ・自立の意味や自立の種類について学習し、自立するために今何ができるかを考える。
		(知及技)高齢者の生活の特徴、身体的特徴を理解することができる。(高2段階：A1(7)) (思判表力)高齢者とのよりよい関わり方について考え、工夫することができる。(高2段階：A1(1)) (学・人)高齢者と接するには通常とは異なる配慮が必要になることが分かり、適切に接しようとする事ができる。(高2段階：A1(1))	(知・技)高齢者の生活の特徴、身体的特徴を理解している。 (思・判・表)高齢者とのよりよい関わり方について考え、場面に応じた接し方ができる。 (主学)高齢者とよりよい交流ができるよう、接し方を考え工夫する姿勢が見られる。 [評価資料] ワークシート、活動の様子	【高齢期の生活と福祉】 ・高齢者をとりまく社会 ・高齢期の心身の変化 ・高齢期の健康 ・高齢者疑似体験 ・認知症について	・高齢期の身体的変化や精神的変化について、動画等を通して学習する。 ・高齢期の健康(食事)について学習し、介護食の試食を通してその特徴を確認する。 ・高齢者疑似体験キットを利用して、高齢者の不自由さを体験する。 ・車イスを使用する側、操作する側両方の体験をすることで、安心安全な操作について考える。 ・動画等を活用して認知症について学習し、よりよい対応について話あう。

2 学期	28	(知及技)場に応じた日常着の着方について理解することができる。(高1段階：B7(7)) (思判表力)日常着の着方について考え、気候や場に応じた衣服を選択することができる。(高1段階：B7(1)) (学・人)目的に応じた縫い方について考え、工夫することができる。(高1段階：BI(1))	(知・技)TP0に合った服装を理解し、選択している。 (思・判・表)気候にあわせて服装を選択し、実践している。 (主学)縫う部分や目的に応じた縫い方があることを理解し、よりよい仕上がりになるよう工夫し実践することができる。 [評価資料] ワークシート、活動の様子、制作物	【衣生活と健康】 ・衣服の機能 ・衣服の選択 ・布を用いた製作	・目的に応じた着用（活動内容・季節・TP0など）を理解する。 ・目的に応じた着用や個性を生かす着方がどのような印象を与えるか、お互いの考えを発表する。 ・裁縫道具やミシンの安全な取り扱い方法について理解する。 ・縫う部分や順番を考え、「名刺入れ」を作成する。
3 学期	18	(知及技)生活の中で食事が果たす役割について理解することができる。(高1段階：B7(7)) (思判表力)健康に良い食習慣について考え、工夫することができる。(高1段階：B7(1)) (学・人)食生活と健康について、課題に取り組んだり、改善したりして、自分や家庭の生活の充実向上を図るために実践することができる。(第1段階：BI(7))	(知・技)食品には栄養素が含まれていることがわかり、食事が体に与える影響について理解することができる。 (思・判・表)自分の食習慣を振り返り、課題を見つけ、栄養バランスを考えた食材選択をすることができる。 (主学)健康に良い食習慣について考え、学んだことを生活に生かそうとしている。 [評価資料] ワークシート、活動の様子	【食生活と健康】 ・食事の役割 ・栄養素の働き ・食品と栄養素 ・簡単な日常食の調理 ・食物アレルギー ・食中毒	・健康と食生活には密接な関係があることを確認する。(食事の役割) ・五大栄養素の働きや含まれる食品について確認する。 ・栄養バランスの良い献立について学習し、自分の食習慣の課題を考える。 ・食品衛生と安全管理について確認し、日常生活に潜む食の危険について話し合う。 ・調理器具の正しい取り扱いや調理室の使用法について理解する。 ・調理の工程を考えながら実習を行う。「おにぎらず・ピザトースト」
留意点 引継ぎ等		・調理実習は、美里高校と重ならないように時期を考慮し年間を通して行う。 ・被服実習は、調理実習と重ならないように時期を考慮して行う ・買い物学習は、感染症等の状況により時期を変更する可能性がある。			

令和8年度 高等部（美里高校分教室） 2年（Ⅱ課程A類型） 家庭科 年間指導計画

単位数／配当時数		生徒		担当者	教科書／副教材
2/70		2年Ⅱ課程・A類型① 8名 2年Ⅱ課程・A類型② 8名		家庭科	survive!!家庭基礎 (教育図書)
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力) 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。(高1段階) (学・人) 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技)生活の中で食事が果たす役割について理解することができる。(高1段階：B7(ア)) (思判表力)健康に良い食習慣について考え、工夫することができる。(高1段階：B7(イ)) (学・人)食生活と健康について、課題に取り組んだり、改善したりして、自分や家庭の生活の充実向上を図るために実践することができる。(第1段階：B1(ア))	(知・技)朝食の重要性がわかり、朝食の欠食が体に与える影響について理解することができる。 (思・判・表)自分の食習慣を振り返り、課題を見つけ、栄養バランスを考えた食材選択や組み合わせをすることができる。 (主学)健康に良い食習慣について考え、学んだことを生活に生かそうとしている。 [評価資料] ワークシート、活動の様子	【食生活と健康】 ・朝食の役割 ・一日を通した栄養バランス ・様々な加工食品 ・簡単な日常食の調理	・健康と食生活には密接な関係があることを確認する。(朝食の重要性) ・五大栄養素の働きや含まれる食品について確認する。 ・栄養バランスの良い献立について学習し、インスタント食品等を活用した献立の工夫について話し合う。 ・食品衛生と安全管理について確認し、日常生活に潜む食の危険について話し合う。(調理実習時の注意) ・調理器具の正しい取り扱いや調理室の使用法について理解する。 ・調理の工程を考えながら実習を行う。「インスタント食品を活用したメニュー」
2 学期	28	(知及技)衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解することができる。(高2段階：B7(ア)) (思判表力)衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて考え、工夫することができる。(高2段階：B7(イ)) (学・人)布を用いた製作計画を考え、製作を工夫して行う事ができる。(高2段階：B1(イ))	(知・技)衣服の材料や状態に応じた手入れについて理解し、実践している。 (思・判・表)衣服の材料や状態に応じて適切な手入れの方法を考え、実践している。 (主学)用途や個性に応じた作品を製作している。 [評価資料] ワークシート、活動の様子、製作物	【衣生活と健康】 ・衣服の機能 ・衣服の素材 ・衣服の表示 ・衣服の洗濯と保管 ・布を用いた製作	・衣服には様々な機能があることを理解する。 ・ライフステージによって着用する衣服の形や素材、目的が変化することを知る。 ・繊維の種類と特徴を知り、場面に応じた衣服について考える。 ・洗濯絵表示の種類や意味について学習し、適切な洗濯(手洗い、しみ抜き、洗濯機洗い、洗剤の選択など)や管理方法を理解する。 ・裁縫道具やミシンの安全な取り扱い方法について理解する。 ・縫う部分や順番を考え「布小物(巾着等)」を製作する。

		(知及技)乳幼児の生活の特徴や関わり方について理解することができる。(高2段階: AI(7)) (思判表力)(学・人)乳幼児とのよりよい関わり方について考え、工夫することができる。(高2段階: AI(1))	(知・技)乳幼児の生活や遊びは、発達や月齢とともに変化することを理解することができる。 (思・判・表)乳幼児の発達や月齢に応じた食事(栄養)について知り、健康を保つ方法を考え発表することができる。(主学)沐浴実習を通して、乳幼児との安全な触れ合い方や産み育てることについて想像し、考えることができる。 [評価資料] ワークシート、活動の様子	【子どもの生活と保育】 ・発達と発達 ・乳幼児の生活と遊び ・乳幼児の健康 ・子どもを取り巻く問題 ・沐浴実習	・胎児から幼児にかけての身体の発達と生理的特徴について理解する。 ・発達段階に応じた適切な関わり(生活やあそび)について、話し合う。 ・子どもの食事(栄養)や衣服について学習し、健康を保つ方法を考え、発表する。 ・現代の子どもを取り巻く問題や権利と福祉について理解する。 ・沐浴人形を利用した実習を通して、適切なふれあいについて考える。
3 学期	18	(知及技)売買契約の仕組み、購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の重要性を理解することができる。(高1段階: C7(7)) (思判表力)消費者被害の背景と対応について理解し、商品やサービスの選択に必要な情報の収集・整理ができる。(高1段階: C7(1)) (学・人)身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある消費行動を考え、表現することができる。(高1段階: C1(1))	(知・技)18歳成人に向けて学び、販売方法や支払い方法が多様化する中で責任ある消費行動が取れるよう、契約の重要性について理解することができる。 (思・判・表)さまざまな消費者被害について知り、被害にあわないための行動を考えることができる。消費者被害の相談機関についての情報を収集することができる。 (主学)自立した消費者になるためには、どう行動すればいいか考え、実践しようとする。 [評価資料] ワークシート、活動の様子	【消費生活】 ・18歳成人 ・契約 ・様々な支払方法 ・消費者トラブル	・身近な契約について確認し、18歳成人でできること、成人以降の契約には法的な拘束力があることを理解する。 ・様々な支払い方法があることを学習し、生活のあらゆる場面での活用を考える。 ・クーリングオフ制度や消費生活センターについて確認する。 ・消費者トラブルの種類や対処法名を調べ、発表する。
留意点 引継ぎ等		・調理実習は、美里高校と重ならないように時期を考慮し年間を通して行う。 ・被服実習は、調理実習と重ならないように時期を考慮して行う。 ・買い物学習は、感染症等の状況により時期を変更する可能性がある。			

令和8年度 高等部（美里分教室） 3年（Ⅱ課程A類型） 家庭科 年間指導計画

単位数／配当時数		生徒		担当者	教科書／副教材
2/70		3年Ⅱ課程・A類型① 8名 3年Ⅱ課程・A類型② 8名		家庭科	survive!!家庭基礎 (教育図書)
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(高2段階) (思判表力) 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。(高2段階) (学・人) 家族や地域の人々との関わりを通して、家族の一員としてよりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(高2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) 自分に必要な栄養素の種類と働きがわかる。(高2段階：B7(ア)) (思判表力) 一日の献立について考え、工夫することができる。(高2段階：B7(イ)) (学・人) 食生活と健康について、課題に取り組んだり、改善したりして、自分や家庭の生活の充実向上を図るために実践することができる。(第1段階：B1(ア))	(知・技) 健康な生活には、栄養バランスの良い食事が不可欠であることを理解することができる。 (思・判・表) これまでの食習慣の課題を見つけ、栄養バランスを考えたメニューを組み合わせで献立を立てることができる。 (主学) 健康に良い食習慣について考え、学んだことを生活に生かそうとしている。 [評価資料] ワークシート、活動の様子	【食生活と健康】 ・食事摂取基準 ・ライフステージと食事 ・日本、世界、沖縄の食文化(行事食) ・簡単な日常食の調理	・日本人の食事摂取基準をもとに、自分の年代に必要な各種栄養素の種類や量を理解する。 ・健康と食生活には密接な関係があることを確認する。(献立：一汁三菜) ・五大栄養素の働きや含まれる食品について確認する。 ・食品衛生と安全管理について確認し、日常生活に潜む食の危険について話し合う。(調理実習時の注意) ・調理器具の正しい取り扱いや調理室の使用方法について理解する。 ・調理の工程を考えながら実習を行う。「様々な様式の献立」
		(知及技) 家族の生活と住空間との関わりがわかり、住居の基本的な機能について理解することができる。(高2段階：B8(ア)) (思判表力) (学・人) 家族の安全や快適さを考えた住空間の整え方について考え、工夫することができる。(高2段階：B8(イ))	(知・技) 住居の基本的な機能について理解することができる。 (思・判・表) 家族の安全や快適さを考えた住空間について考え、危険な場所に気づき、まとめることができる。 (主学) 地域のルールや災害時の住居内の備えについて考え、実践しようとする。 [評価資料] ワークシート、活動の様子	【住生活と健康】 ・安全で快適な住まい ・住居の清掃 ・平面図 ・家族と住まう ・地域と住まう ・災害時の備え	・暮らしと空間の関係性や住まいの機能について確認する。 ・快適で衛生的な住まいを保つための清掃方法や手順について考える。 ・家族の構成と住空間について話し合い、理想の平面図を選ぶことができる。 ・家庭内事故の発生場所や事例について動画を活用して学習し、対策法について話し合う。 ・地域のルールや災害時の行動・備えについて検索し、適切な行動を考え、発表する。

2 学期	28	(知・技)衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し実践することができる。(高2段階: B7(ア)) (思・判・表)衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて考え、工夫することができる。(高2段階: B7(イ)) (学・人)布を用いた製作計画を考え、製作を工夫して行う事ができる。(高2段階: B1(イ))	(知・技)衣服の材料や状態に応じた手入れについて理解し実践している。 (思・判・表)衣服の材料や状態に応じて適切な手入れの方法を考え、実践している。 (主学)用途や個性に応じた作品を製作している。 [評価資料] ワークシート、活動の様子、製作物	【衣生活と健康】 ・衣服の素材 ・衣服の修理 ・衣服の再利用 ・布を用いた製作	・衣服を構成する繊維の種類と特徴を知り、場面に応じた素材の衣服について考える。 ・ボタン付けやすさやあげなどの簡単な衣服の修理法や素材に応じた適切な手入れについて考える。 ・裁縫道具やミシンの安全な取り扱い方法について理解する。 ・縫う部分や順番を考え、「衣服のリメイク」
	18	(知・技)購入方法や支払い方法の特徴がわかり、計画的な金銭管理の必要性について理解する。(高2段階: C7(ア)⑦) (思・判・表)売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対策について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理ができる。(高1段階: C7(ア)④) (学・人)身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある消費行動を考え、工夫することができる。(高2段階: C1(イ))	(知・技)適切な金銭の管理(収入と支出、やりくり)について理解することができる。 (思・判・表)契約のタイミングやその解消、生活とお金について情報を収集し、整理することができる。 (主学)持続可能な社会の実現のため、自分はどんな行動ができるかを考え、日常生活の中で実践しようとする。 [評価資料] ワークシート、活動の様子	【消費生活】 ・計画的な消費生活 ・金銭管理 ・一人暮らし ・雇用形態 ・消費者の基本的な権利と責任	・生活するうえで必要な支出について考え、計画的な管理の必要性(やりくり)について理解する。 ・様々な売買契約の仕組みや消費者の権利について理解し、一人暮らしを想定した様々なトラブルとその解決について考える。 ・クレジットカードの仕組みや様々な支払方法について学習し、適切な利用を考える。 ・SDGsの目標やエシカルマーク、企業が取り組むSDGsについて調べ、自分にできることを話し合い、発表する。
留意点 引継ぎ等		・調理実習は、美里高校と時期を考慮し年間を通して行う。 ・被服実習は、調理実習と重ならないように時期を考慮して行う。 ・買い物学習は、感染症等の状況により時期を変更する可能性がある。			

令和 8 年度 美里分教室 1 年（ II 課程 A 類型 ） 特別の教科 道徳 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	美里分教室1年 II 課程A類型 17名	1 学年担当	新訂 新しい道徳 3

年間目標		(A：自分自身に関する事) 望ましい生活習慣を身に付け、自主・自律の精神を重んじ、責任ある行動をする態度を養う。 (B：人との関わりに関する事) 礼儀正しく、思いやりをもって人と接するとともに、広い心をもって異なる意見や立場を尊重し、経験を通して人間関係を築いていく態度を養う。 (C：集団や社会との関わりに関する事) 法やきまりの意義を理解し、社会の一員として働くことや社会参加することの充実感を味わう態度を養う。 (D：生命や自然、崇高な物との関わり) 自然の偉大さやかけがえのない生命の尊さを理解し人間として生きる喜びを感じる心を育てる。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	・今の自分自身を見つめて、自分を知り、みんなに紹介することができる。【自分・人】	○今の自分を見つめて	・「道徳ファイル」を作成し活用する。 ・名前や特技、好きな食べ物など自分のことを、相手に知ってもらう。
	5	・働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役立つことをすることができる。【自分・集団や社会】	○自分の役割と責任 ○勤労や奉仕を通して	・集団の役割を知り、自分の果たしている役割について考える。 ・校内・現場実習の体験を通して、働くことについて考える。
	5	・生命の尊さを知り、命あるものを大切にすることができる。【生命や自然】 ・時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接することができる。【人】	○命あるものを大切に（慰霊の日にむけて）〈校外学習〉 ○礼儀正しく真心をもって	・沖縄戦の資料などを通して命の大切さや尊さについて考える。 ・伝統的な礼儀作法や日常的な礼儀作法について学び、相手に心を伝える作法について考える。
2 学期	7	・より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもあきらめずに努力することができる。【自分】	○希望と勇気をもってくじけずに ○短所を改め、長所を伸ばして	・偉人のエピソードから、目標を持って一步一步努力していくことの大切さについて考える。 ・自分の長所短所について考え、自分らしさや個性を発揮するにはどうすればよいか考える。
	7	・家族の幸せをもとめて、進んで家族の役に立とうとすることができる。【集団・人】 ・自分の郷土の伝統と文化にふれ、郷土を愛する心を持つことができる。【集団・生命自然】	○家族の幸せをもとめて ○郷土を愛する心	・家族のよさについて考えて、家庭の中で自分ができることを考える。 ・沖縄の文化や自然にふれる。
3 学期	3	・先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力しあって、よりよい学級や学校にするために、進んで行動することができる。【人・集団】	○よりよい校風をもとめて	・学校の良いところをみんなで話し合い、よりよくするためにはどうすれば良いのか、考える。
	6	・自律的に判断し、責任のある行動をすることができる。【自分】 ・自分の行動や学習を振り返ることができる。【自分】	○自律的で責任ある行動を ○振り返り 「心の木大きくなったかな」	・自由について考えを深め、自由だからそ気をつけるべきことは何かを考える。 ・自分の行動を振り返る。授業態度や生活態度、言葉遣いや人間関係など。
留意点 引継ぎ等				

令和8年度 美里分教室 2年（Ⅱ課程 A類型）特別の教科 道徳 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
35	美里分教室2年 Ⅱ課程A類型 16名	2学年担当	新訂 新しい道徳 3

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(A：自分自身に関する事) 望ましい生活習慣を身に付け、自主・自律の精神を重んじ、責任ある行動をする態度を養う。 (B：人との関わりに関する事) 礼儀正しく、思いやりをもって人と接するとともに、広い心をもって異なる意見や立場を尊重し、経験を通して人間関係を築いていく態度を養う。 (C：集団や社会との関わりに関する事) 法やきまりの意義を理解し、社会の一員として働くことや社会参加することの充実感を味わう態度を養う。 (D：生命や自然、崇高な物との関わり) 自然の偉大さやかけがえのない生命の尊さを理解し人間として生きる喜びを感じる心を育てる。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	・今の自分自身を見つめて、自分を知り、みんなに紹介することができる。【自分・人】	○今の自分を見つめて	・「道徳ファイル」を作成し活用する。 ・名前や特技、好きな食べ物など自分のことを、相手に知ってもらう。
		・働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役立つことをすることができる。【自分・集団や社会】	○自分の役割と責任 ○勤労や奉仕を通して	・集団の役割を知り、自分の果たしている役割について考える。 ・校内・現場実習の体験を通して、働くことについて考える。
		・生命の尊さを知り、命あるものを大切にすることができる。【生命や自然】	○命あるものを大切に（慰霊の日にむけて）	・沖縄戦の資料などを通して命の大切さや尊さについて考える。
		・時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接することができる。【人】	○礼儀正しく真心をもって	・伝統的な礼儀作法や日常的な礼儀作法について学び、相手に心を伝える作法について考える。
2学期	14	・より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもあきらめずに努力することができる。【自分】	○希望と勇気をもってくじけずに ○短所を改め、長所を伸ばして	・偉人のエピソードから、目標を持って一步一步努力していくことの大切さについて考える。 ・自分の長所短所について考え、自分らしさや個性を発揮するにはどうすればよいか考える。
		・家族の幸せをもとめて、進んで家族の役に立とうとすることができる。【集団・人】	○家族の幸せをもとめて	・家族のよさについて考えて、家庭の中で自分ができることを考える。
		・自分の郷土の伝統と文化にふれ、郷土を愛する心を持つことができる。【集団・生命自然】	○郷土を愛する心	・沖縄の文化や自然にふれる。
		・社会に奉仕することの意義を理解し、公共のために役立つことをすることができる。【集団・社会】	○公共のために役立つこと	・自分のなりたい職業ややってみたいボランティアについて考える。
		・法やきまりの意義を理解し、進んでそれらを守り、自他の権利を大切にしようとするすることができる。【集団社会・人】	○法や決まりを守って	・社会にあるマナーやきまりについて確認し、なぜ守らなければいけないのかを考える。
		・自由の大切さを理解し、自他の自由を尊重し、規律ある行動ができる。【人・集団社会】	○自由と自分勝手	・修学旅行に向けて、集団行動の大切さを考え、自分たちの楽しみが他の人に迷惑になっていないかを気づかせる。
		・①自分や異性の体と心の変化について理解できる。【自分・人】	○思春期の体と心の変化	・男女それぞれの体と心の変化について理解し、相手のことを考える。
3学期	9	・②自分や異性の体と心の変化について理解できる。【自分・人】	○思春期の体と心の変化 ○性とう向き合うか	・性に対して適切な意思決定や行動選択ができるようにする。
		・友達と信頼し学び合って友情を深め、人間関係を築いていくことができる。【人・集団】	○互いに信頼し学び合う	・友達との付き合い方について何を大事にしたいかを考える。
		・先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力しあって、よりよい学級や学校にするために、進んで行動することができる。【人・集団】	○よりよい校風をもとめて	・学校の良いところをみんなで話し合い、よりよくするためにはどうすれば良いのか、考える。
		・自律的に判断し、責任のある行動をすることができる。【自分】 ・自分の行動や学習を振り返ることができる。【自分】	○自律的で責任ある行動を ○振り返り 「心の木が大きくなったかな」	・自由について考えを深め、自由だからそ気をつけるべきことは何かを考える。 ・自分の行動を振り返る。授業態度や生活態度、言葉遣いや人間関係など。
留意点 引継ぎ等		○校外学習（校外活動）：校外での見学や体験学習を実施する。		

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	美里分教室3年 Ⅱ課程A類型 16名	3学年担当	新訂 新しい道徳 3

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(A：自分自身に関する事) 望ましい生活習慣を身に付け、自主・自律の精神を重んじ、責任ある行動をする態度を養う。 (B：人との関わりに関する事) 礼儀正しく、思いやりをもって人と接するとともに、広い心をもって異なる意見や立場を尊重し、経験を通して人間関係を築いていく態度を養う。 (C:集団や社会との関わりに関する事) 法やきまりの意義を理解し、社会の一員として働くことや社会参加することの充実感を味わう態度を養う。 (D:生命や自然、崇高な物との関わり) 自然の偉大さやかけがえのない生命の尊さを理解し人間として生きる喜びを感じる心を育てる。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	・今の自分自身を見つめて、自分を知り、みんなに紹介することができる。【自分・人】	○今の自分を見つめて	・「道徳ファイル」を作成し活用する。 ・名前や特技、好きな食べ物など自分のことを、相手に知ってもらう。
		・働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役立つことをすることができる。【自分・集団や社会】	○自分の役割と責任 ○勤労や奉仕を通して	・集団の役割を知り、自分の果たしている役割について考える。 ・校内・現場実習の体験を通して、働くことについて考える。
		・生命の尊さを知り、命あるものを大切にすることができる。【生命や自然】	○命あるものを大切に（慰霊の日にむけて）	・沖縄戦の資料などを通して命の大切さや尊さについて考える。
		・時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接することができる。【人】	○礼儀正しく真心をもって	・伝統的な礼儀作法や日常的な礼儀作法について学び、相手に心を伝える作法について考える。
2学期	14	・より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもあきらめずに努力することができる。【自分】	○希望と勇気をもってくじけずに ○短所を改め、長所を伸ばして	・偉人のエピソードから、目標を持って一步一步努力していくことの大切さについて考える。 ・自分の長所短所について考え、自分らしさや個性を発揮するにはどうすればよいか考える。
		・家族の幸せをもとめて、進んで家族の役に立とうとすることができる。【集団・人】	○家族の幸せをもとめて	・家族のよさについて考えて、家庭の中で自分ができることを考える。
		・自分の郷土の伝統と文化にふれ、郷土を愛する心を持つことができる。【集団・生命自然】	○郷土を愛する心	・沖縄の文化や自然にふれる。
		・社会に奉仕することの意義を理解し、公共のために役立つことをすることができる。【集団・社会】	○公共のために役立つこと	・自分のなりたい職業ややってみたいボランティアについて考える。
		・法やきまりの意義を理解し、進んでそれらを守り、自他の権利を大切にしようとする事ができる。【集団社会・人】	○法や決まりを守って	・社会にあるマナーやきまりについて確認し、なぜ守らなければいけないのかを考える。
		・自由の大切さを理解し、自他の自由を尊重し、規律ある行動ができる。【人・集団社会】	○自由と自分勝手	・集団行動の大切さを考え、自分たちの楽しみが他の人の迷惑になっていないかを考える。
		・①自分や異性の体と心の変化について理解できる。【自分・人】	○思春期の体と心の変化	・男女それぞれの体と心の変化について理解し、相手のことを考える。
3学期	9	・②自分や異性の体と心の変化について理解できる。【自分・人】	○思春期の体と心の変化 ○性はどう向き合うか	・性に対して適切な意思決定や行動選択ができるようにする。
		・友達と信頼し学び合って友情を深め、人間関係を築いていくことができる。【人・集団】	○互いに信頼し学び合う	・友達との付き合い方について何を大事にしたいかを考える。
		・先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力しあって、よりよい学級や学校にするために、進んで行動することができる。【人・集団】	○よりよい校風をもとめて	・学校の良いところをみんなで話し合い、よりよくするためにはどうすれば良いのかを考える。
		・自律的に判断し、責任のある行動をすることができる。【自分】 ・自分の行動や学習を振り返ることができる。【自分】	○自律的で責任ある行動を ○振り返り 「心の木大きくなったかな」	・自由について考えを深め、自由だからこそ気をつけるべきことは何かを考える。 ・授業態度や生活態度、言葉遣いや人間関係など。 ・自分の行動を振り返る。
留意点 引継ぎ等		・年間を通して、校外での見学や体験学習を実施する。		

単位数 ／配当時数		生徒		担当者	教科書／副教材
1 単位 (3 5 時 間)		美里分教室1年 Ⅱ 課程A類型 17名		1学年担当	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 体験活動を通して、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、主体的かつ創意工夫を生かした取り組みができる。 (思判表力) 体験活動を通して、実生活や実社会と自己との関わりから課題を見だし、課題に向き合おうとすることができる。 また、活動内容をまとめ、場面に応じて表現することができる。 (学・人) 体験活動を通して、主体的・協働的に取り組むとともに、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようすることができる。			
学期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) 実習の目的について理解し、内容の確認を行い見通しをもって取り組むことができる。 (思判表力) 実習を振り返って自己評価を行い、発表することができる。 (学・人) 仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことができる。	(知・技) 働く上で大切なことを理解しようとし、具体的な見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 実習を振り返り、自己の目標や課題が達成できたかどうか理由を添えてまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○前期実習 事前学習 ○前期実習 事後学習	○動画やパワーポイントなどの視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○実習における約束事と、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○動画やパワーポイントなどの視覚教材を活用して、実習での活動を振り返る。 ○各自の実習中の活動について、自己評価する。
2 学期	14	(知及技) 実習の目的について理解し、内容の確認を行い見通しをもって取り組むことができる。 (思判表力) 前期実習での反省点を踏まえながら後期実習を振り返って自己評価を行い、発表することができる。 (学・人) 仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことができる。	(知・技) 働く上で大切なことを理解しようとし、具体的な見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 前期実習での反省点を踏まえながら、後期実習を振り返り、自己の目標や課題が達成できたかどうか理由を添えてまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○後期実習 事前学習 ○後期実習 事後学習 ○卒業生講話	○動画やパワーポイントなどの視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○実習における約束事と、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○動画やパワーポイントなどの視覚教材を活用して、実習での活動を振り返る。 ○各自の実習中の活動について、自己評価する。 ○美咲の卒業生による仕事や余暇についての話を聞き、働く意義や将来の姿をイメージする。
3 学期	9	(知及技) 就労の意義を知ることができる。 (思判表力) 自分の進路先や興味のある仕事分野について考えることができる。 (学・人) 仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことができる。	(知・技) 就労の意義が「生計の維持」「社会貢献」「個性の発揮」など多義的であることを知ろうとしている。 (思・判・表) 自分の進路や興味のある仕事分野について調べている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○進路学習 ○校外学習	○就労について学ぶ。 ○動画やパワーポイントなどの視覚教材を活用する。 ○他の生徒の発表や自分の発表を振り返って評価する。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 美里分教室 2年（Ⅱ課程 A類型） 総合的な探究の時間 年間指導計画

単位数 ／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
1 単位 (35時間)	美里分教室2年 Ⅱ課程A類型 16名	2学年担当	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 体験活動を通して、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、主体的かつ創意工夫を生かした取り組みができる。 (思判表力) 体験活動を通して、実生活や実社会と自己との関わりから課題を見だし、課題に向き合おうとすることができる。また、活動内容をまとめ、場面に応じて表現することができる。 (学・人) 体験活動を通して、主体的・協働的に取り組むとともに、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする事ができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) 実習の目的について理解し、内容の確認を行い見通しをもって取り組むことができる。 (思判表力) 実習を振り返って自己評価を行い、発表することができる。 (学・人) 仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことができる。	(知・技) 働く上で大切なことを理解しようとし、具体的な見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 実習を振り返り、自己の目標や課題が達成できたかどうか理由を添えてまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○前期実習 事前学習 ○前期実習 事後学習	○動画やパワーポイントなどの視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○実習における約束事と、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○動画やパワーポイントなどの視覚教材を活用して、実習での活動を振り返る。 ○各自の実習中の活動について、自己評価する。
2 学期	14	(知及技) 実習の目的について理解し、内容の確認を行い見通しをもって取り組むことができる。 (思判表力) 前期実習での反省点を踏まえながら後期実習を振り返って自己評価を行い、発表することができる。 (学・人) 仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことができる。	(知・技) 働く上で大切なことを理解しようとし、具体的な見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 前期実習での反省点を踏まえながら、後期実習を振り返り、自己の目標や課題が達成できたかどうか理由を添えてまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○後期実習 事前学習 ○後期実習 事後学習 ○卒業生講話	○動画やパワーポイントなどの視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○実習における約束事と、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○動画やパワーポイントなどの視覚教材を活用して、実習での活動を振り返る。 ○各自の実習中の活動について、自己評価する。 ○美咲の卒業生による仕事や余暇についての話を聞き、働く意義や将来の姿をイメージする。

3 学期	9	(知及技) 就労の意義や興味関心を深めることができる。 (思判表力) 自分の進路先や興味関心のある仕事分野について考えることができる。 (学・人) 仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことができる。	(知・技) 就労の意義が「生計の維持」「社会貢献」「個性の発揮」などについて興味関心を深めることができる。 (思・判・表) 自分の進路や興味関心のある仕事分野について調べている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○進路学習 ○校外学習	○就労について学ぶ。 ○動画やパワーポイントなどの視覚教材を活用する。 ○他の生徒の発表や自分の発表を振り返って評価する。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 美里分教室 3年（Ⅱ課程 A類型） 総合的な探究の時間 年間指導計画

単位数 ／配当時数		生徒		担当者	教科書／副教材
1/35		美里分教室3年 Ⅱ課程A類型 16名		3学年担当	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 就業体験などの体験活動を通して、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思判表力) 体験活動を通して、実生活や実社会と自己との関わりから課題を見だし、課題に向き合おうとすることができる。また、活動内容をまとめ、場面に応じて表現することができる。 (学・人) 体験活動に主体的・協働的に取り組むとともに、集団の中で話し合い課題を解決する力や能力を身につけることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) 実習の目的について理解し、内容や役割などを確認し、見通しをもって取り組むことができる。 (思判表力)働く意義や、働くために必要な力は何か考えることができる。また、実習を振り返り、自己の目標や課題が達成できたかどうか理由を添えてまとめ、発表することができる。 (学・人)勤労の意義を理解し、皆と協力し、意欲的に活動に取り組むことができる。	(知・技) 実習の目的・内容・役割などについて理解し、働く上で大切なことを理解して見通しをもって取り組んでいる。 (思・判・表)働く意義や、働くために必要な力は何か考えて実習に取り組み、実習後の振り返りでは、自己の目標や課題を達成できたかどうか具体的にまとめ、発表しようとしている。 (主学)働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。	○前期就業体験の事前学習 ○前期就業体験の事後学習	○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○実習における約束事を確認し、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習での活動内容を振り返る。 ○各自の実習中の活動内容について自己評価し、後期に向けた目標をもつ。
2 学期	14	(知及技) 実習の目的について理解し、内容や役割などを確認し、見通しをもって取り組むことができる。 (思判表力)働く意義や、働くために必要な力は何か考えることができる。また、実習を振り返り、自己の目標や課題が達成できたかどうか理由を添えてまとめ、発表することができる。 (学・人)勤労の意義を理解し、皆と協力し、意欲的に活動に取り組むことができる。	(知・技) 実習の目的・内容・役割などについて理解し、働く上で大切なことを理解して見通しをもって取り組んでいる。 (思・判・表)働く意義や、働くために必要な力は何か考えて実習に取り組み、実習後の振り返りでは、自己の目標や課題を達成できたかどうか具体的にまとめ、発表しようとしている。 (主学)働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。	○後期就業体験の事前学習 ○後期就業体験の事後学習	○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○実習における約束事を確認し、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習での活動内容を振り返る。 ○各自の実習中の活動内容について自己評価し、今後の目標をもつ。
3 学期	9	(知及技) 就労の意義を理解することができる。 (思判表力) 自分の進路先や興味のある仕事分野について考えることができる。 (学・人) 仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことができる。	(知・技) 就労の意義が「生計の維持」「社会貢献」「個性の発揮」など多義的であることを理解しようとしている。 (思・判・表) 自分の進路や興味のある仕事分野について調べている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○進路学習 ○校外学習	○就労について学ぶ。 ○動画やパワーポイントなどの視覚教材を活用する。 ○他の生徒の発表や自分の発表を振り返って評価する。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 美里分教室 1年（Ⅱ課程A類型）特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	生徒	担当者	教科書／副教材
35	美里分教室1年 Ⅱ課程A類型 17名	1学年担当	

目標：(知及技)知識及び技能（思判表力)思考力、判断力、表現力等（学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能（思・判・表)思考・判断・表現（主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力) 集団や事故の生活、人間関係の課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。		
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期		(学・人) ・体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深める。 (知及技) ・健全な発達や健康の維持を目指す。 (学・人) ・集団活動の役割や意義を理解し、教師と生徒、生徒相互の人間的な触れ合いを通して人間関係を築こうとする。 (思判表力) ・生徒同士協力して学校生活の充実と向上を目指し、実践的に活動して資質・能力の向上を目指す。 (知及技) (学・人) ・防災についての理解を深めて、実践的な対応力を身に付ける。 (学・人) ・集団行動や共同生活の体験を通して望ましい態度や習慣を身に付け、ルールやマナーを学ぶことができる。 ・学習や活動を振り返り、自己の成長に気づき、自己評価を行い、目標を立てるなどして、進路選択につなげることができる。 (知及び技、思判表力、学・人)	・始業式・終業式 ・身体測定 ・新入生歓迎球技大会 ・遠足 ・生徒総会 ・緊急地震速報（火災避難訓練）時の対応について ・余暇活動（校外学習） ・個人目標、学期のまとめ	・始業式、終業式に参加する。 ・身体測定、内科検診、胸部レントゲン、心電図検査を受け、自身の健康状態を把握した上で維持していく方法を考える。 ・球技大会に参加し、分教室の団結を高め、美里高校生徒との交流・親睦を図る。 ・遠足に参加し、クラス間の親睦を図り、美里高校生徒との交流・親睦を図る。 ・生徒会運営に係る決算報告と予算案の確認、意見要望等について考える。 ・火災避難訓練に参加し、避難時の対応方法を学び、日頃からの防災意識を高める。 ・ボーリングやカラオケ等余暇活動を通して余暇の過ごし方について考える。 ・キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返り活動
		(学・人) ・体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深める。 (知及技) ・災害についての理解を深めて、実践的な対応力を高める。 (学・人) ・異年齢集団による交流を通して、協働や喜びを共有しあい、よりよい人間関係を築こうとする。 (思判表力) ・生徒同士協力して学校生活の充実と向上を目指し、実践的に活動して資質・能力の向上を目指す。 (学・人) ・運動に親しみ、体力の向上と積極的に取り組もうとする。 (学・人) ・集団行動や共同生活の体験を通して望ましい態度や習慣を身に付け、ルールやマナーを学ぶことができる。 ・学習や活動を振り返り、自己の成長に気づき、自己評価を行い、目標を立てるなどして、進路選択につなげることができる。 (知及び技、思判表力、学・人)	・始業式、終業式 ・緊急地震速報（地震避難）時の対応について ・学園祭 ・生徒会役員選挙 ・特体連体育大会 ・余暇活動（校外学習） ・個人目標、学期のまとめ	・始業式、終業式に参加する。 ・地震津波避難訓練に参加し、避難時の対応方法を学び、日頃からの防災意識を高める。 ・出店、演舞等に参加し、自己の役割を果たして美里高校生徒との交流・親睦を図る。 ・選挙について学ぶ。 ・記録への挑戦や成果を活かしたり、応援するなど、個々の立場で積極的に参加する。公共交通機関（路線バス）を使う機会をもつ。 ・ボーリングやカラオケ等余暇活動を通して余暇の過ごし方について考える。 ・キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返り活動
		(学・人) ・体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深めることができる。 (学・人) ・集団行動や共同生活の体験を通して望ましい態度や習慣を身に付け、ルールやマナーを学ぶことができる。	・始業式、終了式、卒業式 ・余暇活動（校外学習）	・始業式、修了式、卒業式に参加する。 ・ボーリングやカラオケ等余暇活動を通して余暇の過ごし方について考える。

3 学期		(学・人) ・運動に親しみ、体力の向上と積極的に取り組もうとする。 (思判表力)(学・人) ・日頃の学習成果を発表し、自分の役割を意識して最後までやり遂げることを目指すことができる。 (思判表力) ・卒業する3年生への感謝の気持ちを込めて、生徒同士協力して活動することができる。 ・学習や活動を振り返り、自己の成長に気づき、自己評価を行い、目標を立てるなどして、進路選択につなげることができる。 (知及び技、思判表力、学・人)	・特体連駅伝競走大会 ・3年生を送る会 ・個人目標、学期のまとめ	・成果を活かしたり、応援するなど、個々の立場で積極的に参加する。公共交通機関(路線バス)を使う機会をもつ。 ・3年生を送る会に参加し、分教室の団結を高め、美里高校生徒との交流を図る。 ・キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返り活動
留意点 引継ぎ等	○学校生活をよりよくするための課題を見出し解決するために話し合うことができる。(思考・判断・表現) ○役割を分担し協力して実践したり、話し合いを通して自分の意見や意思を示し、他者の意見を尊重することができる。(思考○判断○表現、学びに向かう人間性等) ○ホームルームで学級や学校生活での諸問題を話し合う。 ○社会生活を行う上での様々な事柄(自他の個性の理解と尊重、男女相互の理解と協力、国際理解と国際協力、青年期の悩みと課題等)に関する学習の実施。			

令和8年度 美里分教室 2年（Ⅱ課程A類型）特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	生徒	担当者	教科書／副教材
35	美里分教室2年 Ⅱ課程A類型 16名	2学年担当	

目標：(知及技)知識及び技能（思判表力)思考力、判断力、表現力等（学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能（思・判・表)思考・判断・表現（主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力) 集団や事故の生活、人間関係の課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期		(学・人) ・体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深める。 (知及技) ・健全な発達や健康の維持を目指す。 (学・人) ・集団活動の役割や意義を理解し、教師と生徒、生徒相互の人間的な触れ合いを通して人間関係を築こうとする。 (思判表力) ・生徒同士協力して学校生活の充実と向上を目指し、実践的に活動して資質・能力の向上を目指す。 (知及技) (学・人) ・防災についての理解を深めて、実践的な対応力を身に付ける。 (知及び技、思判表力、学・人) ・学習や活動を振り返り、自己の成長に気づき、自己評価を行い、目標を立てるなどして、進路選択につなげることができる。	・始業式・終業式 ・身体測定 ・新入生歓迎球技大会 ・遠足 ・生徒総会 ・緊急地震速報（火災避難訓練）時の対応について ・個人目標、学期のまとめ	・始業式、終業式の参加する。 ・身体測定、内科検診、胸部レントゲン、心電図検査を受け、自身の健康状態を把握した上で維持していく方法を考える。 ・球技大会に参加し、分教室の団結を高め、美里高校生徒との交流・親睦を図る。 ・遠足に参加し、クラス間の親睦を図り、美里高校生徒との交流・親睦を図る。 ・生徒会運営に係る決算報告と予算案の確認、意見要望等について考える。 ・火災避難訓練に参加し、避難時の対応方法を学び、日頃からの防災意識を高める。 ・キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返り活動
2 学期		(学・人) ・体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深める。 (知及技) ・災害についての理解を深めて、実践的な対応力を高める。 (学・人) ・異年齢集団による交流を通して、協働や喜びを共有しあい、よりよい人間関係を築こうとする。 (思判表力) ・生徒同士協力して学校生活の充実と向上を目指し、実践的に活動して資質・能力の向上を目指す。 (学・人) ・運動に親しみ、体力の向上と積極的に取り組もうとする。 (学・人) ・集団行動や共同生活の体験を通して望ましい態度や習慣を身に付ける。 ・安全で楽しい旅行にするためのルールやマナーを学ぶことができる。 (知及び技、思判表力、学・人) ・学習や活動を振り返り、自己の成長に気づき、自己評価を行い、目標を立てるなどして、進路選択につなげることができる。	・始業式、終業式 ・緊急地震速報（地震避難訓練）時の対応について ・学園祭 ・生徒会役員選挙 ・特体連体育大会 ・空港見学（校外学習） ・個人目標、学期のまとめ	・始業式、終業式に参加する。 ・地震津波避難訓練に参加し、避難時の対応方法を学び、日頃からの防災意識を高める。 ・学年およびクラスでの出し物等を協力して公安・準備し、美里高校生徒との交流・親睦を図る。 ・選挙について学ぶ。 ・記録への挑戦や成果を活かしたり、応援するなど、個々の立場で積極的に参加する。公共交通機関（路線バス）を使う機会をもつ。 ・事前学習や係活動、集団行動の中での決まりや役割の大切さを学ぶ。 ・施設について調べ、公共機関等を利用し見学する。 ・キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返り活動

3 学期		(学・人) ・体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深めることができる。 ・集団行動や共同生活の体験を通して望ましい態度や習慣を身に付ける。 ・安全で楽しい旅行にするためのルールやマナーを学ぶことができる。 (学・人) ・異年齢集団による交流を通して、協働や喜びを共有しあい、よりよい人間関係を築こうとする。 ・運動に親しみ、体力の向上と積極的に取り組もうとする。 (思判表力) ・卒業する3年生への感謝の気持ちを込めて、生徒同士協力して活動することができる。 (知及び技、思判表力、学・人) ・学習や活動を振り返り、自己の成長に気づき、自己評価を行い、目標を立てるなどして、進路選択につなげることができる。	・始業式、終了式、卒業式 ・修学旅行 ・特体連駅伝競走大会 ・3年生を送る会 ・個人目標、学期のまとめ	・始業式、修了式、卒業式に参加する。 ・修学旅行を通して社会のマナーやルールについて学ぶ。 ・成果を活かしたり、応援するなど、個々の立場で積極的に参加する。公共交通機関（路線バス）を使う機会をもつ。 ・3年生を送る会に参加し、分教室の団結を高め、美里高校生徒との交流を図る。 ・キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返り活動
留意点 引継ぎ等		○学校生活をよりよくするための課題を見出し解決するために話し合うことができる。（思考・判断・表現） ○役割を分担し協力して実践したり、話し合いを通して自分の意見や意思を示し、他者の意見を尊重することができる。（思考・判断・表現、学びに向かう人間性等） ○ホームルームで学級や学校生活での諸問題を話し合う。 ○社会生活を行う上での様々な事柄（自他の個性の理解と尊重、男女相互の理解と協力、国際理解と国際協力、青年期の悩みと課題等）に関する学習の実施。 ○校外学習（校外活動）：校外での見学や体験学習を実施する。		

令和8年度 美里分教室 3年（Ⅱ課程 A類型）特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	美里分教室3年 Ⅱ課程A類型 16名	3学年担当	

目標：(知及技)知識及び技能（思判表力)思考力、判断力、表現力等（学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能（思・判・表)思考・判断・表現（主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力) 集団や事故の生活、人間関係の課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを活かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(学・人) ・体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深める。 (知及技) ・健全な発達や健康の維持を目指す。 (学・人) ・集団活動の役割や意義を理解し、教師と生徒、生徒相互の人間的な触れ合いを通して人間関係を築こうとする。 (思判表力) ・生徒同士協力して学校生活の充実と向上を目指し、実践的に活動して資質・能力の向上を目指す。 (知及技) (学・人) ・防災についての理解を深めて、実践的な対応力を身に付ける。 (知及び技、思判表力、学・人) ・学習や活動を振り返り、自己の成長に気づき、自己評価を行い、目標を立てるなどして、進路選択につなげることができる。	・始業式・終業式 ・身体測定 ・新入生歓迎球技大会 ・遠足 ・生徒総会 ・緊急地震速報（火災避難訓練）時の対応について ・個人目標、学期のまとめ	・始業式、終業式の参加する。 ・身体測定、内科検診、胸部レントゲン、心電図検査を受け、自身の健康状態を把握した上で維持していく方法を考える。 ・球技大会に参加し、分教室の団結を高め、美里高校生徒との交流・親睦を図る。 ・遠足に参加し、クラス間の親睦を図り、美里高校生徒との交流・親睦を図る。 ・生徒会運営に係る決算報告と予算案の確認、意見要望等について考える。 ・火災避難訓練に参加し、避難時の対応方法を学び、日頃からの防災意識を高める。 ・キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返り活動
2 学期	14	(学・人) ・体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深める。 (知及技) ・災害についての理解を深めて、実践的な対応力を高める。 (学・人) ・異年齢集団による交流を通して、協働や喜びを共有しあい、よりよい人間関係を築こうとする。 (思判表力) ・生徒同士協力して学校生活の充実と向上を目指し、実践的に活動して資質・能力の向上を目指す。 (学・人) ・運動に親しみ、体力の向上と積極的に取り組もうとする。 (学・人) ・集団行動や共同生活の体験を通して望ましい態度や習慣を身に付ける。 ・安全で楽しい旅行にするためのルールやマナーを学ぶことができる。 (知及び技、思判表力、学・人) ・学習や活動を振り返り、自己の成長に気づき、自己評価を行い、目標を立てるなどして、進路選択につなげることができる。	・始業式、終業式 ・緊急地震速報（地震避難訓練）時の対応について ・学園祭 ・生徒会役員選挙 ・特体連体育大会 ・個人目標、学期のまとめ	・始業式、終業式に参加する。 ・地震津波避難訓練に参加し、避難時の対応方法を学び、日頃からの防災意識を高める。 ・各種目、集団演技等に参加し、自己の役槍を果たし、美里高校生徒との交流・親睦を図る。 ・選挙について学ぶ。 ・記録への挑戦や成果を活かしたり、応援するなど、個々の立場で積極的に参加する。公共交通機関（路線バス）を使う機会をもつ。 ・事前学習や係活動、集団行動の中での決まりや役割の大切さを学ぶ。 ・施設について調べ、公共機関等を利用し見学する。 ・キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返り活動

3 学期	9	(学・人) ・体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深めることができる。 (学・人) ・異年齢集団による交流を通して、協働や喜びを共有しあい、よりよい人間関係を築こうとする。 ・運動に親しみ、体力の向上と積極的に取り組もうとする。 (思判表力) ・卒業する3年生への感謝の気持ちを込めて、生徒同士協力して活動することができる。 (知及び技、思判表力、学・人) ・学習や活動を振り返り、自己の成長に気づき、自己評価を行い、目標を立てるなどして、進路選択につなげることができる。	・始業式、卒業式 ・特体連駅伝競走大会 ・3年生を送る会 ・個人目標、学期のまとめ	・始業式、卒業式に参加する。 ・成果を活かしたり、応援するなど、個々の立場で積極的に参加する。 ・3年生を送る会に参加し、分教室の団結を高め、美里高校生徒との交流を図る。 ・キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返り活動
留意点 引継ぎ等		○学校生活をよりよくするための課題を見出し解決するために話し合うことができる。（思考・判断・表現） ○役割を分担し協力して実践したり、話し合いを通して自分の意見や意思を示し、他者の意見を尊重することができる。（思考○判断○表現、学びに向かう人間性等） ○ホームルームで学級や学校生活での諸問題を話し合う。 ○社会生活を行う上での様々な事柄（自他の個性の理解と尊重、男女相互の理解と協力、国際理解と国際協力、青年期の悩みと課題等）に関する学習の実施。 ・通年を通して、校外での見学や体験学習を実施する。		